SPEEDIA GE5000シリーズ

ユーザーズマニュアル
ネットワーク編

プリンターに内蔵しているネットワークボードのサポート
プロトコルや詳細設定について記載されています。

T-984P-4
CE1003-A　2010年3月15日　第1版発行

CASIO®

目　　次

～　本書中の表記ならびに記載について　～

（1）本書では、コンピューターのオペレーティング・システムを以下のように省略して記載する場合があります。

＜正式名称＞	＜省略記載＞
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版	Windows XP
Microsoft® Windows Server® 2003 日本語版	Windows Server 2003
Microsoft® Windows Vista® 日本語版	Windows Vista
Microsoft® Windows Server® 2008 日本語版	Windows Server 2008
Microsoft® Windows® 7 日本語版	Windows 7

総称する場合は「Windows」と記載する場合があります。
併記する場合は「Windows 2000/XP/Server2003/Vista」のように「Windows」を省略する場合があります。

（2）本書では、World Wide Webブラウザーソフトウェアを以下のように省略して記載する場合があります。

＜正式名称＞	＜省略記載＞
Microsoft® Windows® Internet Explorer	Internet Explorer　または　IE
Mozilla Firefox™	Firefox

また、「Internet Explorer」および各社World Wide Webブラウザーソフトウェアを総称して「Webブラウザー」と記載する場合があります。

（3）本書及び、本書に記載のIPX版ネットワーク設定ユーティリティソフトウェア（以下、単にソフトウェア）の著作権は、カシオ計算機株式会社およびカシオ電子工業株式会社の所有です。

（4）本書の一部または、全部を無断で使用、複製することは禁止します。

（5）本書の記載内容、ならびに本書に記載のソフトウェアの仕様については、将来予告なしに変更することがあります。

（6）本書に記載されなかった最新の情報や各種ダウンロードサービスをインターネットでご提供しております。

http://casio.jp/ppr

（7）Windows、Internet Explorer、各社Webブラウザー に関する操作や概要につきましては、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。

（8）本書の記載内容、並びに本書に記載のソフトウェアの内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付のことがありましたらご連絡ください。

（9）運用した結果の影響につきましては、（8）項にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

（10）本書に記載のWebブラウザー動作時のコンピューター画面は、Windows XPにてInternet Explorerを動作させた場合の画面を例に使用しています。ご利用いただく環境によって、実際の画面表示と本書中の画面の図とで差異が見られる場合があります。あらかじめご了承ください。

（11）CASIO、SPEEDIA は、カシオ計算機株式会社の登録商標です。

（12）Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、MS-DOS は米国Microsoft Corporationの米国ならびに他の国における登録商標です。

（13）ノベル、Novell、NetWare は米国Novell,Inc.の米国ならびに他の国における登録商標です。

（14）本書に記載のその他の社名またはソフトウェア名、商品名は、一般に各社の商標もしくは登録商標です。

1．ネットワークご利用の手順、および設定

1.1．ネットワークご利用の手順

プリンターをネットワークに接続してご利用する際には、以下に示す手順に従って行ってください。 各手順に対応する詳細説明は、付記された指示ページを参照してください。

プリンターをネットワークに接続する作業は、お使いになるネットワークシステムのシステム管理者に委ねられるべきものです。 作業を代行する場合においても、必ずシステム管理者の同意を得た後に行ってください。 現在運用中のネットワークシステム環境に深刻な影響を与える可能性がありますので、慎重な作業進行をお願いします。

① LANケーブルの接続

・本プリンターにてご利用可能なネットワーク環境（Ethernet環境）は、100Base-Tx または 10Base-T です。

・プリンター本体背面のLAN用コネクタ（Ethernetコネクタ：RJ-45）へ、コンセントレーター（Hub）に接続されたLANケーブル（Ethernetケーブル）を接続します。

・接続方法は 『設置手順書（本体編）「インターフェースケーブルを接続します－LAN接続の場合」』を参照してください。

・LANケーブル（Ethernetケーブル）は、カテゴリー５ 以上のLANケーブルをお使いください。 一般的にケーブルにはストレートケーブル／クロスケーブルの２種類がありますので、ご注意ください。

② プリンター電源投入

・電源投入方法は『設置手順書（本体編）』を参照してください。

③ IPアドレスなど、ネットワークの基本設定

プリンターをIP（Internet Protocol）環境にてご利用するにあたって、操作パネルにてネットワークの基本設定項目の設定を行います。

設定に際しては、必ずシステム管理者の同意を得て行ってください。

なお、NetWare環境でのみご使用になる場合は、「通信速度」設定の確認のみ操作パネルにて行ってください。 NetWareにてご使用になる際に必要な設定は、「IPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）」にて行います。

■プリンター操作パネルの操作例　（※詳しくは『ユーザーズマニュアル（設定メニュー編）』を参照してください。）

＜ボタンの操作＞　＜パネルの表示例＞

i)　［オンライン］ボタンを押下してオフラインの状態にします。
（オンラインのランプが消えます。）

機能設定メニュー
テスト印刷・レポート
プリンター管理・調整
インターフェース設定
用紙設定

ii)［V］ボタンを２回押下して「インターフェース設定」を選択します。

機能設定メニュー
テスト印刷・レポート
プリンター管理・調整
インターフェース設定
用紙設定

iii)　［>］ボタンを１回押下し、インターフェース設定メニューを表示します。

iv) ［V］ボタンを１回押下し、「通信方法」を選択します。

v) ［>］ボタンを１回押下し、通信方法メニューを表示します。
（「＊」は現在設定されている内容です。）

［V］［Λ］ボタンを押下して、お使いのネットワーク環境にあった設定を選びます。

例では「メモリー（固定IPアドレスを使用）」を選び［◎］ボタンを押下して設定します。（「＊」が表示されることにより、設定されたことを表します。）

vi) ［<］ボタンを１回押下し、インターフェース設定メニューへ戻ります。

vii) ［V］ボタンを１回押下し、「ＩＰアドレス」を選択します。

※ v) にて「DHCP」「BOOTP」「RARP」を設定した場合、IPアドレスは自動取得を行いますので設定値を使用しません。 従ってインターフェース設定メニューの「ＩＰアドレス」は表示されません。

viii) ［>］ボタンを１回押下し、IPアドレスメニューを表示します。

ix) ［>］ボタンを１回押下し、「ＩＰ： 0. 0. 0. 0」（IPアドレス）の設定にします。

x)［∨］［∧］ボタンを押下して、数値を変更します。

```
＜ＩＰアドレス＞
 ＩＰ： 192.   0.   0.   0
 NM：     0.   0.   0.   0
 GW：     0.   0.   0.   0
```

また、［＞］ボタンで桁が変わります。

```
＜ＩＰアドレス＞
 ＩＰ： 192.   0.   0.   0
 NM：     0.   0.   0.   0
 GW：     0.   0.   0.   0
```

xi) 最後の桁まで入力したら、［◎］ボタンを押下してください。全桁の値が設定されます。「＊」が表示され、設定値が確定したことを表します。

```
＜ＩＰアドレス＞
＊ＩＰ： 192. 168.   1.   1
 NM：     0.   0.   0.   0
 GW：     0.   0.   0.   0
```

xii)［＜］ボタンを１回押下し、IPアドレスの設定を終了します。

xiii) ［V］ボタンを押下して、「NM：　0.　0.　0.　0」（サブネットマスク）の設定に進み、以降 **ix)** ～ **xii)** の操作を行います。

xiv) ［V］ボタンを押下して、「GW：　0.　0.　0.　0」（デフォルトゲートウェイ）も同様に **ix)** ～ **xii)** の操作で設定します。

xv) ［オンライン］ボタンを押下して通常表示（オンラインのランプが点灯します）に戻し、少し待ちます。

※設定した内容は、操作パネルにて［オンライン］ボタンを押下して、オンライン状態へ移行する際に保存されます。 設定変更後は必ずオンライン状態にしてください。 また、保存した設定内容は次回プリンターが正常に起動した後に有効になります。 プリンター本体の電源を「切」→「入」してください。

メニュー項目名	操作パネル表示設定 項目名称	設定候補	概略・他
通信速度	通信速度	自動設定 100M全二重 100M半二重 10M全二重 10M半二重	通信速度を設定します。 ※「自動設定」･･･Auto Negotiation 機能を使用して、通信速度を決定します。 ★通常は「自動設定」でお使いください。「自動設定」でコンセントレーター（Hub）とのLinkが確立しない場合に、他の設定をお試しください。
通信方法	通信方法	メモリー RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの決定方法を設定します。 ※「メモリー」･･･次項目「IPアドレス」へ設定したIPアドレスを使用します。 ★「RARP」「BOOTP」「DHCP」をお使いの場合は、それぞれに対応したサーバーが必要となります。
IPアドレス	IP （IPアドレス）	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	IPアドレスを設定します。 ※前項目「通信方法」の設定が「メモリー」の場合のみ、設定が可能です。 ★「0.0.0.0」「255.255.255.255」「127.0.0.1」などの「特別な意味を持つIPアドレス」を設定しますと、正常な通信が行えません。
	NW （サブネットマスク）	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	サブネットマスクを設定します。 ※前項目「通信方法」の設定が「メモリー」の場合のみ、設定が可能です。 ※「0.0.0.0」･･･決定したIPアドレスより、自動設定します。 ★DHCPサーバーより通知された場合は、サーバーの通知が使用されます。
	GW （ゲートウェイ）	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	ゲートウェイアドレスを設定します。 ※前項目「通信方法」の設定が「メモリー」の場合のみ、設定が可能です。 ★DHCPサーバーより通知された場合は、サーバーの通知が使用されます。

※プリンター本体操作パネルによる設定方法の簡単な説明を『5.1．プリンターの操作パネルで設定可能なネットワーク設定一覧』へ記載しています。

※設定した設定候補（値）が正しくない場合、正常に通信が行えない場合があります。 正しい設定候補（値）に関しては『5.2．ネットワーク設定一覧』を参照してください。

④ プリンター本体の電源切断

⑤ プリンター本体の電源再投入

⑥　ネットワーク設定情報の印刷

・ネットワーク設定情報の印刷を行うことにより、前述③で行いましたネットワークの基本設定の内容（設定内容が正しく保存されているか，通信速度の設定がHubの設定と合致し通信が行える状態にあるか、IPアドレス決定方法に対応したサーバーからIPアドレスが正しく取得できたか、NetWareにて使用する際の設定内容など）が確認できます。

・プリンター操作パネルにて「機能設定メニュー」→「テスト印刷・レポート」→「機器情報印刷」→「ネットワーク設定」を選択し、［◎］ボタンを押下します。　操作方法は『ユーザーズマニュアル（設定メニュー編）』を参照してください。

・しばらくすると、ネットワーク設定情報印刷が印刷されます。 印刷結果内の各情報は1.4. ネットワーク設定印刷についてを参照してください。

⑦　ソフトウェア設定

お使いのコンピューターからネットワーク経由で印刷を行うための設定を、お使いのオペレーティングシステム（OS）へ行います。

・お使いのオペレーティングシステム（OS）の種類に合った設定を行ってください。

・Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7 の場合は、『標準 TCP/IP プリンターポート』の「プロトコル」にて『Raw（ポート番号：9100）』または『LPR』を選択して使用します。

※Windows 2000 / XP / Vista / 7 ／ Windows Server 2003 / 2008 環境にてローカル接続あるいはネットワークに接続されたプリンターの状態監視を行う「ステータスモニター」の一括管理やプリンターフォルダーの管理、プリンターの状態、オペレータコールの通知や用紙サイズ等をパソコン画面上に表示することができるツールを用意しています。付属のCD-ROMよりプリンタードライバーをインストールする際にインストールされる『SPEEDIAマネージャー』をお使いください。

・NetWare 環境でのネットワークプリンターとしてご使用の場合は、NetWareのユーティリティ『PCONSOLE.EXE』（NetWare 4.x 以前のバージョンの場合）または『NetWareアドミニストレータ』（NetWare 5 以降のバージョンの場合）を使用して、NetWareサーバーへ「リモートプリンター」または「プリントサーバー」の追加を行って使用します。

⑧　プリンターのネットワーク設定の詳細設定

・お使いのコンピューターのTELNET、Webブラウザーなどを使用して、プリンターのネットワーク設定の詳細設定を行うことができます。本プリンターを使用するネットワークが「NetWareのみを使用するネットワーク環境」の場合は、付属のCD-ROMより『IPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）』をインストールしてお使いください。

・本プリンターを使用するネットワーク環境に合わせて、プリンターの詳細設定を変更してください。

・設定に際しては、必ずシステム管理者の同意を得て行ってください。

※プリンターのネットワーク設定の内容は、必ず保存を行ってください。 保存した設定内容は次回プリンターが正常に起動した後に有効になります。 プリンターの電源を「切」→「入」してください。

⑨　プリンターのネットワーク設定の詳細設定の確認

・プリンターの操作パネルにて『ネットワーク設定情報の印刷』を行うことにより、本プリンターが起動時に参照したネットワーク設定内容の確認ができます。

・『ネットワーク設定情報の印刷』の出力は、プリンター操作パネルにて「機能設定メニュー」→「テスト印刷・レポート」→「機器情報印刷」→「ネットワーク設定」を選択し、［◎］ボタンを押すと印刷出力されます。 操作方法は『ユーザーズマニュアル（設定メニュー編）』を参照してください。 また、Webブラウザーにてプリンターへ接続し［プリンターパネル操作へ］→［オンライン］→［ネットワーク設定印刷］と順にボタンをクリックすることにより、コンピューターから印刷指示を行うこともできます。 操作方法は『ユーザーズマニュアル（**Web設定編**）』を参照してください。

【1.4. ネットワーク設定印刷について参照】

⑩　準備完了

以上で、本プリンターをネットワークへ接続してご利用になる準備は整いました。

1.2. Ethernet アドレスについて

本プリンターのEthernetアドレスは、プリンター操作パネルの設定メニューにて「テスト印刷・レポート」→「機器情報表示」→「ネットワーク」の順に選択して表示することにより確認できます。 またはプリンター操作パネルの設定メニューにて「テスト印刷・レポート」→「機器情報印刷」にて『ステータスシート』『ステータスシート・両面』『ステータスシート２』『カウンター情報』『ネットワーク設定情報』の各セルフ印刷により確認できます。

また、このEthernetアドレスの下６桁は、「設定変数 machine_name（マシン名）」のデフォルト文字列の一部として使用していますので、SNMPのシステム名（sysName）や NetWareのプリンター名、WINS（Windows Internet Name Service）でのノード名（NetBIOS名）に使用されています。

1.3. 通信速度／通信モードについて

本プリンターは 10Base-T と 100Base-TX の通信速度、および全二重と半二重の通信モードで使用することができます。

本プリンターを使用する場合には、プリンターの操作パネルのメニュー項目「通信速度」にて、ご使用になるシステム環境で定められている通信速度／通信モードを設定してください。

※デフォルトでは「自動設定」（Auto Negotiation 機能を使用して 通信速度／通信モード を自動決定）になっています。 通常は「自動設定」でお使いください。 「自動設定」でコンセントレーター（Hub）とのLinkが確立しない場合に、他の設定をお試しください。

★「自動設定」以外に設定した場合、『ネットワーク設定情報の印刷』『TELNET』『Webブラウザー』『IPX版ネットワーク設定ユーティリティ』などで表示される通信速度（Link_status）は、実際に決定された通信速度と異なる表示となります。 特に「全二重（Full）」に設定した場合、実際の通信速度は「半二重（Half）」であることがほとんどです。 また、「10Mbps（10Base-T）」に設定してLANケーブルの接続先が100Mbps（100Base-Tx）の「Fast Ethernet Hub」（スイッチングHubではありません）場合、表示上は通信速度が決定して「通信可能」となっていますが、実際には通信速度が決定しておらず（Linkが確立していない）、通信が行えない状態となっています。

決定した通信速度／通信モードは以下の方法により確認することができます。

a) プリンターの操作パネルにて『ネットワーク設定情報の印刷』を行い確認する。

b) TELNET、Webブラウザー、 IPX版ネットワーク設定ユーティリティなどを使用して本プリンターへ接続し、プリンターの状態を表示して確認する。

1.4. ネットワーク設定印刷について

プリンターの操作パネルにて『ネットワーク設定情報の印刷』を行うことにより、本プリンターが起動時に参照した設定内容の確認ができます。

・『ネットワーク設定情報の印刷』の出力は、プリンター操作パネルにて「機能設定メニュー」→「テスト印刷・レポート」→「機器情報印刷」→「ネットワーク設定」を選択し、［◎］ボタンを押すと印刷出力されます。 操作方法は『ユーザーズマニュアル（設定メニュー編）』を参照してください。 また、Webブラウザーにてプリンターへ接続し［プリンターパネル操作へ］→［オンライン］→［ネットワーク設定印刷］と順にボタンをクリックすることにより、コンピューターから印刷指示を行うこともできます。 操作方法は『ユーザーズマニュアル（Web設定編）』を参照してください。

※1：通信速度設定（link_mode）を「自動設定（auto）」以外に設定した場合、表示される通信速度（Link_status）は、実際に決定された通信速度と異なる表示となります。特に「全二重（Full）」に設定した場合、実際の通信速度は「半二重（Half）」であることがほとんどです。 また、「10Mbps（10Base-T）」に設定してLANケーブルの接続先が100Mbps（100Base-Tx）の「Fast Ethernet Hub」（スイッチングHubではありません）場合、表示上は通信速度が決定して「通信可能」となっていますが、実際には通信速度が決定しておらず（Linkが確立していない）、通信が行えない状態となっています。

※2：IPXフレームタイプ（IPX packet type）は、NetWareサーバーとの接続が確立した場合に正しく表示されます。 NetWareサーバーとの接続が確立していない場合、「Discorded（xxxx）」xxxxはIPXフレームタイプ設定（nw_packet）の設定内容と表示されますので、NetWareサーバーの設定およびプリンターの設定を見直してください。 『3. NetWare環境でのソフトウェア設定』『5.2. ネットワーク設定一覧』参照。

※3：IPアドレス（IP address）、サブネットマスク（Netmask）、ゲートウェイ（Gateway）を設定したにもかかわらず「0.0.0.0」と表示される場合や設定値と異なる値が表示される場合は、設定値の誤り、サーバーの設定が使用されている場合、サーバー上で設定していない場合などが考えられます。 『5.2. ネットワーク設定一覧』を参照してください。

※4：NetWare動作モード（Mode）、接続NetWareサーバー名（Print server または File server）は、NetWareサーバーとの接続が確立した場合に正しく表示されます。 NetWareサーバーとの接続が確立していない場合、NetWare動作モード（Mode）は「disable」「Disable（rprinter）」「Disable（pserver）」のいずれかとなり、接続NetWareサーバー名（Print server または File server）は、空欄となりますので、NetWareサーバーの設定およびプリンターの設定を見直してください。 『3. NetWare環境でのソフトウェア設定』『5.2. ネットワーク設定一覧』参照。

```
[** Configuration memory settings **]
< common >
 machine_name    : CP800001        link_mode      : 100M/Full

< TCP/IP >
 ip_config       : dhcp            ip_address     : 0.0.0.0          netmask        : 0.0.0.0
 gateway         : 0.0.0.0         ftp_passwd     : off              tcp_keep_alive : 30
 tcp_idle_time   : 5
 wins_server1    :                 wins_server2   :
 dns_server1     :                 dns_server2    :                  dns_server3    :
 dns_domain      :
 ntp_mode        :
 ntp_server1     :
 ntp_server2     :
< SNMP >
 snmp_mode       : enable          snmp_name      : public           snmp_host      : 130.10.1.10
< nw_param >
 nw_mode         : rprinter        nw_packet      : auto
 pserver         : PRINTSERVER1
 timeout         : 10
 nw_spx_abort    : 30              nw_spx_listen  : 6                nw_spx_verify  : 3
 fserver1        : FILESERVER1
 fserver2        : FILESERVER2
 fserver3        : FILESERVER3
 fserver4        : FILESERVER4
 polltime        : 15              nw_passwd      :
 nw_ncp_timeout  : 3               nw_ncp_retry   : 20
< Printer >
 banner0         : off
 bojstring0      :
 eojstring0      :
 banner1         : off             tabsize1       : 8
 bojstring1      :
 eojstring1      :
 banner2         : off             tabsize2       : 8
 bojstring2      :
 eojstring2      :
```

現在のネットワーク設定情報

今回プリンターの電源投入中に操作パネル / telnet /Webブラウザー などにて変更した設定内容は、印刷されますがプリンターの動作へは反映されていません。
これらの今回プリンターの電源投入中に変更した設定内容は次回本プリンターが起動後に反映されますので、ご注意ください。

２. IP（Internet Protocol）環境でのソフトウェア設定

２.１. サポートプロトコルについて

IP（Internet Protocol）環境において、本プリンターは複数のプロトコルを実装しています。
以下にサポートプロトコルとその機能概要を示します。

【表　２.１．－１. IP環境でのサポートプロトコルと機能概要】

プロトコル名	機　能　概　要
FTP	FTPサーバーサービスにより、ファイルの転送を行います。 本プリンターはFTPにより印刷が行えます。 FTPはRFC959に準拠します。 実装はBSD系に準拠します。
LPR	プリンターのLPDにプリントデータの転送を行います。 本プリンターはLPRにより印刷が行えます。 LPRはRFC1179に準拠します。 実装はBSD系に準拠します。
Raw Protocol （Port 9100）	Windows 2000/XP/Vista/7の印刷システムの標準ポートモニターでサポートされているプリントサーバープロトコルは、Raw（印刷の準備が完了しているデータ用）と LPR（ライン プリンター リモート）の 2 つです。 ポート 9100 としても知られる Raw プロトコルは、ほとんどの TCP/IP 印刷デバイスで使用されるデフォルトのプロトコルです。 本プリンターはRawプロトコルにより印刷が行えます。 Rawプロトコルの実装はWindows 2000/XP/Vista/7からの印刷を対象として行われています。
TELNET	プリンターのネットワーク設定の参照・変更に使用します。 これによりプリンターのネットワーク設定が行えます。 TELNETはRFC854、RFC855に準拠します。 実装はBSD系に準拠します。
HTTP	プリンターの各種設定（プリンターメニュー設定／ネットワーク設定／その他権限設定）の殆どの設定項目の参照・変更に使用します。 また、プリンターの現在状態の表示が行えますので、操作パネル表示／用紙カセットの状態／トナーの状態／ドラムの状態／その他、をコンピューターから確認することが出来ます。 そして、一部のパネル操作の代替として、節電機能のon/off／スキップ可能なエラーのスキップ／各種機器情報印刷（セルフ印刷）／その他、を行うことができます。 Webブラウザーが必要です。
BOOTP	プリンターの電源投入時にプリンターで使用するIPアドレスをBOOTPサーバーから取得します。BOOTPにより本プリンターへIPアドレスの自動割当が行えます。 BOOTPはRFC951、RFC1497に準拠します。
DHCP	プリンターの電源投入時にプリンターで使用するIPアドレスをDHCPサーバーから取得します。 DHCPにより本プリンターへIPアドレスの自動割当が行えます。 DHCPはRFC2131、RFC2132に準拠します。
RARP	プリンターの電源投入時にプリンターで使用するIPアドレスをRARPサーバーから取得します。 RARPにより本プリンターへIPアドレスの自動割当が行えます。 RARPはRFC903に準拠します。

プロトコル名	機　能　概　要
SNMP	プリンターはSNMPによりMIB情報をSNMPマネージャーに送信します。 これによりプリンターの状態監視が行えます。 SNMPはRFC1155、RFC1157に準拠します。 MIB規格はMIB-Ⅱ（RFC1213）／Printer MIB（RFC1759）に準拠します。
DNS	プリンターが他のネットワーク機器と通信を行う際の名前アドレス解決に使用する情報をDNSサーバーから取得します。これによりプリンターは名前により他のネットワーク通信機器との通信が行えます。 DNSはRFC1034、RFC1035に準拠します。
WINS	Windowsベースのネットワークシステムに於いて、コンピューターがプリンターと通信を行う際に名前アドレス解決を行うための情報（NetBIOS名）をWINSサーバーへ登録します。 これによりWindowsベースのネットワークシステム上のコンピューターはプリンターの名前（NetBIOS名）によりプリンターとの通信が行えます。 プリンターがサポートするWINSのNetBIOSノードタイプは「Pノード（Point-toPointノード）」だけです。
NTP	プリンターが内蔵する時計機能を電源投入時に自動調整するための情報をNTPサーバーから取得します。NTPにより本プリンターは電源投入時に内部時計の自動調整が行えます。 NTPはRFC1305に準拠します。

2.1.1. IP（Internet Protocol）環境 にてプリンターをネットワークで使用する際の設定確認

本プリンターを使用して IP（Internet Protocol）環境で印刷するためには、プリンターのIPアドレスの取得及びプリンターのネットワーク設定変数設定が行われている必要があります。お使いのネットワークシステムの管理者、またはプリンターの管理者にお問い合わせください。

始めに、本プリンターのネットワーク基本設定をプリンターの操作パネルより行います。 下表の内「プリンター操作パネル表示名称」欄へ名称の記載がある5項目が操作パネルにて設定可能です。（※設定方法の簡単な説明を【図 5.1.－1. プリンター操作パネルの操作例】へ記載しています。）

その他の設定変数設定は『TELNET』『Webブラウザー』で行うことが出来ます。 設定方法は「4. プリンターのネットワーク設定」を参照してください。

メニュー項目名	操作パネル表示設定項目名称	設定候補	概略・他
通信速度	通信速度	自動設定 100M全二重 100M半二重 10M全二重 10M半二重	通信速度を設定します。 ※「自動設定」･･･Auto Negotiation 機能を使用して、通信速度を決定します。 ★通常は「自動設定」でお使いください。「自動設定」でコンセントレーター（Hub）とのLinkが確立しない場合に、他の設定をお試しください。
通信方法	通信方法	メモリー RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの決定方法を設定します。 ※「メモリー」･･･次項目「IPアドレス」へ設定したIPアドレスを使用します。 ★「RARP」「BOOTP」「DHCP」をお使いの場合は、それぞれに対応したサーバーが必要となります。
IPアドレス	IP （IPアドレス）	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	IPアドレスを設定します。 ※前項目「通信方法」の設定が「メモリー」の場合のみ、設定が可能です。 ★「0.0.0.0」「255.255.255.255」「127.0.0.1」などの「特別な意味を持つIPアドレス」を設定しますと、正常な通信が行えません。
	NM （サブネットマスク）	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	サブネットマスクを設定します。 ※前項目「通信方法」の設定が「メモリー」の場合のみ、設定が可能です。 ※「0.0.0.0」･･･決定したIPアドレスより、自動設定します。 ★DHCPサーバーより通知された場合は、サーバーの通知が使用されます。
	GW （ゲートウェイ）	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	ゲートウェイアドレスを設定します。 ※前項目「通信方法」の設定が「メモリー」の場合のみ、設定が可能です。 ★DHCPサーバーより通知された場合は、サーバーの通知が使用されます。

※設定した設定候補（値）が正しくない場合、正常に通信が行えない場合があります。 正しい設定候補（値）に関しては『5.2. ネットワーク設定一覧』を参照してください。

2.1.2. IP（Internet Protocol）環境における印刷設定概要

本プリンターは IP（Internet Protocol）環境における印刷用のプロトコルとして、LPR（Line Printer Remote Protocol）、FTP（File Transfer Protocol）、Raw Protocol（Port 9100）のTCP（Transmission Control Protocol）のサーバー機能をサポートしています。

なお、本プリンターには単純な印刷データの変換機能（漢字フィルター機能）を搭載していますが、印刷データの生成機能（例：プリンタードライバー機能）は搭載していませんのでご注意ください。 Raw Protocol では漢字フィルター機能はサポートしていません。

① 印刷用のプリンターポート名

印刷用のプリンターポートとして、以下のポートが使用できます。

lp0 ・・・・ 通常はこちらをお使いください。
印刷データの変換機能（漢字フィルター機能）を使用せずに受信した印刷データをそのまま出力します。

presto0 ・・ *弊社旧製品との互換用です。 将来機能制限が発生する場合があります。*
印刷データの変換機能（漢字フィルター機能）を使用せずに受信した印刷データをそのまま出力します。

lp1 ・・・・ 印刷データの変換機能（漢字フィルター機能）を使用して、受信した印刷データ中のシフトJIS漢字コードをプリンター操作パネル設定「エミュレーション設定」グループの「エミュレーション」へ設定されているプリンターエミュレーションのJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコードへ変換して出力します。
※プリンター操作パネル設定「インターフェース設定」グループの「受信データチェック」を「行わない」に設定する必要があります。

presto1 ・・ *弊社旧製品との互換用です。 将来機能制限が発生する場合があります。*
印刷データの変換機能（漢字フィルター機能）を使用して、受信した印刷データ中のシフトJIS漢字コードをプリンター操作パネル設定「エミュレーション設定」グループの「エミュレーション」へ設定されているプリンターエミュレーションのJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコードへ変換して出力します。
※プリンター操作パネル設定「インターフェース設定」グループの「受信データチェック」を「行わない」に設定する必要があります。

lp2 ・・・・ 印刷データの変換機能（漢字フィルター機能）を使用して、受信した印刷データ中のEUC-JIS漢字コードをプリンター操作パネル設定「エミュレーション設定」グループの「エミュレーション」へ設定されているプリンターエミュレーションのJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコードへ変換して出力します。
※プリンター操作パネル設定「インターフェース設定」グループの「受信データチェック」を「行わない」に設定する必要があります。

presto2　・・　*弊社旧製品との互換用です。 将来機能制限が発生する場合があります。*
印刷データの変換機能（漢字フィルタ機能）を使用して、受信した印刷データ中のEUC-JIS漢字コードをプリンター操作パネル設定「エミュレーション設定」グループの「エミュレーション」へ設定されているプリンターエミュレーションのJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコードへ変換して出力します。
※プリンター操作パネル設定「インターフェース設定」グループの「受信データチェック」を「行わない」に設定する必要があります。

② LPR(Line Printer Remote Protocol) による印刷設定概要

オペレーティングシステムやソフトウェアにより印刷設定項目の名称が異なりますので、ご注意ください。

・UNIX系：　「リモートホスト名」と「プリンターのIPアドレス」を対応付けて設定します。
「リモートホストのプリンター名」として、「lp0」を設定します。
※テキストファイルをそのまま送信して印刷する場合などで漢字フィルター機能をお使いの場合は、送信する印刷データの漢字コード体系に合わせて「lp1」または「lp2」を設定します。 なお、通常UNIX系ではEUC-JIS漢字コードを使用しています。

・Windows XP / Windows 2000 / Windows Server 2003 / Windows Vista / Windows Server 2008 / Windows 7：
「プリンター名またはIPアドレス」へ「プリンターのIPアドレス」を設定します。
「ポート名」へ「lp0」*を設定します。
*Windows XP の「ポートの自動設定機能」では「presto0」が設定されますので、「lp0」へ変更します。
プリンタードライバーのインストーラでポートを作成した場合は「lp0」が設定されていますので、変更の必要はありません。
※テキストファイルをそのまま送信して印刷する場合などで漢字フィルター機能をお使いの場合は、送信する印刷データの漢字コード体系に合わせて「lp1」または「lp2」を設定します。 なお、通常Windows系ではシフト-JIS漢字コードを使用しています。

③ FTP(File Transfer Protocol)

ディレクトリー構成は以下の様になっています。

［ルートディレクトリー］

- ［lp0］・・・・ 印刷用サブディレクトリー（無変換）
  ※印刷データの変換機能（漢字フィルター機能）を使用せずに受信した印刷データをそのまま出力します。
- ［lp1］・・・・ 印刷用サブディレクトリー（シフトJIS漢字コードを変換）
  ※印刷データの変換機能（漢字フィルター機能）を使用して、受信した印刷データ中のシフトJIS漢字コードをプリンター操作パネル設定「エミュレーション設定」グループの「エミュレーション」へ設定されているプリンターエミュレーションのJIS漢字コードへ変換して出力します。
  ※プリンター操作パネル設定「インターフェース設定」グループの「受信データチェック」を「行わない」に設定する必要があります。
- ［lp2］・・・・ 印刷用サブディレクトリー（EUC-JIS漢字コードを変換）
  ※印刷データの変換機能（漢字フィルター機能）を使用して、受信した印刷データ中のEUC-JIS漢字コードをプリンター操作パネル設定「エミュレーション設定」グループの「エミュレーション」へ設定されているプリンターエミュレーションのJIS漢字コードへ変換して出力します。
  ※プリンター操作パネル設定「インターフェース設定」グループの「受信データチェック」を「行わない」に設定する必要があります。

使用方法：

・プリンターのIPアドレスを指定して接続します。 ユーザー名は任意の文字列を指定します。 パスワード入力要求はプリンターの設定に従いますが、入力されたパスワードのチェックは行いません。 但し、ユーザー名としてプリンターの「Web設定－設定権限設定」の設定権限者設定へ登録したユーザー名を指定した場合、パスワード入力要求が必ず行われます。 入力すべきパスワードは同設定時に登録したパスワード文字列を指定します。

・カレントディレクトリーを［lp0］（または［lp1］［lp2］）へ変更します。

・「put」コマンドにてローカルコンピューター上のファイルをリモートコンピューターへ転送します。 ファイル転送は必ず「binaryモード」で行ってください。

・ファイル転送が終了したらプリンターとの接続を終了します。

これらの機能を有効にお使いいただくためには、次項より記載しております「ホストコンピューターの各オペレーティングシステム別の設定／ご利用方法」に従い、正しく設定を行ってください。

また、より快適に印刷が行えますように『**SPEEDIA**マネージャーマニュアル』を付属CD-ROM内へ収納しております。

2.2. Windows 7／Vista／XP／2000／Server 2008／Server 2003 で印刷する際の設定【TCP／IP印刷機能利用の場合】

Microsoft Windows 7 / Vista / XP / 2000 / Server 2008 / Server 2003 では、『Microsoft TCP/IP印刷』によりTCP/IP接続されたプリンターに対し、リモート印刷を行うことができます。

2.2.1. Windows 7／Vista／XP／Server 2008／Server 2003 で印刷する際の設定

★プリンタードライバー「セットアップ」のご紹介★

付属のCD-ROMには、プリンタードライバーを始め、本プリンターをWindows環境にて快適にお使いいただくための各種ソフトウェアを収納しております。

本プリンターをWindows環境でご使用いただくには、プリンタードライバーのインストールが必要です。プリンタードライバーのセットアップウィザードを使用してプリンターのセットアップを行いますと、本項に記載してあります「Windows 7/Vista/XP/2000/Server 2008/Server 2003 のIPネットワーク環境での各設定」が簡単に行えます。 詳しくは「ユーザーズマニュアル（セットアップ編）」を参照してください。

また、セットアップウィザードを使用せずにWindows 標準の「プリンターの追加」で、プリンタードライバーを個別にインストールすることもできます。

※ Windows 7/Vista/XP/2000/Server 2008/Server 2003 では、プリンタードライバーのインストールおよび設定を行うためそれぞれのアクセス権が必要です。アクセス権については、コンピューターの管理者に確認してください。

※ Windows 標準の「プリンターの追加」では、プリンタードライバー以外のユーティリティがインストールされません。

プリンタードライバー以外のユーティリティをインストールしないと、プリンタードライバーの一部の機能が制限されるなどプリンターの機能を最大限に活かすことができなくなりますので、セットアップウィザードを使用してインストールすることをお奨めします。

プリンタードライバーをWindows標準の「プリンターの追加」でインストールする方法は、「ユーザーズマニュアル（プリンタードライバー編）」をお読みください。

Windows 7/Vista/XP/Server 2008/Server 2003 環境では、TCP/IPを利用したネットワーク印刷を利用する方法として以下の３通りがあります。

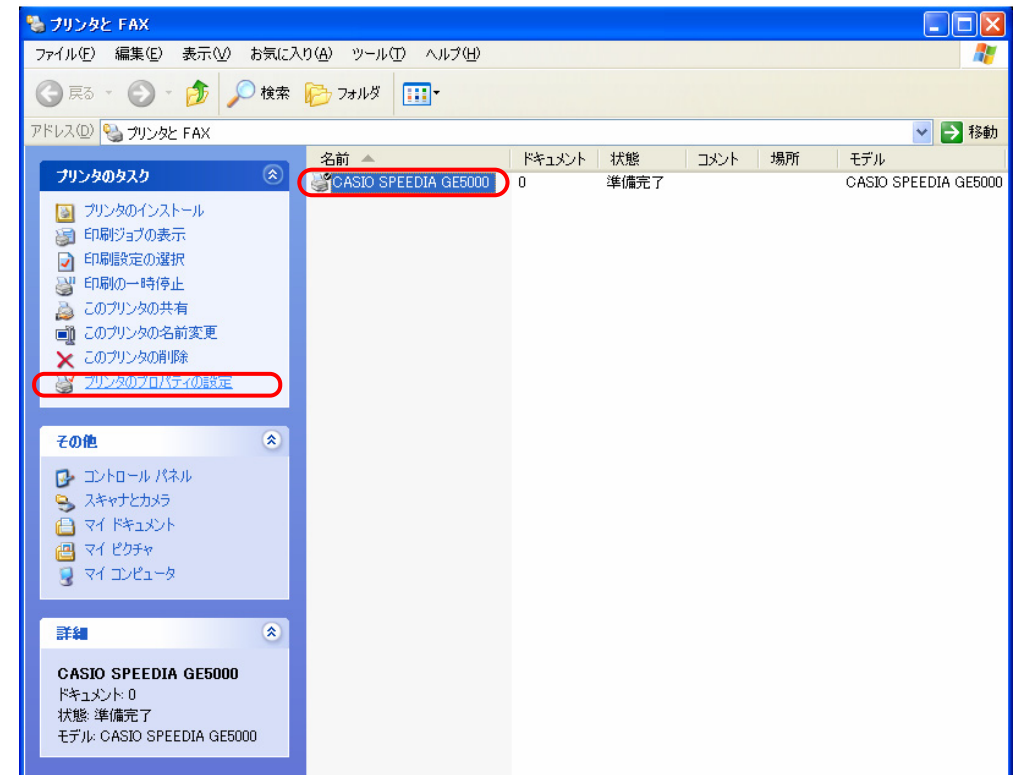
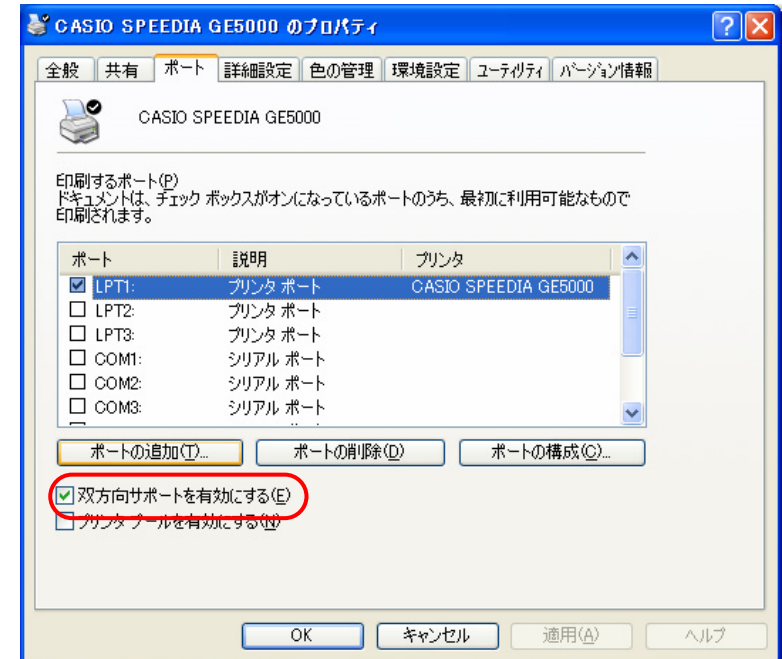
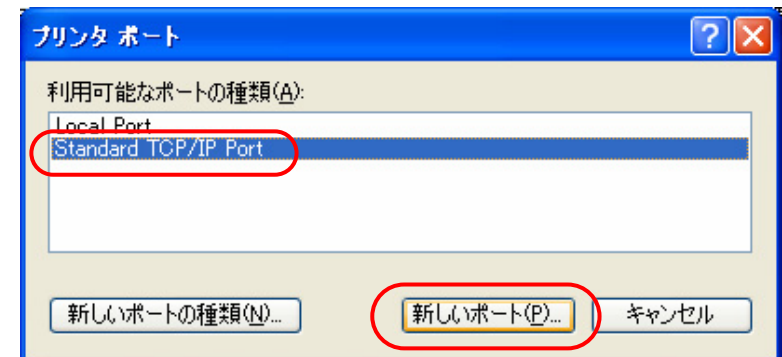
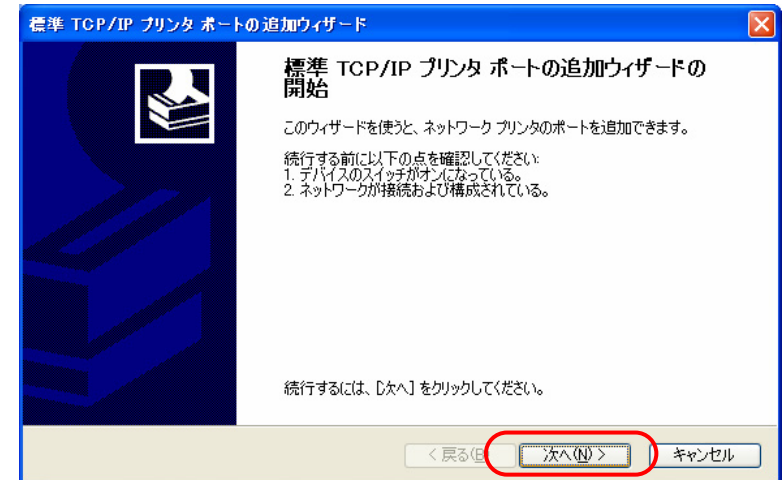
- 「UNIX用印刷サービス」をインストールすることにより利用できる「LPR Port」を使用する方法。
- 「Standard TCP/IP Port」の「LPR」を使用する方法。
- 「Standard TCP/IP Port」の「Raw」を使用する方法。

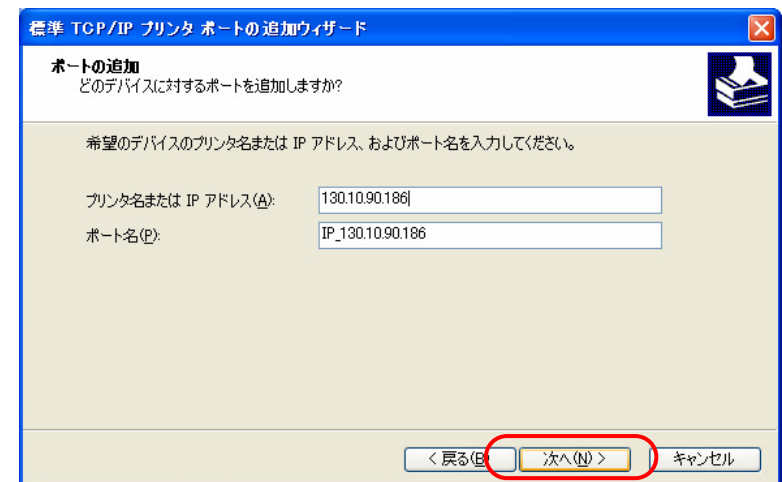
ここでは Windows XP にて「Standard TCP/IP Port」の LPR／Raw を使用してTCP/IPネットワーク印刷を行う手順を、あらかじめ「印刷するポート」として「LPT1:」に設定されているプリンターの印刷ポートをTCP/IP印刷用に設定変更する場合の手順を説明します。

なお、プリンターの追加にて新しいプリンターをインストールする場合も印刷ポートの作成手順は概ね同じです。 また、Windows 7/ Vista / Server 2008 / Server 2003では画面デザインなどが異なりますが手順は同じです。

① Windows XPを立ち上げ、ユーザーグループ「Administrators」に属するユーザー名でログインします。

② 「スタート」メニューから「プリンタとFAX」を選択し、「プリンタとFAX」フォルダーを開きます。

③ TCP/IPネットワーク印刷を行いたいプリンターの「プロパティ」を開きます。

④「プリンタプロパティ」より「ポート」タブをクリックして、「ポート」タブを表示します。 続いて［ポートの追加］ボタンをクリックし、ポートの追加を開始します。

⑤「プリンタポート」画面が表示されますので、「利用可能なポートの種類」から「Standard TCP/IP Port」を選択し、［新しいポート］ボタンをクリックします。

⑥「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」が起動されますので、［次へ］ボタンをクリックします。

⑦「ポートの追加」画面が表示されますので、「プリンタ名またはIPアドレス」へIPアドレスを入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

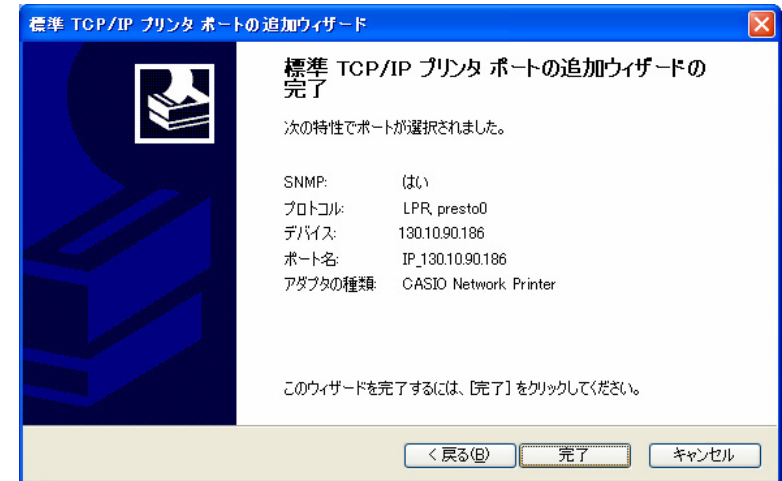
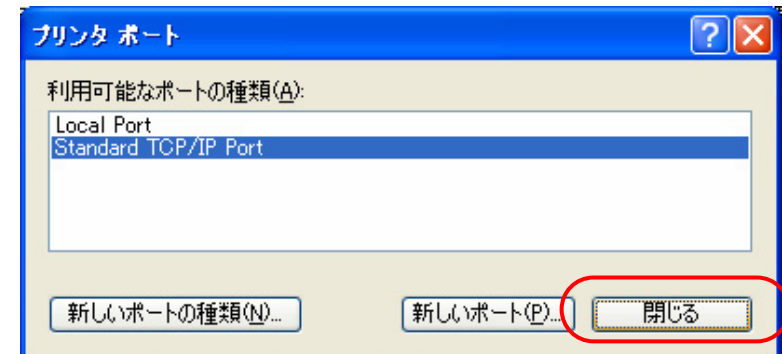
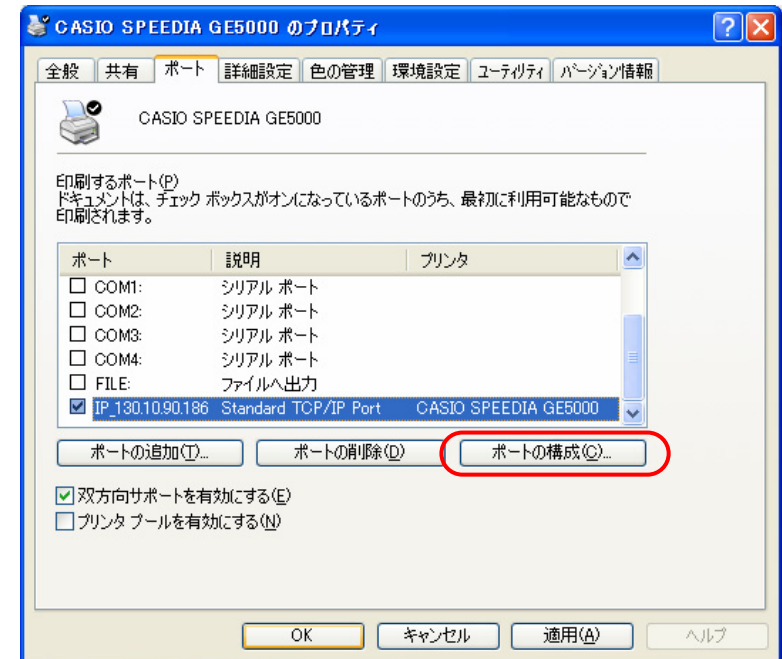
IPアドレスを入力すると、「ポート名」は自動的に表示されます。

⑧「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されますので、[完了] ボタンをクリックします。

※以下の「ポートの設定」はWindows XPにより自動的に設定されます。

●SNMP設定「SNMPを有効にする」**の選択。
●プロトコル「LPR」**の選択。
●LPR設定「キュー名」へ「presto0」*の設定。
●LPR設定「バイトカウントを有効にする」**の選択。

なお、本プリンターは、「バイトカウントを有効にする」**を選択しなくても正常に動作します。

*「presto0」は弊社旧製品との互換用です。 将来機能制限が発生する場合がありますので、後述⑪にて「lp0」へ変更します。

**「LPR」を「Raw」へ、「バイトカウントを有効にする」を「バイトカウントを無効にする」へ、それぞれの変更は後述⑪にて説明します。

⑨「プリンタポート」画面へ戻りますので、 [閉じる] ボタンをクリックします。

⑩「プリンタプロパティ」画面へ戻りますので、［ポートの構成］ボタンをクリックし「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」を表示します。

⑪「LPR設定」の「キュー名」欄を「lp0」へ変更し、［OK］ボタンをクリックして「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」を閉じます。

*「presto0」は弊社旧製品との互換用です。将来機能制限が発生する場合がありますので、「lp0」へ変更します。

また、「LPRバイトカウントを有効にする」のチェックボックスをオフへ変更し、［OK］ボタンをクリックして「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」を閉じます。

※「LPRバイトカウントを有効にする」とは？

・LPRを規定している「RFC1179」では、送信するデータファイル（印刷データを指します）の容量と名前を定義したジョブサブコマンドを送信し、その肯定応答を受け取った後にデータファイルを送信することになっています。

・通常印刷データの容量は、印刷データの生成処理が終了するまで確定しませんので、この規定を満たすためには生成する印刷データをすべてファイルとしてハードディスク等に書き出す必要があります。

・これにはハードディスク等に充分な空き容量必要ですが、非常に大量の印刷を行った場合、空き容量が不足して印刷できない事態が発生することになります。

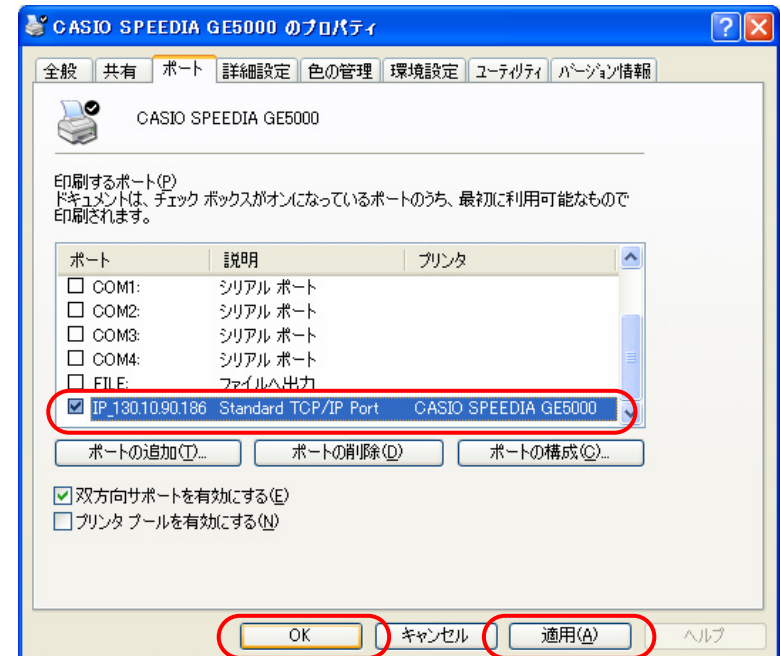
・LPRをサポートする多くの機器では、印刷データをハードディスク等に一旦すべて書き出すことなく（送信するデータファイルの容量が確定する前に）印刷データの送信を開始するために「RFC1179」に規定されていない処理を追加しています。

・Windows 7/Vista/XP/2000/Server 2008/Server 2003 では、「LPRバイトカウントを有効にする」のチェックボックスのオン／オフで、
　オン：『「RFC1179」の規定に沿って印刷データを送信するが、ハードディスク等に充分な空き容量が必要で、もし容量不足になった場合は印刷が行えない』処理。
　オフ：『「RFC1179」の規定からは一部外れて印刷データを送信するが、ハードディスク等の空き容量はある程度あれば良く、かつ容量不足になって印刷が行えない事態にはならない』処理。
の切り替えを行っています。

あるいは、Rawプロトコル（Port 9100）を使用する場合には、「プロトコル」の「Raw」をクリックして選択します。「Raw 設定」の「ポート番号」欄が「9100」になっていることを確認してください。 その後、［OK］ボタンをクリックして「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」を閉じます。

※Rawプロトコル（Port 9100）は、データファイル（印刷データ）を送信する機能だけで容量を送信する規定はありませんので、LPRにて「LPRバイトカウントを有効にする」のチェックボックスをオフにした場合と似たような処理となります。

⑫ 設定したポートが登録され選択されている（チェックボックスがオン）ことを確認してください。

その後、［適用］ボタン、［OK］ボタンをクリックし終了します。

※以上で、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。 Windows XP 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

2.2.2. Windows 2000 で印刷する際の設定

★プリンタードライバー「セットアップ」のご紹介★

付属のCD-ROMには、プリンタードライバーを始め、本プリンターをWindows環境にて快適にお使いいただくための各種ソフトウェアを収納しております。

本プリンターをWindows環境でご使用いただくには、プリンタードライバーのインストールが必要です。プリンタードライバーのセットアップウィザードを使用してプリンターのセットアップを行いますと、本項に記載してあります「Windows 7/Vista/XP/2000/Server 2008/Server 2003 のIPネットワーク環境での各設定」が簡単に行えます。 詳しくは「ユーザーズマニュアル（セットアップ編）」を参照してください。

また、セットアップウィザードを使用せずにWindows 標準の「プリンターの追加」で、プリンタードライバーを個別にインストールすることもできます。

※ Windows 7/Vista/XP/2000/Server 2008/Server 2003 では、プリンタードライバーのインストールおよび設定を行うためそれぞれのアクセス権が必要です。アクセス権については、コンピューターの管理者に確認してください。

※ Windows 標準の「プリンターの追加」では、プリンタードライバー以外のユーティリティがインストールされません。

プリンタードライバー以外のユーティリティをインストールしないと、プリンタードライバーの一部の機能が制限されるなどプリンターの機能を最大限に活かすことができなくなりますので、セットアップウィザードを使用してインストールすることをお奨めします。

プリンタードライバーをWindows標準の「プリンターの追加」でインストールする方法は、「ユーザーズマニュアル（プリンタードライバー編）」をお読みください。

Windows 2000環境では、TCP/IPを利用したネットワーク印刷を利用する方法として以下の3通りがあります。

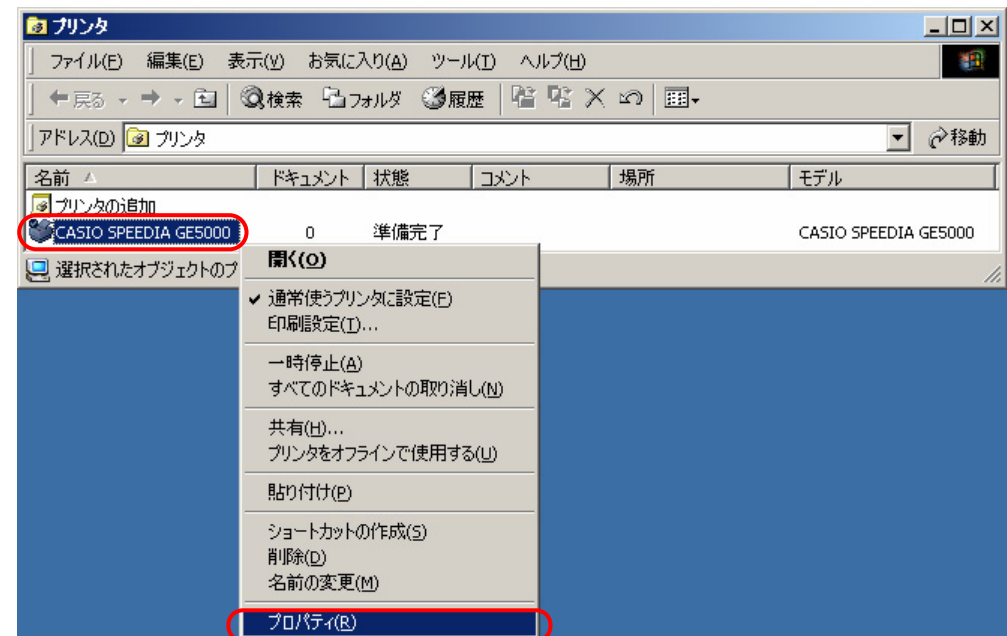
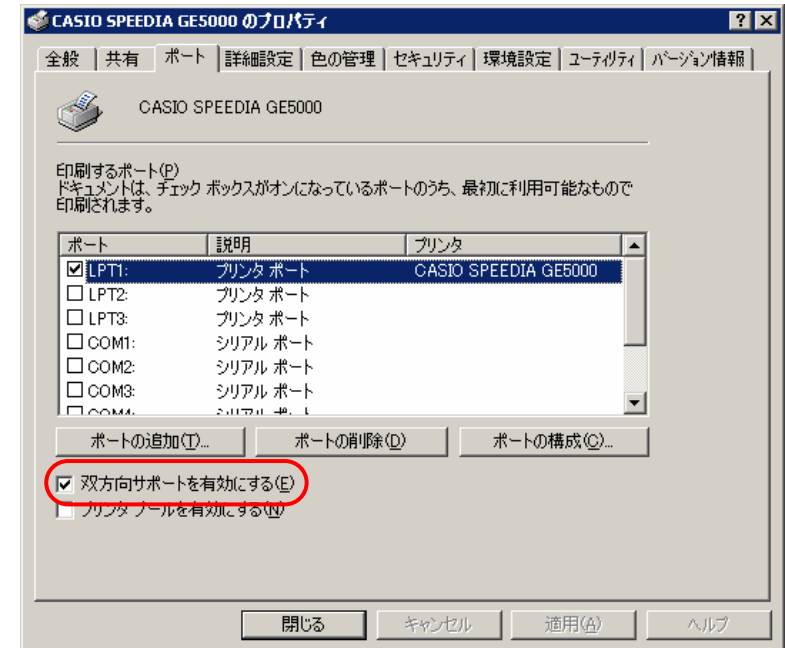
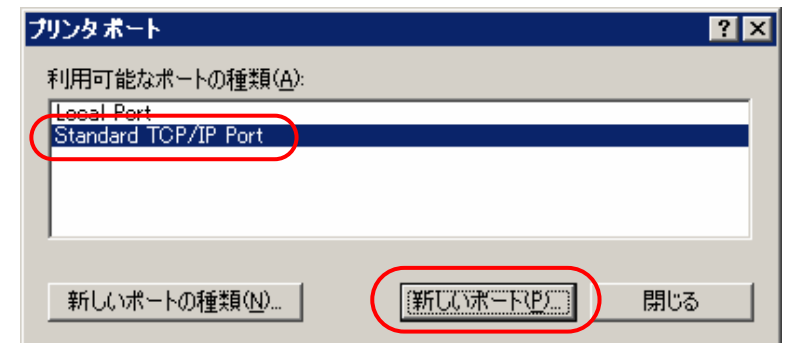
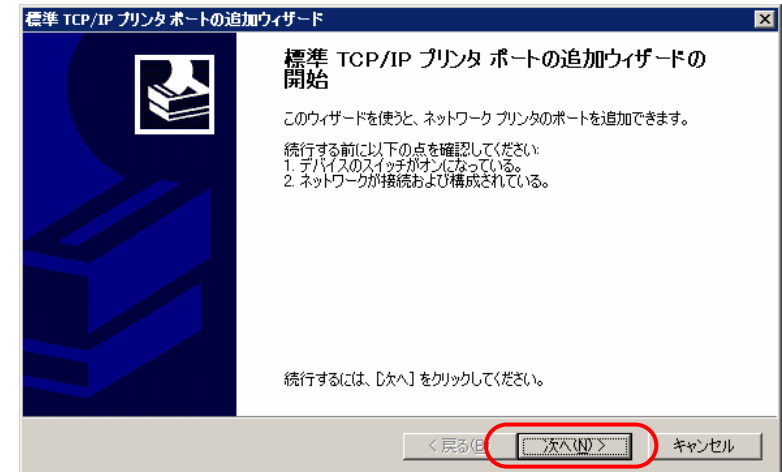
- 「UNIX用印刷サービス」をインストールすることにより利用できる「LPR Port」を使用する方法。
- 「Standard TCP/IP Port」の「LPR」を使用する方法。
- 「Standard TCP/IP Port」の「Raw」を使用する方法。

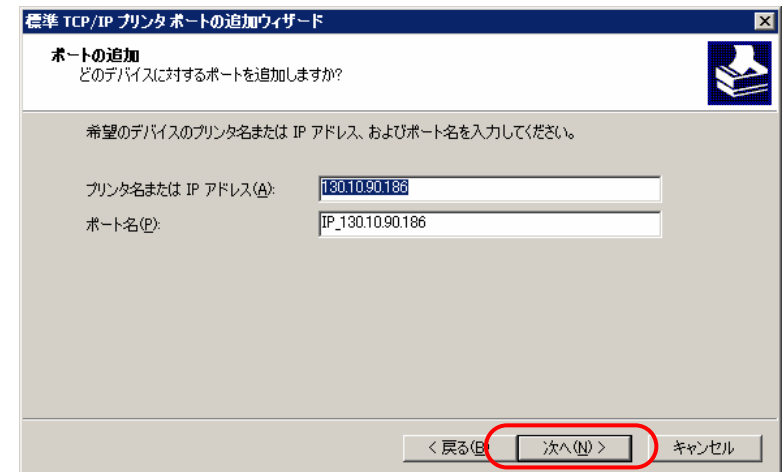
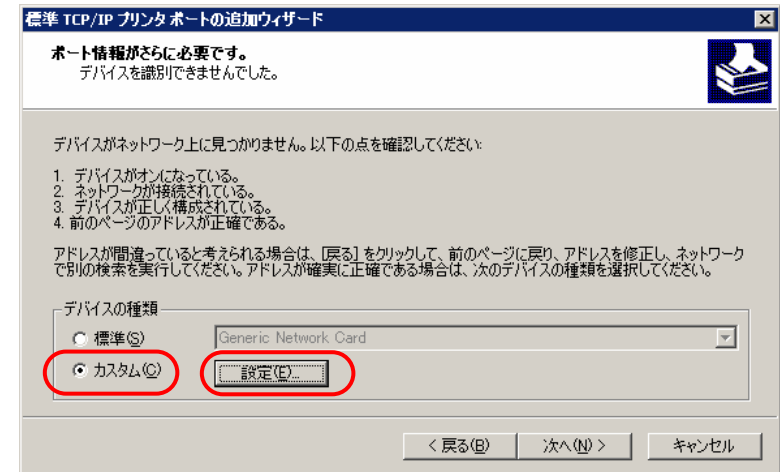
ここでは「Standard TCP/IP Port」の LPR／Raw を使用してTCP/IPネットワーク印刷を行う手順を、あらかじめ「印刷するポート」として「LPT1:」に設定されているプリンターの印刷ポートをTCP/IP印刷用に設定変更する場合の手順を説明します。

なお、プリンターの追加にて新しいプリンターをインストールする場合も印刷ポートの作成手順は概ね同じです。

① Windows 2000を立ち上げ、ユーザーグループ「Administrators」に属するユーザー名でログインします。

② 「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を選択し、「プリンタ」フォルダーを開きます。

③ TCP/IPネットワーク印刷を行いたいプリンターの「プロパティ」を開きます。

④「プリンタプロパティ」より「ポート」タブをクリックして、「ポート」タブを表示します。 続いて［ポートの追加］ボタンをクリックし、ポートの追加を開始します。

⑤「プリンタポート」画面が表示されますので、「利用可能なポートの種類」から「Standard TCP/IP Port」を選択し、［新しいポート］ボタンをクリックします。

⑥「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」が起動されますので、［次へ］ボタンをクリックします。

⑦「ポートの追加」画面が表示されますので、「プリンタ名またはIPアドレス」へIPアドレスを入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

IPアドレスを入力すると、「ポート名」は自動的に表示されます。

⑧「ポートの情報がさらに必要です。」画面が表示されますので、「デバイスの種類」で「カスタム」を選択し［設定］ボタンをクリックします。

⑨「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」画面の「ポートの設定」タブが表示されますので、以下の設定を行います。

●SNMP設定「SNMPを有効にする」の選択。
●プロトコル「LPR」の選択。
●LPR設定「キュー名」へ「lp0」の設定。
●LPR設定「バイトカウントを有効にする」の選択。

なお、本プリンターは、「バイトカウントを有効にする」を選択しなくても正常に動作します。

すべての設定が終了したら［OK］ボタンをクリックして「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」を閉じます。

または、「LPRバイトカウントを有効にする」のチェックボックスをオフへ変更し、［OK］ボタンをクリックして「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」を閉じます。

※「LPRバイトカウントを有効にする」とは？

・LPRを規定している「RFC1179」では、送信するデータファイル（印刷データを指します）の容量と名前を定義したジョブサブコマンドを送信し、その肯定応答を受け取った後にデータファイルを送信することになっています。

・通常印刷データの容量は、印刷データの生成処理が終了するまで確定しませんので、この規定を満たすためには生成する印刷データをすべてファイルとしてハードディスク等に書き出す必要があります。

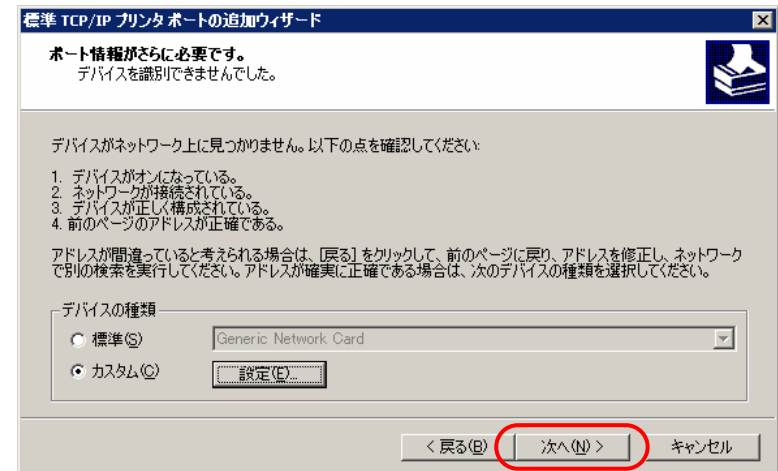
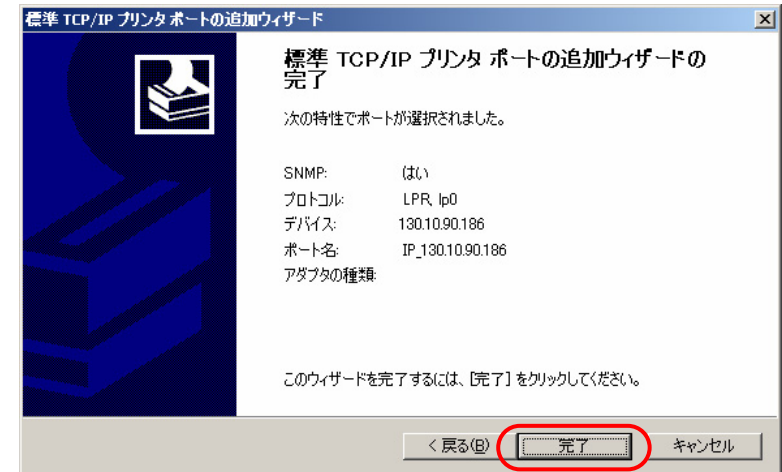
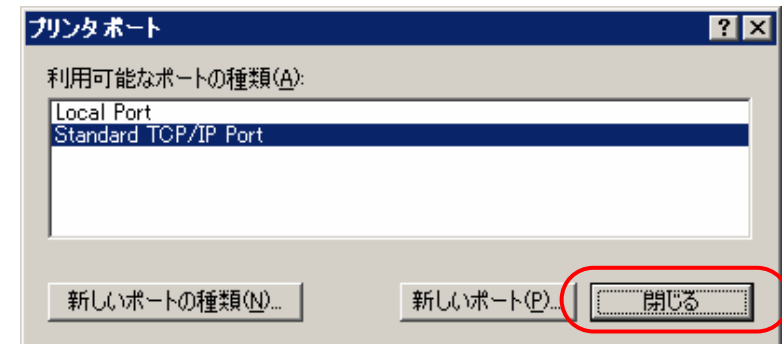
・これにはハードディスク等に充分な空き容量必要ですが、非常に大量の印刷を行った場合、空き容量が不足して印刷できない事態が発生することになります。

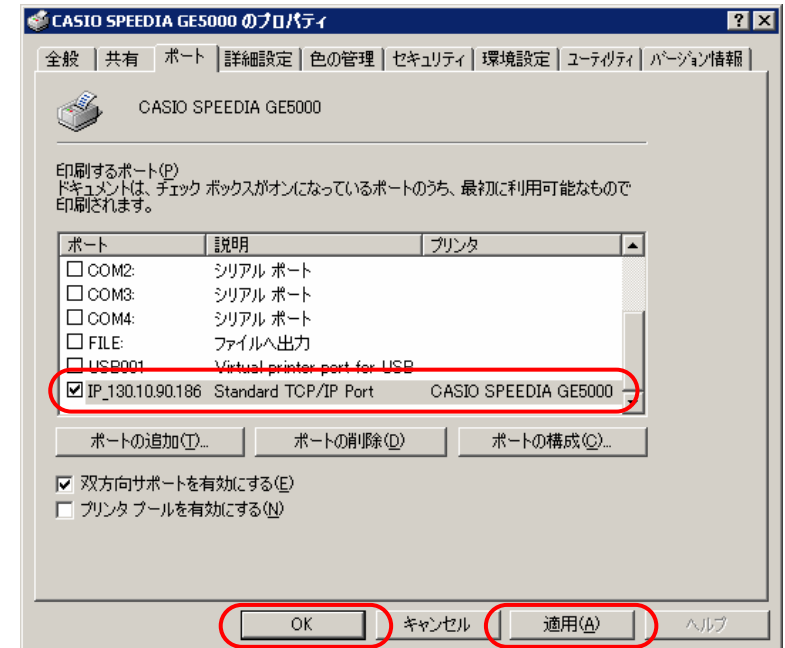
・LPRをサポートする多くの機器では、印刷データをハードディスク等に一旦すべて書き出すことなく（送信するデータファイルの容量が確定する前に）印刷データの送信を開始するために「RFC1179」に規定されていない処理を追加しています。

・Windows 7/Vista/XP/2000/Server 2008/Server 2003 では、「LPRバイトカウントを有効にする」のチェックボックスのオン／オフで、
　オン：『「RFC1179」の規定に沿って印刷データを送信するが、ハードディスク等に充分な空き容量が必要で、もし容量不足になった場合は印刷が行えない』処理。
　オフ：『「RFC1179」の規定からは一部外れて印刷データを送信するが、ハードディスク等の空き容量はある程度あれば良く、かつ容量不足になって印刷が行えない事態にはならない』処理。
　の切り替えを行っています。

あるいは、Rawプロトコル(Port 9100)を使用する場合には、「プロトコル」の「Raw」をクリックして選択します。「Raw 設定」の「ポート番号」欄が「9100」になっていることを確認してください。その後、［OK］ボタンをクリックして「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」を閉じます。

※Rawプロトコル(Port 9100)は、データファイル（印刷データ）を送信する機能だけで容量を送信する規定はありませんので、LPRにて「LPRバイトカウントを有効にする」のチェックボックスをオフにした場合と似たような処理となります。

⑩「ポートの情報がさらに必要です。」画面に戻りますので、［次へ］ボタンをクリックします。

⑪「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されますので、［完了］ボタンをクリックします。

⑫「プリンタポート」画面へ戻りますので、［閉じる］ボタンをクリックします。

⑬ 「プリンタプロパティ」画面へ戻りますので、設定したポートが登録され選択されている（チェックボックスがオン）ことを確認してください。

その後、［適用］ボタン、［OK］ボタンをクリックし終了します。

※以上で、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。 Windows 2000 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

2.3. DHCPを使用する際の設定

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol：動的ホスト構成プロトコル）を使用してIPアドレスの設定／管理を行っている環境では、本プリンターのIPアドレスも同様に設定／管理を行うことができます。

DHCPはその名称が示すように、IPアドレスを含めたホスト構成を動的に行いますので、印刷を行うプリンターにて使用する際には関連する設定を行う必要があります。

本プリンターを使用する環境のMicrosoft Network（Windowsのネットワーク環境）にて「WINS（Windows Internet Name Service）」を使用している場合は、WINSサーバーのNetBIOSネームサービスによりプリンターの名前解決（本プリンターの名前（ネットワーク設定変数machine_name設定文字列）からDHCPサーバーにより割り当てられたIPアドレスへのマッピングの登録と解決）を行うことができます。 この場合、本プリンターへDHCPサーバーより割り当てられる（リースされる）IPアドレスは「予約」を行う必要が無く、毎回異なるIPアドレスをリースされてもプリンターがWINSサーバーへNetBIOS名の登録を行いますので、WINSサーバーにより名前解決が行われます。 従いまして、お使いのコンピューターの設定を毎回変更することなく使用することができます。

「WINS」を使用していない場合は、DHCPサーバーへプリンターのEthernetアドレスとリースするIPアドレスを「予約」登録し、プリンターが取得するIPアドレスを固定して使用します。

ここでは、本プリンターを使用する環境おいて Microsoft Network（Windowsのネットワーク環境）を構築し、Windows 2000 Server 上で DHCPサーバーを運用している場合に、DHCPサーバーへ本プリンターのEthernetアドレスとリースするIPアドレスを「予約」登録して使用する際の設定手順を説明します。 Windows Server 2008 / 2003 での設定手順も概ね同じとなっています。 「WINS」を使用している場合は、『2.4. WINSを使用する際の設定』を参照してください。

【注意】WINSサーバー／DHCPサーバーはシステム管理者によって管理されています。 設定確認にあたっては、システム管理者の了承のもとで行ってください。

・WINSサーバー機能／DHCPサーバー機能はあらかじめサーバーコンピューターへインストールされている必要があります。 詳しくはシステム管理者に確認してください。 または、各オペレーティングシステムのマニュアル／オンラインヘルプをお読みください。

2.3.1. DHCPを使用する際の設定手順概要

プリンターをDHCPで使用する際は、以下の手順で設定を行ってください。

① プリンターのEthernetアドレス（MACアドレス）を確認します。 確認したアドレスは後で使用しますのでメモなどに転記しておいてください。
→「1.2. Ethernet アドレスについて」参照。

② DHCPサーバーの設定を行います。

・「予約」の設定を行います。『2.3.2. DHCPサーバーへ「予約」の追加設定』参照。

③ プリンターの設定を行います。
プリンターの操作パネルにて「通信方法（IP Config）」を「DHCP」へ設定します。

- プリンターの基本設定をプリンターの操作パネルより行います。下表の内「プリンター操作パネル表示名称」欄へ名称の記載がある5項目が操作パネルにて設定可能です。（※設定方法の簡単な説明を『【図 5.1.－1. プリンター操作パネルの操作例】』へ記載しています。）
- DHCPを使用する場合は、「通信速度（Link Mode）」「通信方法（IP Config）」の2項目の設定が必要です。
- その他のネットワーク設定変数設定は『TELNET』『Webブラウザー』『IPX版ネットワーク設定ユーティリティ』で行うことができます。設定方法は「4. プリンターのネットワーク設定」を参照してください。

※1）設定した設定候補（値）が正しくない場合、正常に通信が行えない場合があります。 正しい設定候補（値）に関しては『5.2. ネットワーク設定一覧』を参照してください。

メニュー項目名	操作パネル表示設定項目名称	設定候補	概略・他
通信速度	通信速度	自動設定 100M全二重 100M半二重 10M全二重 10M半二重	通信速度を設定します。 ※「自動設定」･･･Auto Negotiation 機能を使用して、通信速度を決定します。 ★通常は「自動設定」でお使いください。「自動設定」でコンセントレーター（Hub）とのLinkが確立しない場合に、他の設定をお試しください。
通信方法	通信方法	メモリー RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの決定方法を設定します。 ※「メモリー」･･･次項目「IPアドレス」へ設定したIPアドレスを使用します。 ★「RARP」「BOOTP」「DHCP」をお使いの場合は、それぞれに対応したサーバーが必要となります。
IPアドレス	IP （IPアドレス）	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	IPアドレスを設定します。 ※前項目「通信方法」の設定が「メモリー」の場合のみ、設定が可能です。 ★「0.0.0.0」「255.255.255.255」「127.0.0.1」などの「特別な意味を持つIPアドレス」を設定しますと、正常な通信が行えません。
	NM （サブネットマスク）	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	サブネットマスクを設定します。 ※前項目「通信方法」の設定が「メモリー」の場合のみ、設定が可能です。 ※「0.0.0.0」･･･決定したIPアドレスより、自動設定します。 ★DHCPサーバーより通知された場合は、サーバーの通知が使用されます。
	GW （ゲートウェイ）	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	ゲートウェイアドレスを設定します。 ※前項目「通信方法」の設定が「メモリー」の場合のみ、設定が可能です。 ★DHCPサーバーより通知された場合は、サーバーの通知が使用されます。

※プリンター本体操作パネルによる設定方法の簡単な説明を『5.1. プリンターの操作パネルで設定可能なネットワーク設定一覧』へ記載しています。

※設定した設定候補（値）が正しくない場合、正常に通信が行えない場合があります。 正しい設定候補（値）に関しては『5.2. ネットワーク設定一覧』を参照してください。

④ プリンターを再起動します。

　プリンターの電源切断、５秒以上待った後に電源を投入してください。

⑤ お使いのクライアントコンピューターの設定を行います。

　DHCPサーバーにて「予約」を行ったIPアドレスを使用してクライアントコンピューターの設定を行います。

2.3.2. DHCPサーバーへ「予約」の追加設定

ここでは、DHCPサーバーに対して、プリンターのEthernetアドレスとリースするIPアドレスの「予約」登録を行います。

WINSを使用していないネットワーク環境では必ず「予約」登録を行ってください。 WINSを使用している場合は、「予約」行わなくても使用できます。（「2.4. WINSを使用する際の設定」を参照してください。）

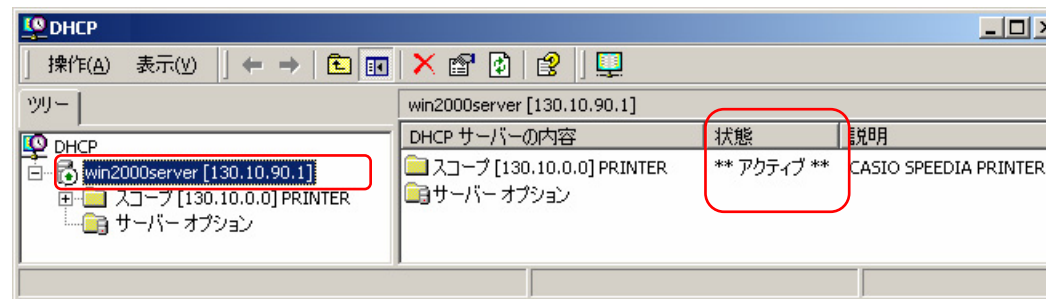
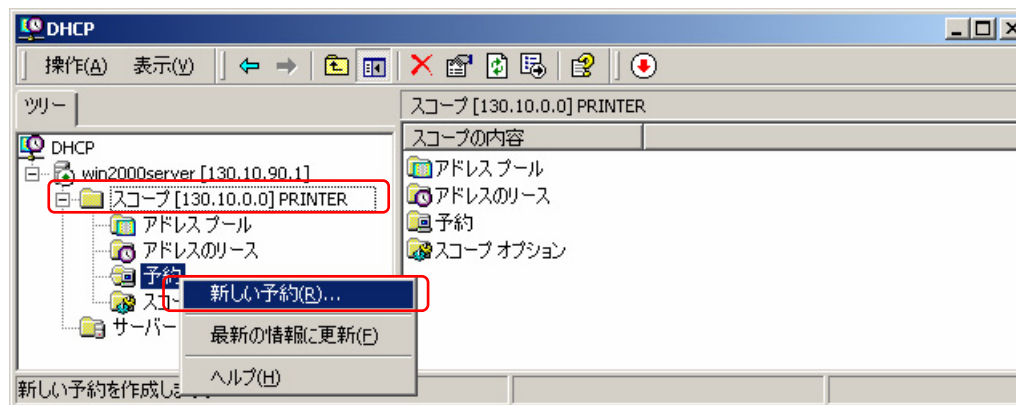
以下の説明例では Windows 2000 Server を例としてしますが、異なる場合は必要に応じて設定を行ってください。

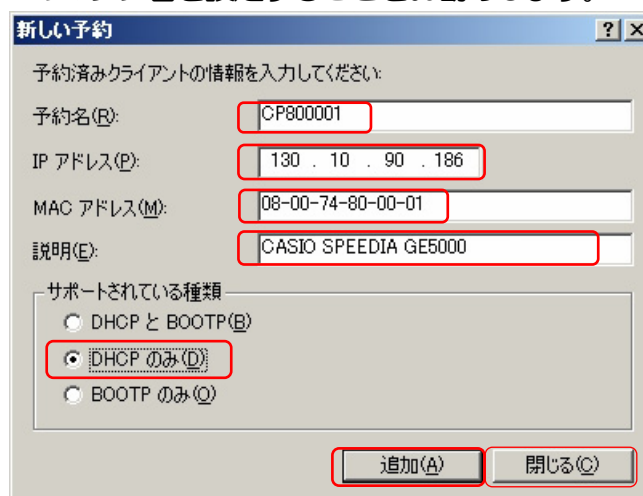
① Windows 2000 Server へユーザーグループ「Administrator」に属するユーザー名でログインします。

② 「スタート」メニューの「設定」から「コントロールパネル」を選択し、「コントロールパネル」を開きます。

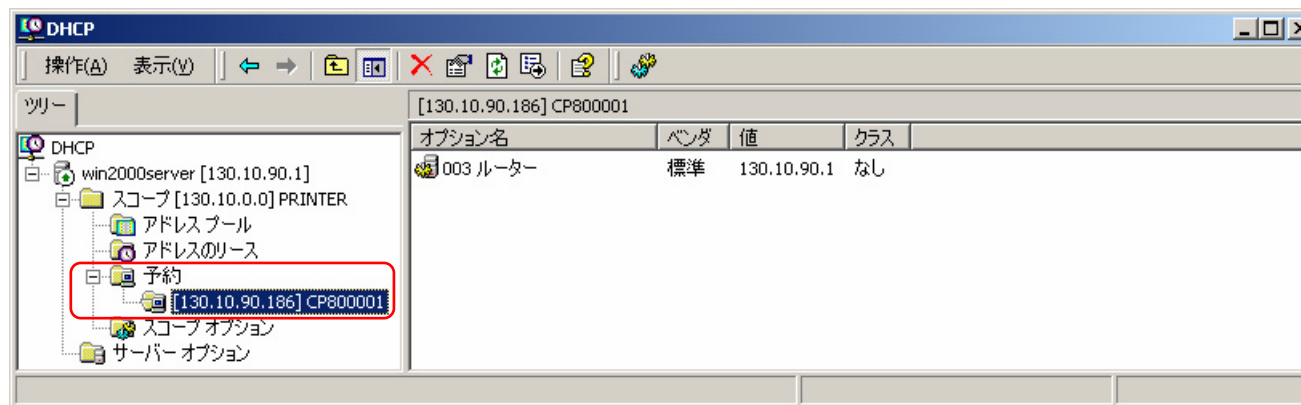
③ 「コントロールパネル」から「管理ツール」を選択し、「管理ツール」を開きます。

④ 「管理ツール」から「DHCP」を選択し、DHCPサーバーの管理画面を開きます。

⑤ スコープの「状態」が「アクティブ」であることを確認してください。

⑥「予約」を行う「スコープ」ツリー表示を展開し、「予約」を選択して右クリックメニューより「新しい予約」を選択します。

⑦表示される「新しい予約」画面にて、リースを行う「IPアドレス」とプリンターボードの「MACアドレス」（Ethernetアドレス） を設定し、「DHCPのみ」をクリックします。

「予約名」は任意の文字列ですが、プリンターのマシン名を設定することをお勧めします。

⑧［追加］ボタンをクリックして設定した「予約」を登録します。

※続けて複数のプリンターの登録を行う場合は、設定と追加を繰り返してください。 追加が終了したら［閉じる］ボタンをクリックして「新しい予約」を終了します。

⑨「予約」した結果が予約ツリーへ追加表示されていることを確認してください。

2.3.3. プリンターのネットワーク設定

ここでは、プリンターのネットワーク設定変数「通信方法（IPアドレス決定方法、変数名：ip_config）」の設定変更を行います。

① プリンターの操作パネルにて、メニュー項目名「通信方法」（操作パネル設定項目表示名称は「通信方法」）を「DHCP」へ変更し［◎］キーを押下します。 設定に際しては、必ずシステム管理者の同意を得て行ってください。

※設定した内容は、操作パネルにて［オンライン］ボタンを押下して、オンライン状態へ移行する際に保存されます。 設定変更後は必ずオンライン状態にしてください。

② プリンターを再起動します。

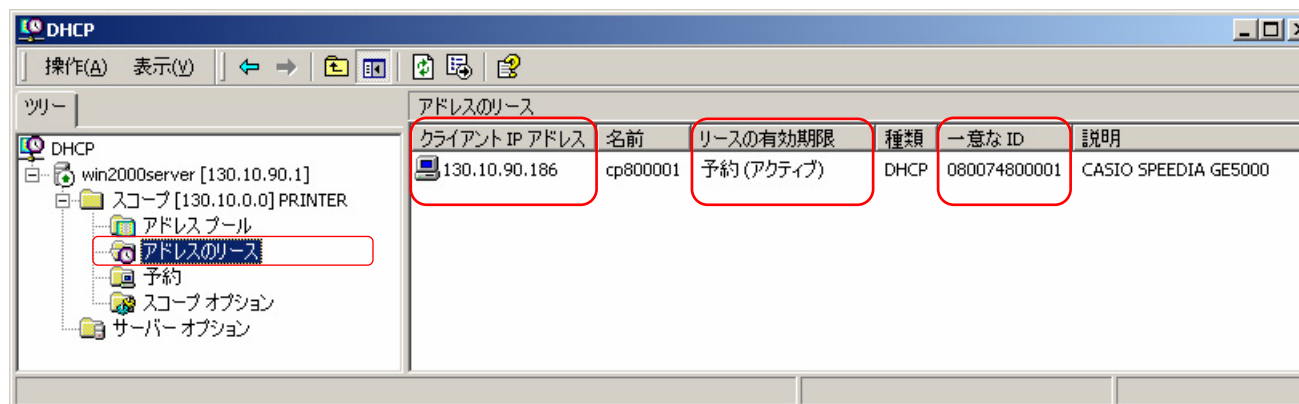
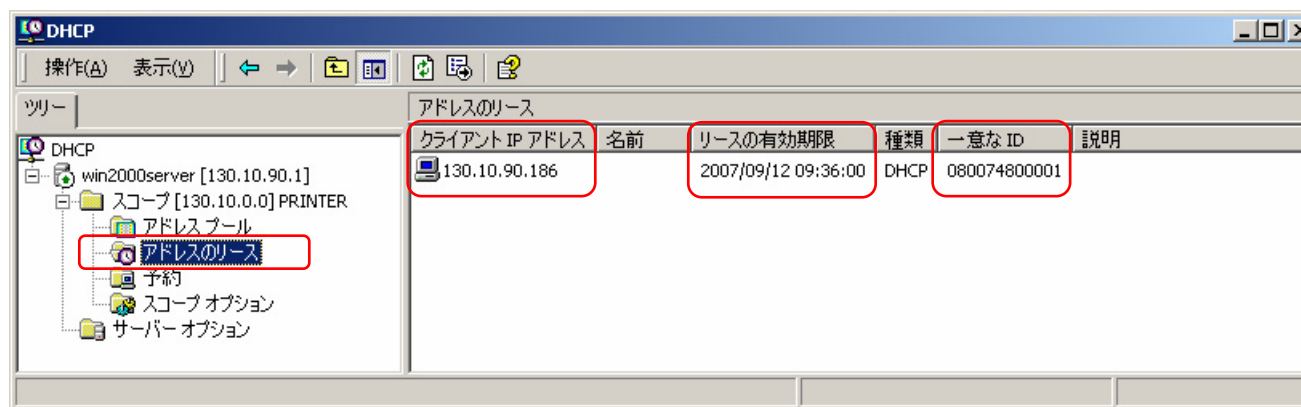
※保存した設定内容は次回プリンターが正常に起動した後に有効になります。 プリンター本体の電源を「切」→「入」してください。

2.3.4. DHCPの設定の確認

ここでは、これまでの「DHCPを使用する際の設定手順」が正しく行われ、プリンターが使用可能状態であることをDHCPサーバーの表示で確認します。

以下の説明例では Windows 2000 Server を例としてしますが、異なる場合は必要に応じて操作を行ってください。

① DHCPサーバーの管理画面で「アドレスのリース」を選択します。

② 現在リースされているIPアドレスの一覧が表示されますので、「クライアントIPアドレス」欄、「一意なID」欄を確認してください。 確認した内容は後でクライアントコンピューターの設定に使用しますので、メモなどへ転記しておいてください。「一意なID」欄にはプリンターのEthernetアドレス（MACアドレス）が表示されます。 先程設定したプリンターのアドレスと同一であるか確認してください。
「名前」欄は、「予約」を行った際に設定した「予約名」が表示されます。 この場合「リースの有効期限」欄に「予約（アクティブ）」と表示されることで、プリンターへ正しくIPアドレスがリースされた（割り当てられた）ことになりますので、確認してください。

なお、WINSを使用している環境で「予約」を行わなかった場合「名前」「説明」欄は表示されません。

2.3.5. クライアントコンピューターの設定

ここでは、これまでの「DHCPを使用する際の設定手順」が正しく行われ、プリンターが使用可能状態になっているものとして、クライアントコンピューターの設定を行います。

クライアントコンピューターの設定は、既に説明した方法と同一です。

① DHCPサーバーのみ使用している場合、

ポート名またはプリンター名として、DHCPサーバーへ「予約」登録を行ったIPアドレスを使用して定義します。

② DHCPサーバーとWINSサーバーを使用している場合、

ポート名またはプリンター名として、プリンターの「マシン名」を使用して定義します。

以上で、DHCPサーバーで運用する環境での、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。

Windows 2000 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

2.4. WINSを使用する際の設定

本プリンターを使用する環境のMicrosoft Network（MS-Windowsのネットワーク環境）にて「WINS（Windows Internet Name Service）」を使用している場合は、WINSサーバーのNetBIOSネームサービスによりプリンターの名前解決(本プリンターの名前(ネットワーク設定変数machine_name設定文字列）から本プリンターのIPアドレス（固定IPアドレスの場合は IP_Address設定値、DHCP / BOOTP / RARP の場合はそれぞれのサーバーから割り当てられた（リースされる）IPアドレスへのマッピング登録と解決））を行うことができます。

WINSを使用しますと、

① DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol：動的ホスト構成プロトコル）を使用してIPアドレスの設定／管理を行っている環境では、プリンターへDHCPサーバーより割り当てられる（リースされる）IPアドレスは「予約」を行う必要が無く、毎回異なるIPアドレスをリースされてもプリンターがWINSサーバーへNetBIOS名の登録を行いますので、各クライアントコンピューターではWINSサーバーにより名前解決が行われます。従いまして、お使いのコンピューターの設定を毎回変更することなく使用することができます。

② BOOTP（BOOTstrap Protocol）／RARP（Reverse Address Resolution Protocol）を使用してIPアドレスの設定／管理を行っている環境では、プリンターへBOOTP/RARPサーバーより割り当てられるIPアドレスを元にプリンターがWINSサーバーへNetBIOS名の登録を行いますので、各クライアントコンピューターではWINSサーバーにより名前解決が行われます。 従いまして、BOOTP/RARPサーバーの設定を変更して異なるIPアドレスを割り当てても、各クライアントコンピューターへ周知する（プリンターポートの設定を変更する、あるいはhostsファイルの変更を行う、他）必要が無く、お使いのコンピューターの設定を変更することなく使用することができます。

ここでは、本プリンターを使用する環境おいて Microsoft Network（Windowsのネットワーク環境）を構築し、Windows 2000 Server 上で WINSサーバー／DHCPサーバーを運用している場合に、WINSサーバー／DHCPサーバーの設定確認とプリンターの設定手順を説明します。 Windows Server 2008 / 2003 での設定確認と設定手順も概ね同じとなっています。

【注意】WINSサーバー／DHCPサーバー／BOOTPサーバー／RARPサーバーはシステム管理者によって管理されています。 設定確認にあたっては、システム管理者の了承のもとで行ってください。

・WINSサーバー機能／DHCPサーバー機能／BOOTPサーバー機能／RARPサーバー機能はあらかじめサーバーコンピューターへインストールされている必要があります。 詳しくはシステム管理者に確認してください。 または、各オペレーティングシステムのマニュアル／オンラインヘルプをお読みください。

2.4.1. WINSを使用する際の設定手順概要

プリンターをWINSで運用するネットワーク環境において使用する際は、以下の手順で設定を行ってください。

① プリンターのマシン名（ネットワーク設定変数machine_name設定文字列）を確認します。 確認したマシン名は後で使用しますのでメモなどに転記しておいてください。

② WINSサーバーが稼働中であるかの確認を行います。

③ DHCPサーバーを使用している場合は、DHCPサーバーの設定確認を行います。

④ DHCPサーバーを使用していない場合、またはDHCPサーバーのオプションで「044 WINS/NBNS サーバー」オプションを設定していない場合は、「Webブラウザー」または「telnet」を使用してプリンターへWINSサーバーアドレス（ネットワーク設定変数 wins_server1 / wins_server2）の設定を行います。

⑤ プリンターを再起動します。

⑥ WINSサーバーでの設定確認。

⑦ お使いのクライアントコンピューターの設定を行います。

2.4.2. WINSサーバーが稼働中であるかの設定確認

ここではWINSサーバーの稼働状況を確認します。

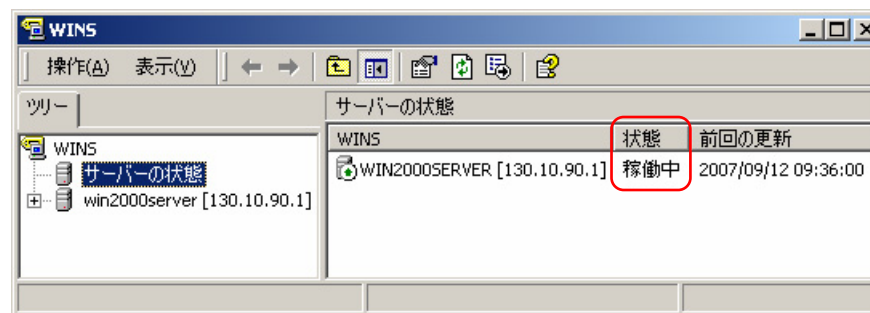
以下の説明例では Windows 2000 Server を例としていますが、異なる場合は必要に応じて設定確認を行ってください。

① Windows 2000 Server へユーザーグループ「Administrator」に属するユーザー名でログインします。

② 「スタート」メニューの「設定」から「コントロールパネル」を選択し、「コントロールパネル」を開きます。

③ 「コントロールパネル」から「管理ツール」を選択し、管理ツールを開きます。

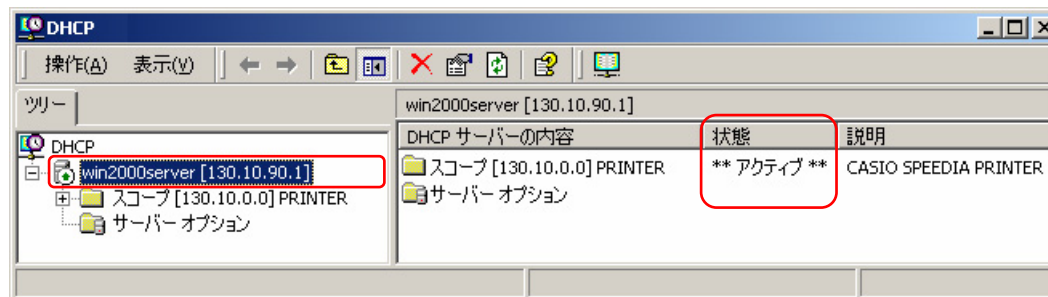
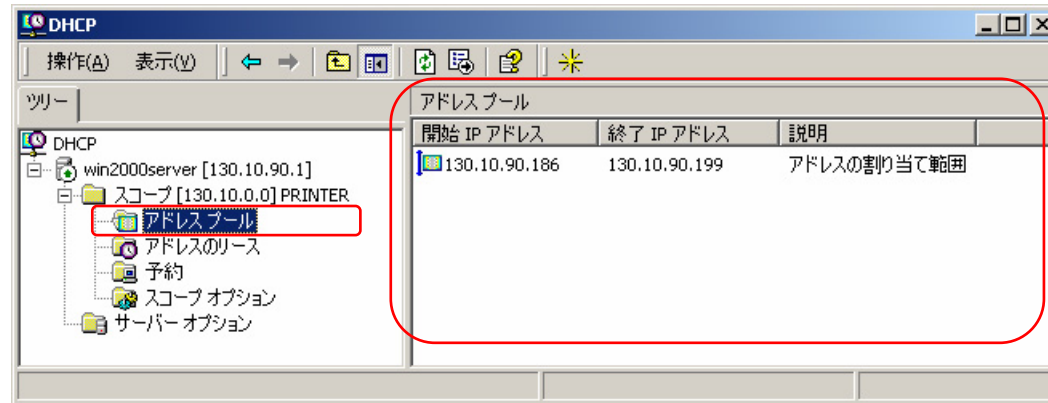
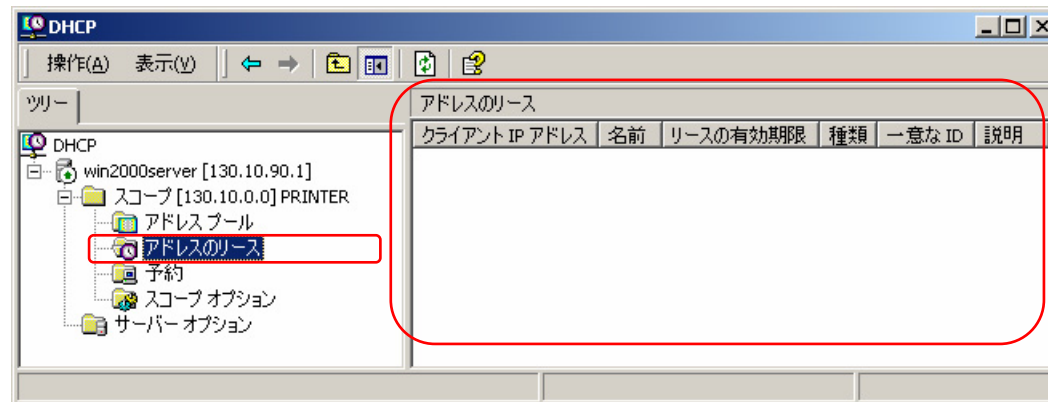
④ 「管理ツール」から「WINS」ショートカットを選択し、WINSサーバーの管理画面を開きます。（WINSサーバーをインストールしていない場合は、ショートカットが表示されません。）

⑤「サーバーの状態」が「稼働中」であることを確認してください。

2.4.3. DHCPサーバーの設定確認

ここではDHCPサーバーの設定を確認します。 現在のプリンター設定がDHCPを使用していない設定の場合は、『2.3.3. プリンターのネットワーク設定』を行ってください。

以下の説明例では Windows 2000 Server を例としていますが、異なる場合は必要に応じて設定確認を行ってください。

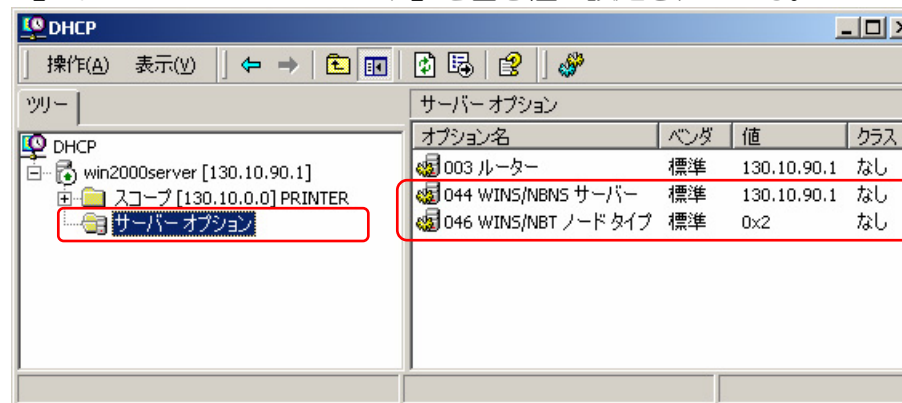
①「管理ツール」から「DHCP」ショートカットを選択し、DHCPサーバーの管理画面を開きます。（DHCPサーバーをインストールしていない場合は、ショートカットが表示されません。）

②「状態」が「アクティブ」であることを確認してください。 また、「スコープ」が正しく設定されていて「アドレスリース」に空きがあることを確認してください。

《「状態」が「アクティブ」である》

《「アドレスプール」に一定の範囲がある》

《「アドレスリース」で「アドレスプール」が占められておらず、空きがある》

③「サーバーオプション」を選択して DHCPサーバーのオプションを表示し、以下のオプション設定の確認をしてください。

・「044　WINS/NBNS サーバー」オプションに WINSサーバーのIPアドレスが設定されている。（WINSサーバーとDHCPサーバーは同一サーバーコンピューター上に構築可能です。）

・「046　WINS/NBT ノードタイプ」オプションに「P－ ノード」を含む値が設定されている。

オプション名	ベンダ	値	クラス
003 ルーター	標準	130.10.90.1	なし
044 WINS/NBNS サーバー	標準	130.10.90.1	なし
046 WINS/NBT ノード タイプ	標準	0x2	なし

※ノードタイプ設定値は以下の通りです。

- 0x1 = B－ ノード
- 0x2 = P－ ノード
- 0x4 = M－ ノード（B－ ノード ＋ P－ ノード）
- 0x8 = H－ ノード（P－ ノード ＋ B－ ノード）

※本プリンターは「P－ ノード」を使用しています。

2.4.4. プリンターのネットワーク設定

ここでは、プリンターのネットワーク設定変数「wins_server1 / wins_server2」の設定変更を行います。 前項『2.4.3. DHCPサーバーの設定確認』の「サーバーオプション」の各項目が正しくが設定されている場合は、DHCPにてWINSサーバーのIPアドレスがプリンターへ通知されますので、設定は不要です。

① 「Webブラウザー」または「telnet」を使用してプリンターへ接続します。

② システム管理者として登録したユーザー名でログインしてください。 工場出荷時は「guest」（パスワード=無し）がシステム管理者として使用可能となっています。

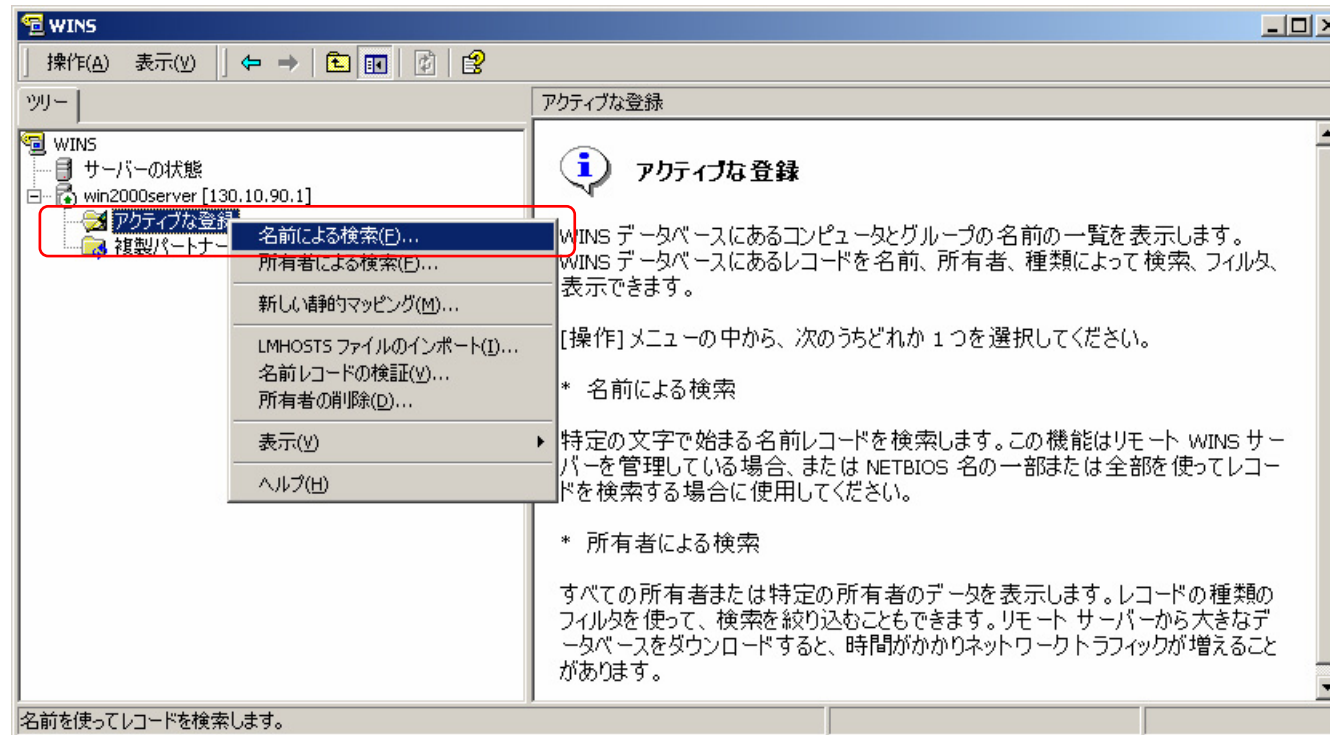
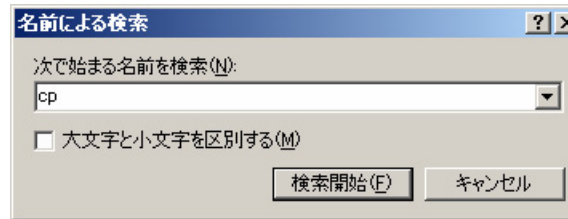
③「インターフェース設定―詳細設定―TCP/IP設定」の「WINSサーバーアドレス 1～2」へ、WINSサーバーのアドレスを設定します。

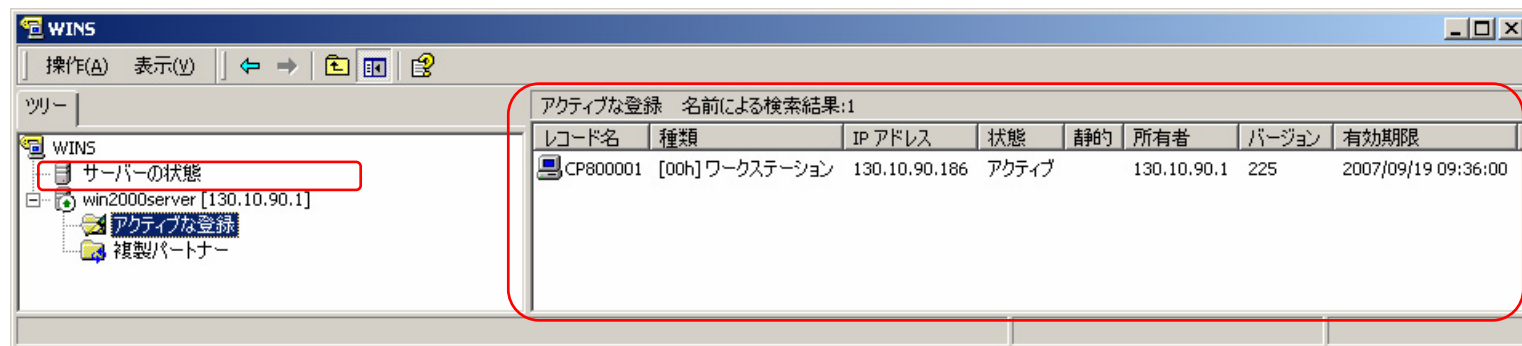
④プリンターの電源を「切」→「入」します。

2.4.5. WINSの設定確認

ここでは、これまでの「WINSを使用する際の設定手順」が正しく行われ、WINSのノードとして本プリンターが使用可能状態であることをWINSサーバーの表示で確認します。

①これまでの設定で、プリンターの電源投入後に各サーバー（DHCP/BOOTP/RPAR/WINS）の設定変更を行った場合、あるいはプリンターのネットワーク設定の変更を行った場合で、設定変更後にプリンターの電源再投入（「切」→「入」）を行っていない場合はここでプリンターの電源の再投入を行います。 そしてプリンターが正常に起動されるまで、しばらくお待ちください。

②WINSサーバーの管理画面で「アクティブな登録」を選択し、右クリックメニューから「名前による検索」を選択します。

③「次で始まる名前を検索」欄へプリンターのマシン名（ネットワーク設定変数machine_nameの設定文字列）の先頭から2～3文字を入力して［検索開始］をクリックします。

④ 検索が終了すると検索結果が表示されますので、「レコード名」欄と「IPアドレス」欄を確認してください。 確認した内容は後でクライアントコンピューターの設定に使用しますので、メモなどへ転記しておいてください。「レコード名」欄には本プリンターのマシン名（ネットワーク設定変数machine_nameの設定文字列）が表示されます。 先ほど設定したプリンターのマシン名と同一であるか確認してください。

2.4.6. クライアントコンピューターの設定

ここでは、これまでの「WINSを使用する際の設定手順」が正しく行われ、本プリンターが使用可能状態になっているものとして、クライアントコンピューターの設定を行います。

以下の説明例では Windows 2000 を例としていますが、異なる場合は必要に応じて操作を行ってください。

① WINS使用の確認。

a) Windows 2000 Server へユーザーグループ「Administrator」に属するユーザー名でログインします。

b) 「スタート」メニューの「設定」から「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択し、ネットワークとダイヤルアップ接続フォルダーを開きます。

c) 「ローカルエリア接続」をダブルクリックして「ローカル エリア接続 状態」画面を表示させ、「プロパティ」をクリックして「ローカル エリア接続のプロパティ」を表示させます。

d) 「コンポーネントの一覧」リストから「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択して「プロパティ」をクリックし、「TCP/IP 詳細設定」画面を表示させます。

e) 「WINS」タブをクリックします。

f) 「WINS アドレス」欄に、プリンターへ設定したWINSサーバーのIPアドレス、またはDHCPサーバーに設定してあるWINSサーバーのIPアドレスが含まれていることを確認してください。

② プリンター電源の再投入。

WINSに関するこれまでの設定で、プリンターの電源投入後に各サーバー（DHCP/BOOTP/RPAR/WINS）の設定変更を行った場合、あるいはプリンターのネットワーク設定の変更を行った場合で、設定変更後にプリンターの電源再投入（「切」→「入」）を行っていない場合はここでプリンターの電源の再投入を行います。 そしてプリンターが正常に起動されるまで、しばらくお待ちください。

③ プリンターポートの追加。

プリンターポートの追加方法は、基本的に既に説明した方法と同じです。 異なる点は、WINSを使用している環境の場合「ポートを追加」する際にIPアドレスではなくNetBIOS名としてプリンターのマシン名（ネットワーク設定変数machine_nameの設定文字列）を使用してポートを定義することができる、点です。 特に、DHCPサーバーにてリースを行うIPアドレスの「予約」を行わなかった場合、プリンターの電源を投入するした際にプリンターへ割り当てられるIPアドレスが異なる場合がありますので、プリンターポートをNetBIOS名で定義してWINSサーバーにて名前解決（本プリンターの名前（ネットワーク設定変数machine_name設定文字列）から本プリンターのIPアドレス(固定IPアドレスの場合はIP_Address設定値、DHCP / BOOTP / RARP の場合はそれぞれのサーバーから割り当てられた（リースされる）IPアドレスへのマッピング登録と解決）を行わないと、快適な印刷ができなくなります。

ここでは、WINSを使用してクライアントコンピューターで印刷する際の設定手順を説明します。

なお、説明は Windows 2000 環境で「Standard TCP/IP Port」を使用してTCP/IPネットワーク印刷をおこなう手順に関して行いますが、以外

の環境においてもポート名（またはプリンター名）をIPアドレスではなくNetBIOS名としてプリンターのマシン名を使用して定義することにより設定が行えます。

a) Windows 2000 Server へユーザーグループ「Administrator」に属するユーザー名でログインします。

b) 「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を選択し、プリンターフォルダーを開きます。

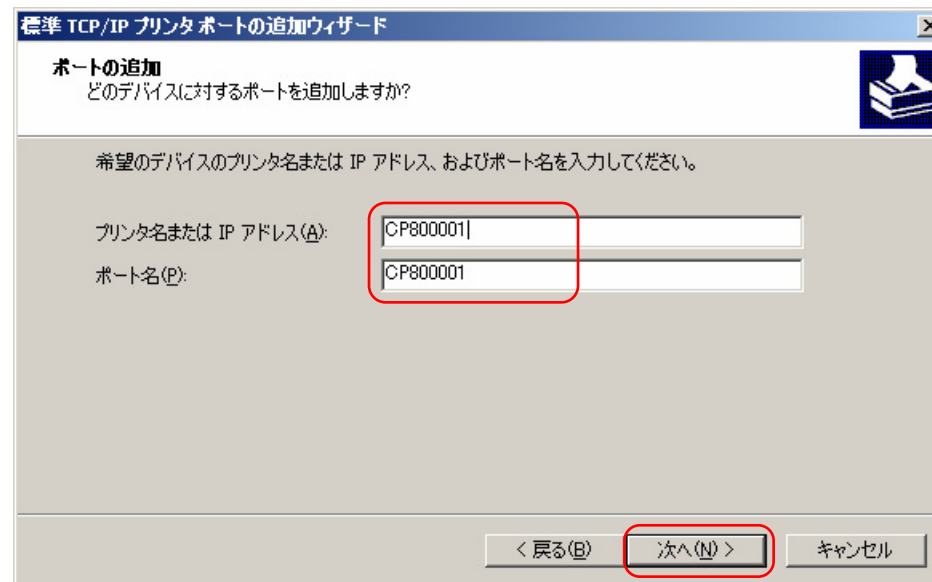
c) TCP/IPネットワーク印刷を行いたいプリンターのプロパティを開きます。

d) プリンタープロパティの「ポート」タブをクリックしてポートタブを開きます。

e) ［ポートの追加］ボタンをクリックし、ポートの追加を開始します。

f) 「プリンタポート」画面が表示されますので、「利用可能なポートの種類」から「Standard TCP/IP Port」を選択し、［新しいポート］ボタンをクリックします。

g) 「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」が起動されますので、［次へ］ボタンをクリックします。

h) 「ポートの追加」画面が表示されますので、「プリンタ名またはIPアドレス」へNetBIOS名としてプリンターのマシン名を入力し、［次へ］ボタンをクリックします。 マシン名を入力すると「ポート名」は自動的に表示されますのでそのままお使いください。

i) 「ポートの情報がさらに必要です。」画面が表示されますので、「デバイスの種類」で「カスタム」を選択した後、［設定］ボタンをクリックします。

j)「標準 TCP/IP ポートモニタの構成」画面が表示されますので、以下の設定を行ってください。

ア）「LPR」を使用する場合

●SNMP設定「SNMPを有効にする」の選択。
●プロトコル「LPR」の選択。
●LPR設定「キュー名」へ「lp0」の設定。
●LPR設定「バイトカウントを有効にする」の選択。
※なお、本プリンターは、「バイトカウントを有効にする」を
選択しなくても正常に動作します。

イ）「Rawプロトコル（Port 9100）」を使用する場合

●SNMP設定「SNMPを有効にする」の選択。
●プロトコル「Raw」の選択。
●ポート番号「9100」の確認。

すべての設定が終了したら［OK］ボタンをクリックして「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」を閉じます

※「LPRバイトカウントを有効にする」とは？

・LPRを規定している「RFC1179」では、送信するデータファイル（印刷データを指します）の容量と名前を定義したジョブサブコマンドを送信し、その肯定応答を受け取った後にデータファイルを送信することになっています。

・通常印刷データの容量は、印刷データの生成処理が終了するまで確定しませんので、この規定を満たすためには生成する印刷データをすべてファイルとしてハードディスク等に書き出す必要があります。

・これにはハードディスク等に充分な空き容量必要ですが、非常に大量の印刷を行った場合、空き容量が不足して印刷できない事態が発生することになります。

・LPRをサポートする多くの機器では、印刷データをハードディスク等に一旦すべて書き出すことなく（送信するデータファイルの容量が確定する前に）印刷データの送信を開始するために「RFC1179」に規定されていない処理を追加しています。

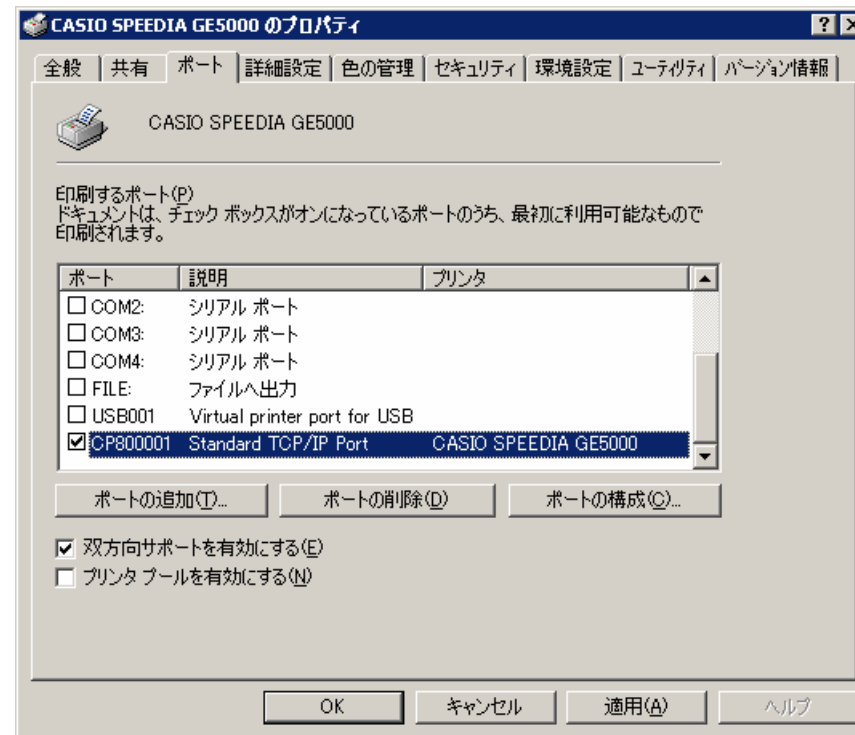
・Windows 7/Vista/XP/2000/Server 2008/Server 2003 では、「LPRバイトカウントを有効にする」のチェックボックスのオン／オフで、
　オン：『「RFC1179」の規定に沿って印刷データを送信するが、ハードディスク等に充分な空き容量が必要で、もし容量不足になった場合は印刷が行えない』処理。
　オフ：『「RFC1179」の規定からは一部外れて印刷データを送信するが、ハードディスク等の空き容量はある程度あれば良く、かつ容量不足になって印刷が行えない事態にはならない』処理。
の切り替えを行っています。

※Rawプロトコル(Port 9100)は、データファイル（印刷データ）を送信する機能だけで容量を送信する規定はありませんので、LPRにて「LPRバイトカウントを有効にする」のチェックボックスをオフにした場合と似たような処理となります。

k) 「ポートの情報がさらに必要です。」画面に戻りますので、［次へ］ボタンをクリックします。

l) 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されますので、［完了］ボタンをクリックします。

m)「プリンタポート」画面へ戻りますので、［閉じる］ボタンをクリックします。

n) プリンタープロパティ画面へ戻りますので、設定したポートが登録され選択されている（チェックボックスがオンになっている）ことを確認してください。

o) ［適用］ボタン、［OK］ボタンをクリックして終了します。

以上で、WINSを使用してプリンターの名前解決を行い、プリンターに設定されているIPアドレスの変更を意識することなく運用できる環境の、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。

Windows 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

2.5. SPEEDIAマネージャーでのご利用について

★「SPEEDIAマネージャー」のご紹介★

付属のCD-ROMには、Windows 2000 / XP / Vista / 7 日本語版 ／ Windows Server 2003 / 2008 日本語版 環境にて印刷を快適に行うことができる「SPEEDIAマネージャー」を収納しております。

「SPEEDIAマネージャー」は、ローカル接続あるいはネットワークに接続されたプリンターの状態監視を行う「ステータスモニター」の一括管理やプリンターフォルダーの管理をするためのツールです。

「ステータスモニター」を起動して、プリンターの状態、オペレータコールの通知や用紙サイズ等をパソコン画面上に表示することができます。

「SPEEDIAマネージャー」は プリンタードライバーのセットアップウィザードを使用しセットアップタイプ「標準」でプリンターのセットアップを行いますとインストールされます。 ご利用方法の詳細は「**SPEEDIAマネージャーマニュアル**」をお読みください。

2.6. TELNETによる設定

TELNETを使用しますと、IP環境において本プリンターのネットワーク関連設定変数設定を行うことができます。 設定可能項目はIP環境にて使用する項目に限定されているわけではありません。 NetWare環境にて使用する設定項目に関してもTELNETコマンドを用いて設定することが可能です。各設定は管理者でなければ出来ません。

TELNETコマンドの詳細については、「4.1.1. TELNETによる設定」を参照してください。

また、設定可能項目については、「5.2. ネットワーク設定一覧」も参照してください。

変数グループ	設定項目	設定内容または推奨値など	デフォルト
common	**machine_name**	本プリンターのマシン名（SNMP、NetWare、WINSにて使用）。 デフォルト値での使用を推奨。	**CPxxxxxx**
	contact	本プリンターのシステム管理者の連絡先を表すメモを設定してください。	未設定
	location	本プリンターのプリンターの設置場所を表すメモを設定してください。 ※プリンタードライバーのセットアップウィザードを使用してプリンターの追加を行いますと、プリンタープロパティの「場所」欄へ設定内容が反映されます。	未設定
	comment	コメント ※プリンタードライバーのセットアップウィザードを使用してプリンターの追加を行いますと、プリンタープロパティの「コメント」欄へ設定内容が反映されます。	未設定
	link_mode	通信速度決定方法の設定。「**auto**」「**100m/full**」「**100m/half**」「**10m/full**」「**10m/half** 」より選択 ※1 ・現在TELNETで正常に通信が行えていますので、このままお使いになることを推奨します。	**auto**
tcpip	**ip_config**	IPアドレス決定方法。「**memory**」「**rarp**」「**bootp**」「**dhcp**」より選択 ※1	**dhcp**
	ip_address	IPアドレス設定値。（**ip_config**が「**memory**」の時に有効） ※1	0.0.0.0
	netmask	サブネットマスク ※1 ※2 ※3	0.0.0.0
	gateway	ゲートウェイアドレス ※1 ※2	0.0.0.0
	ftp_passwd	passwordを要求するFTPクライアントの場合に設定	**off**
	tcp_keep_alive	TCP・キープ・アライブ・パケットの送信間隔。（0～79秒）	30
	tcp_idle_time	TCPにおける無操作（無処理）タイムアウト時間。（1～20分）	5
	wins_server1	**WINS**（Windows Internet Name System）サーバーのアドレスを設定。 DHCPサーバーより通知される場合は設定不要。	0.0.0.0
	wins_server2		0.0.0.0

変数グループ	設定項目	設定内容または推奨値など	デフォルト
	dns_server1	**DNS**（Domain Name System）サーバーのアドレスを設定。 DHCPサーバーより通知される場合は設定不要。	**0.0.0.0**
	dns_server2		**0.0.0.0**
	dns_server3		**0.0.0.0**
	dns_domain	お使いのプリンターの接続のDNSサフィックス	未設定
	ntp_mode	**NTP**（Network Time Protocol）の動作モードの設定。 （**enable**:使用する、**disable**:使用しない）	**enable**
	ntp_server1	NTPサーバーのアドレスを設定。 DHCPサーバーより通知される場合は設定不要。	未設定
	ntp_server2		未設定
	permit_ip1	TCP/IP印刷を許可するIPアドレスの範囲を設定。 ・どれか１つでも設定されると、指定された範囲内のIPアドレスが設定されているホストコンピューターからの印刷しか受け付けません。 ・すべての設定がデフォルトの場合、通信が可能なすべてのホストコンピューターからの印刷を受け付けます。 ・xxx.xxx.xxx.xxx – xxx.xxx.xxx.xxx（IPアドレス（form）－IPアドレス（to）、かつ from ≦ to）となるように設定してください。 指定IPアドレスの有効性や 実在する／しない は問いません。	**0.0.0.0** **-0.0.0.0**
	permit_ip2		**0.0.0.0** **-0.0.0.0**
	permit_ip3		**0.0.0.0** **-0.0.0.0**
	permit_ip4		**0.0.0.0** **-0.0.0.0**
snmp	**snmp_mode**	SNMPの動作モードを設定。（**enable**:使用する、**disable**:使用しない）	**enable**
	snmp_name	SNMPのコミュニティ名を設定	**public**
	snmp_host	Trapパケットを送信するホストのIPアドレスを設定。	**0.0.0.0**
nw_param	**nw_mode**	リモートプリンターモードでは「**rprinter**」、プリントサーバーモードでは「**pserver**」、未使用は「**disable**」を設定。	**rprinter**
	nw_packet	AUTO、IEEE802.2、IEEE802.3、ETHERNETⅡ のどれかを選択 入力はそれぞれ「**auto**」「**ieee802_2**」「**ieee802_3**」「**ethernet_ii**」としてください。	**auto**
	nw_spx_abort	SPX監視停止タイムアウト時間。（**30** ～ **300** 秒）	**30**
	nw_spx_listen	SPX監視検査タイムアウト時間。（**1** ～ **180** 秒）	**6**
	nw_spx_verify	SPX確認待機タイムアウト時間。（**1** ～ **15** 秒）	**3**
	pserver	リモートプリンターモードでは、必ずプリントサーバー名を入力。	未設定
	timeout	リモートプリンターモードで印刷終了後、他プロトコルによる印刷を開始するまでのタイムアウト時間。（この間にリモートプリンターモードの印刷が投入されると優先して印刷します。）（**1**～ **255** 秒）	**10**

変数グループ	設定項目	設定内容または推奨値など	デフォルト
	fserver1	プリントサーバーモードではファイルサーバーは最大４台まで設定が可能です。（**fserver1**～**fserver4** のうち必ず１つ以上にファイルサーバー名を入力してください。）なお、同じファイルサーバー名を入力しないでください。	未設定
	fserver2		未設定
	fserver3		未設定
	fserver4		未設定
	polltime	プリントサーバーモードにて、印刷キューへ印刷データの有無を問い合わせる間隔。（1～ 255 秒）	15
	nw_passwd	プリントサーバーモードで、本プリンターがプリントサーバーとしてファイルサーバーへログインする際に使用するパスワード。	未設定
	nw_ncp_timeout	NCPタイムアウト監視時間。（1 ～ 255 秒）	3
	nw_ncp_retry	NCPパケット再送信回数。（1 ～ 255 回）	20

※1）操作パネルでも設定可能です。 後から設定した値が保存されます。
※2）ip_configが「dhcp」の場合、DHCPサーバーより通知される設定を使用します。
※3）本設定が「0.0.0.0」の場合、決定したIPアドレスから自動生成したサブネットマスク値を使用します。

2.7. Webブラウザーによる設定

Webブラウザーを使用しますと、IP環境において本プリンターのネットワーク関連の設定変数設定を行うことができます。 設定可能項目はIP環境にて使用する項目に限定されているわけではありません。NetWare環境にて使用する設定項目に関してもWebブラウザーを用いて設定することが可能です。 また、本プリンターの印刷関連設定、セキュリティ関連設定、その他などの設定を行うことができます。

各設定は管理者でなければ出来ません。

Webブラウザーによる設定の詳細については、『**ユーザーズマニュアル（Web設定編）**』を参照してください。

2.7.1. Webブラウザーによる設定項目の概要

本プリンターはHTTPサーバー機能をサポートしており、ホストコンピューターのWebブラウザーを使用してプリンターの設定変更を行うことができます。

Webブラウザーによる設定では、以下のプリンター設定項目の設定変更をサポートしています。

① インターフェース設定

② プリンター管理・調整設定

③ 用紙設定

④ 印刷設定

⑤ 機器設定

⑥ エミュレーション設定

⑦ エコモード設定

⑧ 権限設定

３. NetWare環境でのソフトウェア設定

3.1. サポートモードについて

NetWare環境においてネットワークプリンターとしてご使用になる場合、本プリンターはリモートプリンターモードと、プリントサーバーモードの２つのモードから選択することができます。

以下にそれぞれのモードの機能概要を示します。

【表　３.１．－１．NetWare環境でのサポートモードと機能概要】

モード名	機　能　概　要
リモートプリンターモード	NetWareのファイルサーバーコンピューター、もしくは専用のプリントサーバーコンピューター上で動作するプリントサーバー（PSERVER）を介して運用されるモードです。 NetWareのリモートプリンター機能をエミュレートしています。 本プリンターはリモートプリンターとしてNetWareプリントサーバーへ接続することにより印字が行えます。 リモートプリンターモードは NetWare 4.x に準拠します。
プリントサーバーモード	プリンター本体内（性格にはLANインターフェース上）でプリントサーバー（PSERVER）を動作させ運用するモードです。 NetWareのプリントサーバー機能をエミュレートしています。本プリンターはプリントサーバーとしてNetWareファイルサーバーへ接続することにより印字が行えます。 プリントサーバーモードは NetWare 4.x 以降では、バインダリエミュレーションモードでのサポートとなります。

どちらのモードでもNetWareユーティリティ「PCONSOLE.EXE」（または相当のユーティリティ）による設定は不可避であり、しかもそれぞれの設定内容は異なりますので、両モードを混同しないように注意してください。

３.１.１. NetWare環境における印刷設定概要

本プリンターは NetWare環境における印刷機能として、リモートプリンターおよびプリントサーバーのエミュレートを行うリモートプリンターモードおよびプリントサーバーモードをサポートしています。

なお、NetWare環境における印刷機能では、本プリンターは印刷データの変換・生成機能（例：プリンタードライバー機能、フィルター機能）は使用できませんのでご注意ください。

① リモートプリンターモードの設定概要

NetWareのバージョンにより使用するNetWareユーティリティやサーバー設定項目の名称が異なりますので、ご注意ください。

◆ NetWare 4.xJ ： NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用し、「クイックセットアップ」を行う場合。

i) NetWareのクライアントコンピューターにてPCONSOLE.EXEを起動します。

ii) ディレクトリーコンテキストを変更します。

iii) 「クイックセットアップ」により、「新しいプリンタ」「新しいプリントキュー」を追加します。

※「新しいプリンタ名」には「本プリンターのマシン名」（設定変数machine_name設定文字列）に「-0」を付加した文字列を設定します。

iv) ファイルサーバーのコンソールにて、プリントサーバー（PSERVER）のリロードを行います。

v) プリンターのネットワーク設定を行います。

・「NetWareモード」（設定変数nw_mode）へ「rprinter」を設定します。

・「プリントサーバ名」（設定変数pserver）へ接続するNetWareプリントサーバー名を設定します。

・プリンターの電源を再投入します。

◆ NetWare 4.xJ ： NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用し、「通常のセットアップ」を行う場合。

i) NetWareのクライアントコンピューターにてPCONSOLE.EXEを起動します。

ii) ディレクトリーコンテキストを変更します。

iii) 「プリントキュー」を選択し「新しいプリントキュー」を追加します。

iv) 「プリントサーバ」を選択します。プリントサーバーが未設定の場合は、新規に作成を行ってください。

v) 「プリンタ」を選択し「新しいプリンタ」を追加します。

※プリンター名には「本プリンターのマシン名」（設定変数machine_name設定文字列） に「-0」を付加した文字列を設定します。

vi) ファイルサーバーのコンソールにて、プリントサーバー（PSERVER）のリロードを行います。

vii) プリンターのネットワーク設定を行います。

・「NetWareモード」（設定変数nw_mode）へ「rprinter」を設定します。
・「プリントサーバー名」（設定変数pserver）へ接続するNetWareプリントサーバー名を設定します。
・プリンターの電源を再投入します。

◆ NetWare 5.xJ ： NetWareユーティリティは「NetWareアドミニストレータ」を使用し、「クイックセットアップ」を行う場合。

i) NetWareのクライアントコンピューターにて「NetWareアドミニストレータ」（NWADMIN32.EXE）を起動します。

ii) コンテナオブジェクトを展開し、ファイルサーバー／プリントサーバーのディレクトリーコンテキストを表示させせます。

iii) プリントキューを作成するファイルサーバーを選択し「ツール」メニューから「プリントサービスクイックセットアップ」を選択してウィンドウを開きます。

iv) 「プリントサーバ名」欄で本プリンターが接続するプリントサーバーを選択します。 プリントサーバーが未設定の場合は、新規に作成を行ってください。

v) 「プリンタ」の「名前」欄へ本プリンターのマシン名（設定変数machine_name設定文字列）に「-0」を付加した文字列を設定します。

vi) 「プリントキュー」の各欄を設定します。

※既存の運用環境を保存するため、新規のプリントキュー名を設定することをお勧めします。

vii) 各設定内容を確認し、［作成］ボタンをクリックして「プリントサービスクイックセットアップ」を終了します。

viii) ファイルサーバーのコンソールにて、プリントサーバー（PSERVER）のリロードを行います。

ix) プリンターのネットワーク設定を行います。

・「NetWareモード」（設定変数nw_mode）へ「rprinter」を設定します。
・「プリントサーバー名」（設定変数pserver）へ接続するNetWareプリントサーバー名を設定します。
・プリンターの電源を再投入します。

② プリントサーバーモードの設定概要

NetWareのバージョンにより使用するNetWareユーティリティやサーバー設定項目の名称が異なりますので、ご注意ください。

なお、NetWare 4.1J 以降では、バインダリエミュレーションモードでのサポートとなります。

◆ NetWare 4.xJ ： NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用し、「クイックセットアップ」を行う場合。

i) ファイルサーバーのコンソールにて、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

- SYSTEMコンソールにて「set allow unencrypted passwords = on」と入力します。
- 「インストール」ユーティリティ（INSTALL.NLM：「load install」と入力して起動）または「インターネットワーキング環境設定」ユーティリティ(INETCFG.NLM：「load inetcfg」と入力して起動)にて「autoexec.ncfファイルの編集」を選択し、「autoexec.ncf」ファイルへ「set allow unencrypted passwords = on」行を追加します。

ii) NetWareのクライアントコンピューターよりPCONSOLE.EXEを起動します。

iii) ［F4］キーを押下して「バインダリモードへ切替え」を行います。

iv) 「クイックセットアップ」により、「新しいプリントサーバ」「新しいプリンタ」「新しいプリントキュー」を追加します。

- プリントサーバ名には「本プリンターのマシン名」（設定変数machine_name設定文字列）を設定します。
- プリンタ名には「本プリンターのマシン名」（設定変数machine_name設定文字列）に「-0」を付加した文字列を設定します。
- 既存の運用環境を保存するため、「新しいプリントキュー名」には新規のプリントキュー名を設定することをお勧めします。

v) プリンターのネットワーク設定を行います。

- 「NetWareモード」（設定変数nw_mode）へ「pserver」を設定します。
- 「ファイルサーバー名」（設定変数fserver1～fserver4のいずれか）へ接続するNetWareファイルサーバー名を設定します。
- プリンターの電源を再投入します。

◆ NetWare 4.xJ ： NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用し、「通常のセットアップ」を行う場合。

i) ファイルサーバのコンソールにて、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

- SYSTEMコンソールにて「set allow unencrypted passwords = on」と入力します。
- 「インストール」ユーティリティ（INSTALL.NLM：「load install」と入力して起動）または「インターネットワーキング環境設定」ユーティリティ（INETCFG.NLM：「load inetcfg」と入力して起動）にて「autoexec.ncfファイルの編集」を選択し、「autoexec.ncf」ファイルへ「set allow unencrypted passwords = on」行を追加します。

ii) NetWareのクライアントコンピューターよりPCONSOLE.EXEを起動します。

iii) ［F4］キーを押下して「バインダリモードへ切替え」を行います。

iv) 「プリントサーバ」を選択し、「新しいプリントサーバ」を追加します。

- プリントサーバ名には「本プリンターのマシン名」（設定変数machine_name設定文字列）を設定します。

v) 追加したプリントサーバーを選択し、「プリントサーバ情報」にて「プリンタ」を選択して「定義済プリンタ」へ「プリンタ」を追加します。

※プリンター名には「本プリンターのマシン名」（設定変数machine_name設定文字列）に「-0」を付加した文字列を設定します。

vi) 追加したプリンターを選択し、「プリンタの環境設定」にて「プリントキュー割り当て」を選択して「新しいプリントキュー」を追加します。

※既存の運用環境を保存するため、新しいプリントキュー名には新規のプリントキュー名を設定することをお勧めします。

vi) プリンターのネットワーク設定を行います。

- 「NetWareモード」（設定変数nw_mode）へ「pserver」を設定します。
- 「ファイルサーバー名」（設定変数fserver1～fserver4のいずれか）へ接続するNetWareファイルサーバー名を設定します。
- プリンターの電源を再投入します。

◆ NetWare 5.xJ ： NetWareユーティリティは「NetWareアドミニストレータ」を使用し、「クイックセットアップ」を行う場合。

i) ファイルサーバのコンソールにて、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

- SYSTEMコンソールにて「set allow unencrypted passwords = on」と入力します。
- 「NetWare環境設定」ユーティリティ（NWCONFIG.NLM：「load nwconfig」と入力して起動）にて「サーバスタートアップファイルの作成／編集」を選択し、「autoexec.ncf」ファイルへ「set allow unencrypted passwords = on」行を追加します。

ii) 「NetWareアドミニストレータ」（NWADMIN32.EXE）を起動します。

iii) コンテナオブジェクトを展開し、ファイルサーバーのディレクトリーコンテキストを表示させます。

iv) プリントサーバーを作成するコンテナオブジェクトを選択し「ツール」メニューから「プリントサービスクイックセットアップ」を選択してウィンドウを開きます。

v) 「プリントサーバ名」欄へ本プリンターのマシン名（設定変数machine_name設定文字列）を入力します。

vi) 「プリンタ」の「名前」欄へ本プリンターのマシン名（設定変数machine_name設定文字列）に「-0」を付加した文字列を設定します。

vii) 「プリントキュー」の各欄を設定します。

※既存の運用環境を保存するため、新規のプリントキュー名を設定することをお勧めします。

viii) 各設定内容を確認し、［作成］ボタンをクリックして「プリントサービスクイックセットアップ」を終了します。

ix) プリンターのネットワーク設定を行います。

- 「NetWareモード」（設定変数nw_mode）へ「pserver」を設定します。
- 「ファイルサーバー名」（設定変数fserver1～fserver4のいずれか）へ接続するNetWareファイルサーバー名を設定します。
- プリンターの電源を再投入します。

3.2. リモートプリンターモードの設定

リモートプリンターモードの設定を行うには、NetWareサーバーにインストールされているユーティリティを使用します。

NetWare 4.xJ 以前のバージョンでは「**PCONSOLE.EXE**」を使用し、NetWare 5 以降のバージョンでは「**NetWare**アドミニストレータ」を使用します。

3.2.1. NetWare 4.xJ のリモートプリンターモード設定

① **PCONSOLE**を実行します。

※PCONSOLE.EXEは、通常「SYS:¥PUBLIC」に格納されています。

② ディレクトリーコンテキストを変更します。

※プリントサーバー、プリンター、プリントキューはディレクトリーツリー内に作成されますので、必要に応じてコンテキストを変更します。

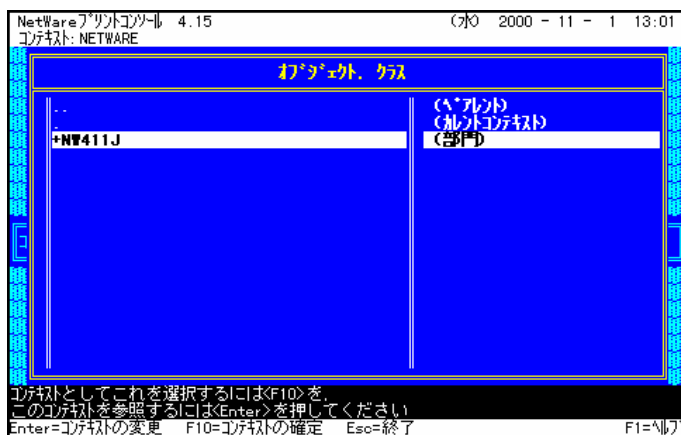
（例）コンテキストを「**NETWARE**」から「**FSERVER1.NW411J.NETWARE**」へ変更する場合。

1) 「利用可能な項目」メニューから「コンテキストの変更」を選択します。

［Enter］キーを押下

2) コンテキストを入力するか［Insert］キーを押下した後、表示される選択画面に従ってコンテキストを確定します。

NetWareﾌﾟﾘﾝﾄｺﾝｿｰﾙ 4.15
ｺﾝﾃｷｽﾄ: NETWARE
(水) 2000 - 11 - 1 13:01
利用可能な項目
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
ｺﾝﾃｷｽﾄを入力してください:_
ｺﾝﾃｷｽﾄを入力するか, <Insert>を押してｺﾝﾃｷｽﾄを参照してください
Enter=ｺﾝﾃｷｽﾄの変更 Esc=終了 Ins=ｵﾌﾞｼﾞｪｸﾄの参照 F1=ﾍﾙﾌﾟ

［Insert］キーを押下

コンテキスト名直接入力

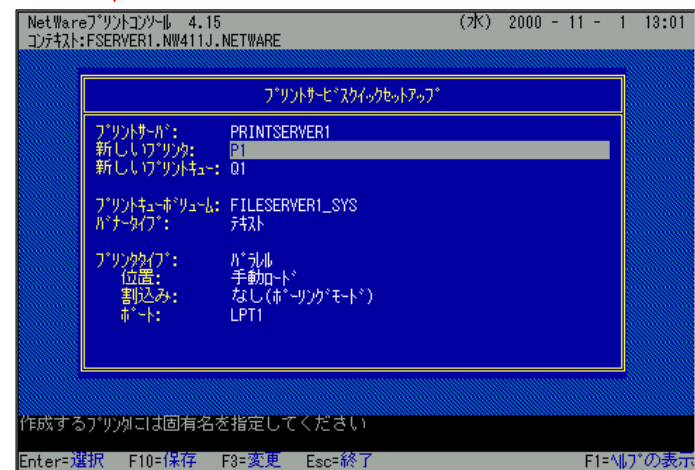
［Enter］キーを押下して確定

部門を選択して［Enter］キーを押下
［Enter］キーを押下して確定
NetWareﾌﾟﾘﾝﾄｺﾝｿｰﾙ 4.15
ｺﾝﾃｷｽﾄ: FSERVER1.NW411J.NETWARE
ｵﾌﾞｼﾞｪｸﾄ、ｸﾗｽ
(ﾍﾟｱﾚﾝﾄ)
(ｶﾚﾝﾄｺﾝﾃｷｽﾄ)
新しいｺﾝﾃｷｽﾄとして現在のｺﾝﾃｷｽﾄを選択するには<F10>を押してください
Enter=ｺﾝﾃｷｽﾄの変更 F10=ｺﾝﾃｷｽﾄの確定 Esc=終了 F1=ﾍﾙﾌﾟ
［F10］キーを押下して確定
利用可能な項目
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
ｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｺﾝﾃｷｽﾄの変更
ｶﾚﾝﾄﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｻｰﾋﾞｽのｺﾝﾃｷｽﾄを表示または変更するには、<Enter>を押します
Enter=選択 F4=ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘﾓｰﾄﾞへ切替え Esc=終了 F1=ﾍﾙﾌﾟの表示

③ クイックセットアップによる設定

1) 「利用可能な項目」メニューから、「クイックセットアップ」を選択します。

［Enter］キーを押下

2) 「プリントサーバ」名を確認した後、「新しいプリンタ」欄へカーソルを移動します。

プリンター名の入力開始

3) 「新しいプリンタ」名の入力を開始します。

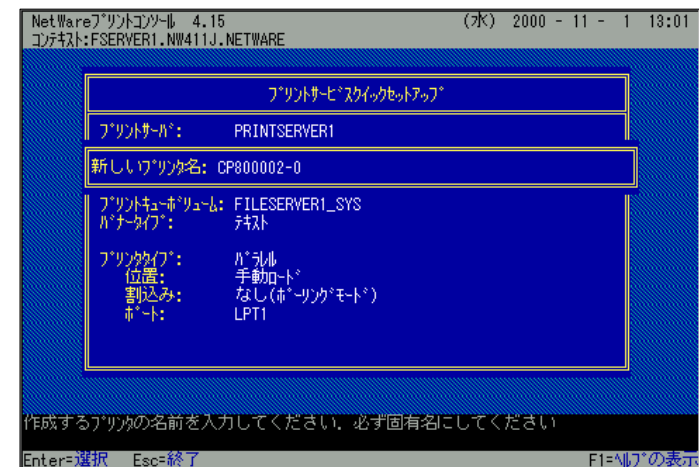
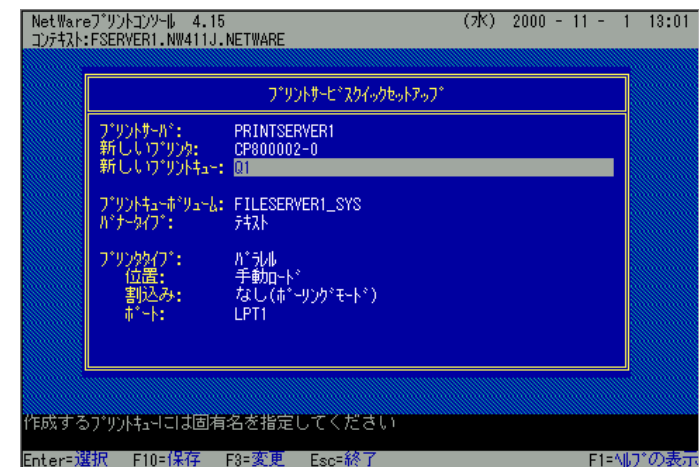
入力ボックスはプリンター名の入力を開始すると自動的に表示されます。
入力終了後、［Enter］キーを押下して確定します。

※プリンター名は本プリンターのマシン名（設定変数machine_nameに設定されている文字列）に「-0」を付加した文字列を入力してください。

プリンターのマシン名は工場出荷時の状態（または、各種設定用メモリーの初期化時の状態）ではEthernetアドレスの下６桁に「CP」を付加した文字列となっています。

プリンター名入力後、［Enter］キーを押下

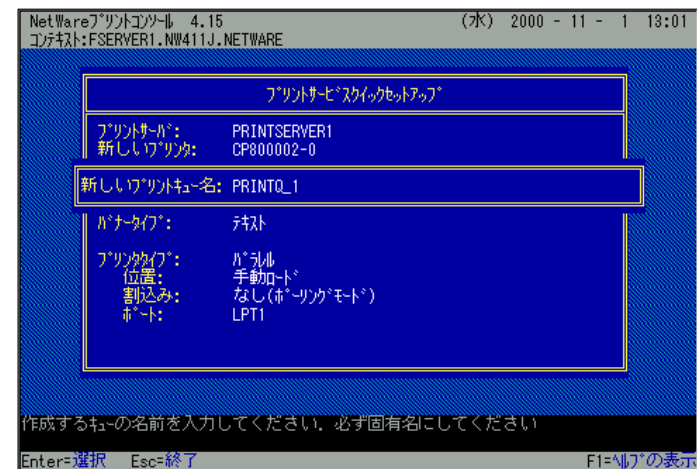
（例）プリンターのEthernetアドレスが「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態（デフォルト）のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、「新しいプリンタ名」には図のように「**CP800002-0**」と入力してください。

4) 「新しいプリントキュー」欄へカーソルを移動します。

プリントキュー名の入力開始

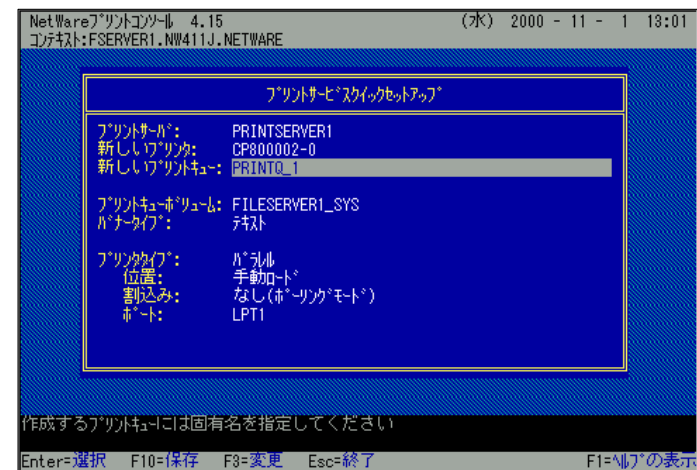
5) 続けて「**新しいプリントキュー**」名を入力します。

入力ボックスはプリントキュー名の入力を開始すると自動的に表示されます。

※プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規のプリントキュー名を作成します。

NetWareﾌﾟﾘﾝﾄｺﾝｿｰﾙ 4.15 (水) 2000 - 11 - 1 13:01
ｺﾝﾃｷｽﾄ:FSERVER1.NW411J.NETWARE
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾋﾞｽｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ: PRINTSERVER1
新しいﾌﾟﾘﾝﾀ: CP800002-0
新しいﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ名: PRINTQ_1
ﾊﾞﾅｰﾀｲﾌﾟ: ﾃｷｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾀﾀｲﾌﾟ: ﾊﾟﾗﾚﾙ
位置: 手動ﾛｰﾄﾞ
割込み: なし(ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞﾓｰﾄﾞ)
ﾎﾟｰﾄ: LPT1
作成するｷｭｰの名前を入力してください. 必ず固有名にしてください
Enter=選択 Esc=終了 F1=ﾍﾙﾌﾟの表示

プリントキュー名入力後、［Enter］キーを押下

6) 必要に応じて「プリントキューボリューム」の設定を変更します。

その他の設定は、表示されたままにして、変更しないでください。

7) 各設定内容を確認後、［F10］キーを押下して設定を保存することによりクイックセットアップを終了します。

［F10］キーを押下、保存終了

8) 以上で、クイックセットアップによるプリンターの設定は終了です。

※リモートプリンターモードで運用を行うネットワークプリンター（プリンター）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順1)～7)を繰り返して行ってください。

［ESC］キーを押下、PCONSOLE終了

9) ［ESC］キーを押下して、PCONSOLEを終了します。

④ PSERVERのRELOAD

《注意》このオペレーションは、リモートプリンターモードで運用される場合においてのみ必要となるものです。 またこのオペレーションでは、一時的にではありますが、現在運用中のリモートプリンターが使用不能に陥る場合があります。オペレーションの実施に際しては事前にシステム管理者の了承を得てください。

ファイルサーバーのコンソール画面で、PSERVERをリロード（RELOAD）します。リロードというのは、既にPSERVERが実行されている場合には、一旦アンロード（UNLOAD）してから再度ロード（LOAD）するという内容を含みます。

ファイルサーバーのSYSTEMコンソールを使用する場合。

ファイルサーバー SYSTEMコンソール

```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   11:54:23 JST

OEM識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ
ｼﾘｱﾙ番号      接続数      ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ      ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ  有効期限
12345678      100         WEB/CONN       4.11     NONE

FILESERVER1:unload pserver
```

「**unload pserver**」入力後［Enter］キーを押下

ファイルサーバーのプリントサーバーコンソールを使用する場合。

※③で追加を行ったプリンターは、この段階ではまだ「**プリンタリスト**」に表示されていません。

［Escape］キーを押下

［Escape］キーを押下

「**Yes**」選択後［Enter］キーを押下してプリントサーバーをアンロードします。

ファイルサーバー SYSTEMコンソール

```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   11:54:23 JST

OEM識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ
ｼﾘｱﾙ番号      接続数      ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ     ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ  有効期限
12345678      100         WEB/CONN      4.11     NONE

FILESERVER1:unload pserver
              ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ PRINTSERVER1.FSERVER1.NW411J.NETWARE はｱﾝ
ﾛｰﾄﾞされました
FILESERVER1:load pserver PRINTSERVER1
```

「**load pserver PRINTSERVER1**」入力後［Enter］キーを押下

ファイルサーバー SYSTEMコンソール

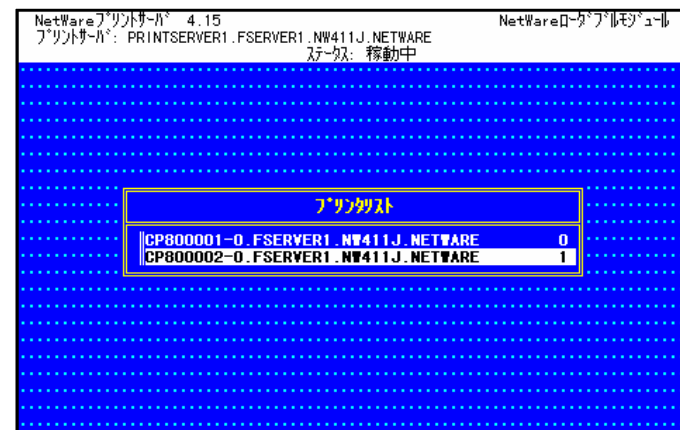
```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   11:54:23 JST

OEM識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ
ｼﾘｱﾙ番号      接続数      ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ     ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ  有効期限
12345678      100         WEB/CONN      4.11     NONE

FILESERVER1:
              ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ PRINTSERVER1.FSERVER1.NW411J.NETWARE はｱﾝ
ﾛｰﾄﾞされました
FILESERVER1:load pserver
```

「**load pserver**」入力後［Enter］キーを押下

NetWareﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ 4.15
NetWareﾛｰﾀﾞﾌﾞﾙﾓｼﾞｭｰﾙ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名の入力
FSERVER1.NW411J.NETWARE
［Enter］キーを押下
NetWareﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ 4.15
NetWareﾛｰﾀﾞﾌﾞﾙﾓｼﾞｭｰﾙ
ｶﾚﾝﾄｺﾝﾃｷｽﾄ
FSERVER1.NW411J.NETWARE
ｶﾚﾝﾄｺﾝﾃｷｽﾄ内容
PRINTSERVER1
ロードするプリントサーバーを選択して
［Enter］キーを押下

※「利用可能な項目」から「プリンタステータス」を選択し［Enter］キーを押下します。

［Enter］キーを押下して「プリンタリスト」を表示させます。

※③で追加を行ったプリンターが「プリンタリスト」に追加表示されていることで、プリンターの追加が正しく行えたことを確認します。

⑤ クイックセットアップを使用しない場合の設定方法。

1) プリントキューの追加を行います。

プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規にプリントキューを作成します。

i) 「利用可能な項目」メニューから「プリントキュー」を選択します。

［Enter］キーを押下して選択

ii) ［Insert］キーを押下し、プリントキューの追加を選択します。

［Insert］キーを押下後、追加するプリントキュー名を入力します。

iii)　追加するプリントキュー名を入力します。

［Enter］キーを押下して入力確定

iv)　プリントキューの作成先となるボリュームを指定します。

［Insert］キーを押下して、ボリューム名の表示を行います。

v)　プリントキューの作成先ボリュームを選択します。 作成先ボリュームには十分な空き容量のあるボリュームを指定してください。

ボリュームを選択後、［Enter］キーを押下し確定します。

vi)　プリントキューの追加は終了しました。

［Escape］キーを押下

vii) ［Escape］キーを押下し、「利用可能な項目」メニューへ戻ります。

※続けて、プリントサーバー情報を設定します。

2) プリントサーバーはディレクトリーツリー内に作成されていますので、プリントサーバーの作成されているコンテキストへ変更します。

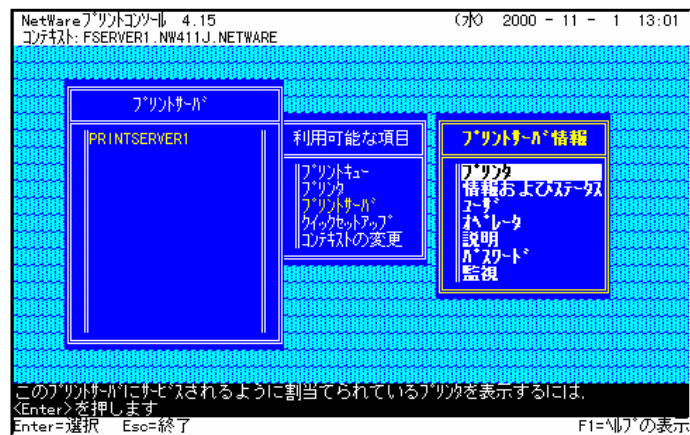
3) プリンターの追加を行います。

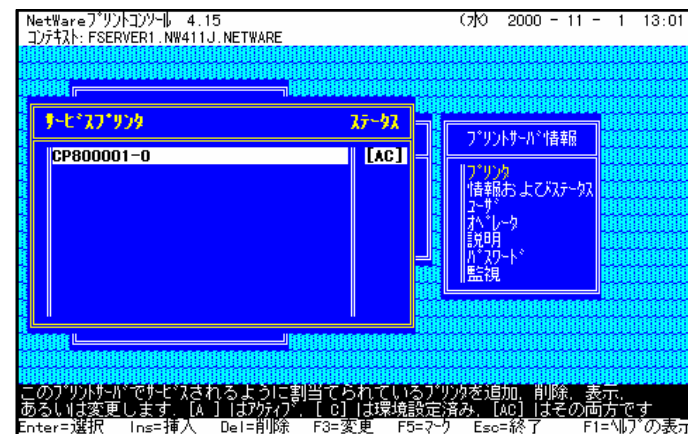
viii) 「利用可能な項目」メニューから、「プリントサーバ」を選択します

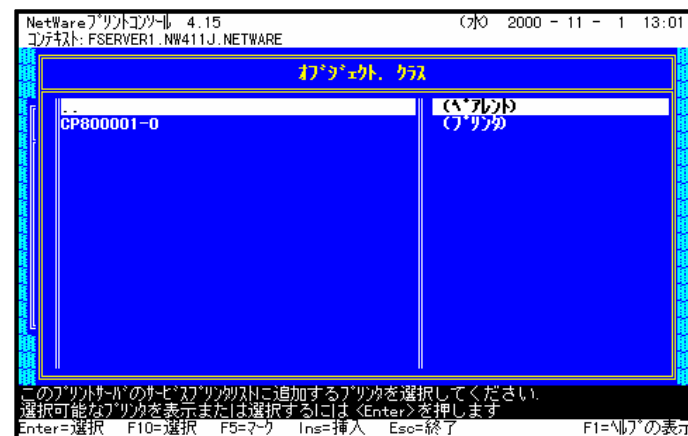
［Enter］キーを押下して選択

ix) プリントサーバーが、既に設定してあればそれを利用します。 なければ新規に作成を行ってください。

「プリントサーバ」を選択し［Enter］キーを押下

x) 「プリントサーバ情報」メニューから「プリンタ」を選択します。

［Enter］キーを押下

※既に設定されているプリンターの一覧が表示されます。

［Insert］キーを押下

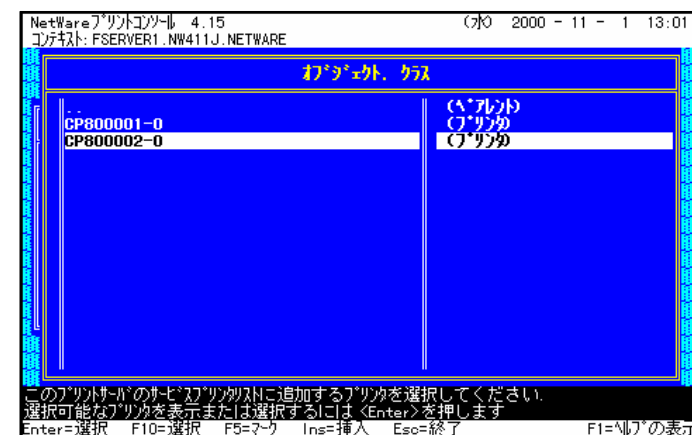
xi)　［Insert］キーを押下し、追加するプリンターの選択メニューを表示します。

さらに続けて［Insert］キーを押下

xii) さらに［Insert］キーを押下し、新しいプリンター名の入力を行います。

※プリンター名には本プリンターのマシン名（設定変数machine_nameに設定されている文字列）に「**-0**」を付加した文字列を入力してください。
プリンターのマシン名は工場出荷時の状態では**Ethernetアドレス**の下６桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

［Enter］キーを押下して入力確定

（例）プリンターのEhternetアドレスが「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態（デフォルト）のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、「新しいプリンタ名」には図のように「**CP800002-0**」と入力してください。

xiii) 追加したプリンターを選択します。

追加したプリンターを選択して［Enter］キーを押下

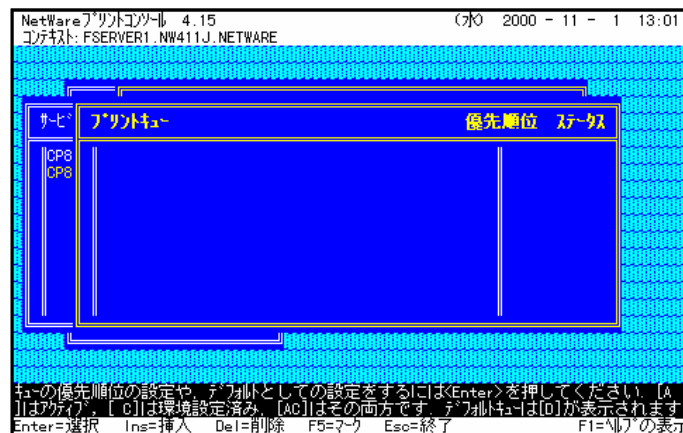
xiv) プリンターの追加は終わりました。 追加したプリンターを選択し、続けてプリンターの環境設定を行います。

追加したプリンターを選択して［Enter］キーを押下し、プリンターの環境設定を行う。

xv) ここではプリントキュー割り当てのみを行います。「プリントキュー割当て」を選択します。

注）「リンタタイプ」は「パラレル」に設定してください。「環境設定」は変更しないでください。 その他は必要に応じて設定してください。

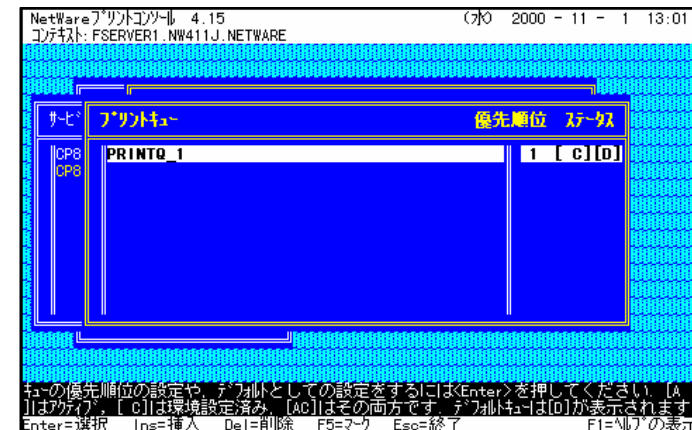
［Enter］キーを押下し、プリントキューの割当てを行います。

xvi) ［Insert］キーを押下し、追加したプリンターがサービスを行うプリントキューの追加を行います。

［Insert］キーを押下

xvii) プリントキュー一覧の中からii)～vi)で追加したプリントキューを選択して［Enter］キーを押下します。

※プリントキューを複数割当てることもできます。 また、異なるディレクトリーコンテキストに設定されているプリントキューを割当てることもできます。

プリントキューを選択し［Enter］キーを押下

※必要に応じてプリントキューの優先順位を設定します。 詳しくは、NetWareのマニュアル等をご参照ください。

［Escape］キーを複数回押下し、PCONSOLEの終了メニューを表示させます。

※リモートプリンターモードで運用を行うネットワークプリンター（プリンター）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順 i) ～ xvii) を繰り返して行ってください。

xviii) プリントサーバー情報の設定は終わりました。［Escape］キーを複数回押下して「**終了しますか?**」メニューを表示させ、「**YES**」を選択して［Enter］キーを押下し**PCONSOLE**を終了してください。

［Enter］キーを押下してPCONSOLEを終了します。

4) 追加したプリンターを有効にします。

xix) **PSERVERのRELOAD**

《注意》このオペレーションは、リモートプリンターモードで運用される場合においてのみ必要となるものです。 またこのオペレーションでは、一時的にではありますが、現在運用中のリモートプリンターが使用不能に陥る場合があります。 オペレーションの実施に際しては事前にシステム管理者の了承を得てください。

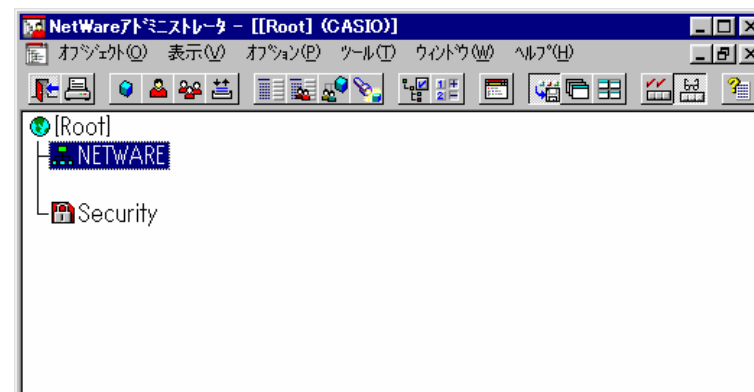
前述「**④PSERVERのRELOAD**」の手順に従い、ファイルサーバーのコンソール画面で、PSERVERをリロード（RELOAD）します。

リロード後、追加を行ったプリンターが「プリンタリスト」に追加表示されていることで、プリンターの追加が正しく行えたことを確認します。

以上の手順で**NetWare**サーバーへの設定は終了です。 引き続きプリンターのネットワーク設定を行ってください。 プリンターのネットワーク設定にて『「NetWareモード」（設定変数**nw_mode**）へ「**rprinter**」を設定、「プリントサーバー名」（設定変数**pserver**）へこれまで設定を行った**NetWare**プリントサーバー名を設定』した後、**プリンターの電源を再投入**します。 プリンター本体の電源を「切」→「入」してください。 しばらく待った後「プリンタリスト」で追加を行ったプリンター（本プリンターのマシン名（設定変数machine_nameに設定されている文字列）に「-0」を付加した名前）を選択し［Enter］キーを押下して表示されるプリンター動作状態表示の「カレントステータス」欄が「プリンタ未接続」から「プリントジョブ待機中」へ表示が変わることで確認できます。

⑥ 注意事項。

1) プリンターの印刷動作をより詳細に設定するために、NetWareには **PRINTDEF、PRINTCON、CAPTURE** 等のコマンドが用意されています。 内容については、NetWareのマニュアルをご参考ください。

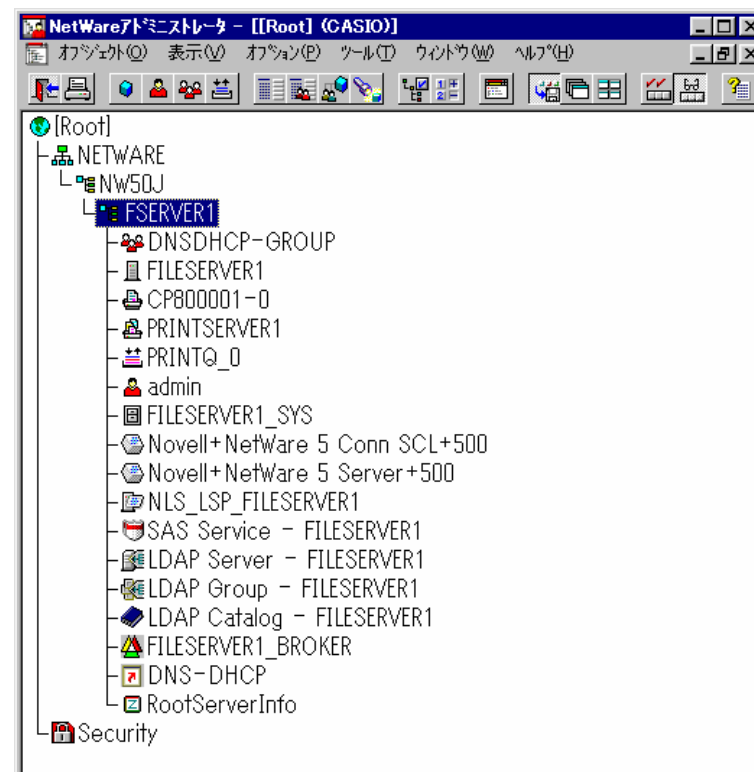
2) これまでの操作例は「**NetWare 4.11J**」の画面表示を元に説明しています。 「**NetWare 4.xJ**」は、ほとんど同じ操作でお使いいただ

けます。「**NetWare 5.xJ**」では使用するNetWareユーティリティが異なり、設定の手順も変更になっていますが、基本的な考え方は概ね同様です。「**NetWare 5.xJ**」のバージョンについては次ページ以降を参照してください。

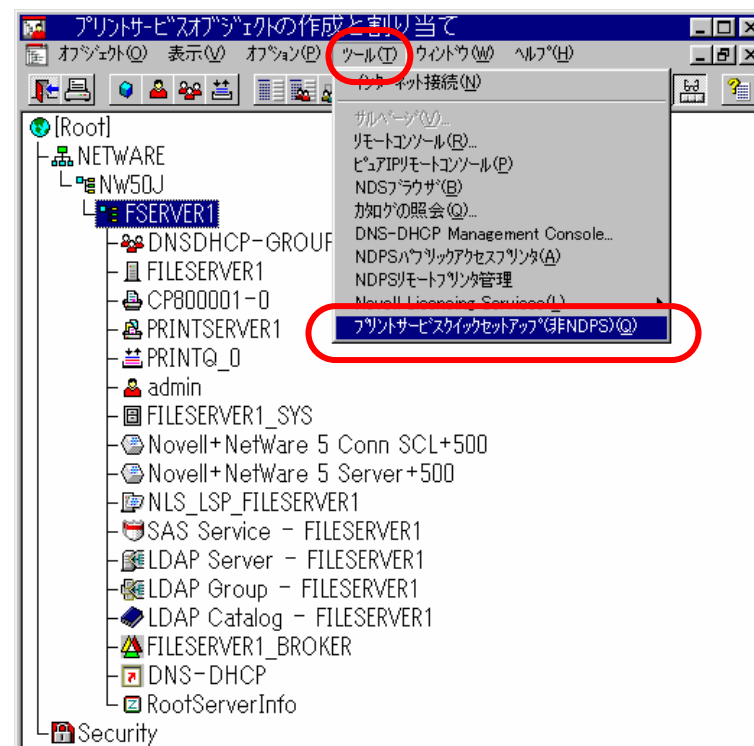
3) 詳しくはシステム管理者にお尋ねください。

3.2.2. NetWare 5.xJ のリモートプリンターモード設定

⑦ **NetWare**アドミニストレータを実行します。

1) 「**SYS:¥PUBLIC¥WIN32¥NWADMIN32.EXE**」を実行します。

2) コンテナオブジェクトを展開し、ファイルサーバー／プリントサーバーのコンテキストを表示させます。

⑧ クイックセットアップによる設定。

3) プリントキューを作成する**コンテナオブジェクト**を選択（シングルクリック）し、「**ツール**」メニューから「**プリントサービスクイックセットアップ（非NDPS）**」を選択してクイックセットアップを起動します。

4) プリントキューを作成する「**プリントサーバ名**」を確認します。 異なる場合は［ブラウズ］ボタンをクリックして、正しいプリントサーバーを選択します。

5) 「**プリンタ**」の「**名前**」を入力します。

※プリンター名は本プリンターのマシン名（設定変数machine_nameに設定されている文字列）に「**-0**」を付加した文字列を入力してください。 プリンターのマシン名は工場出荷時の状態（または、各種設定用メモリーの初期化時の状態）では**Ethernetアドレス**の下６桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

（例）プリンターのEthernetアドレス「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態（デフォルト９のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、「プリンタ」の「名前」には図のように「**CP800002-0**」と入力してください。

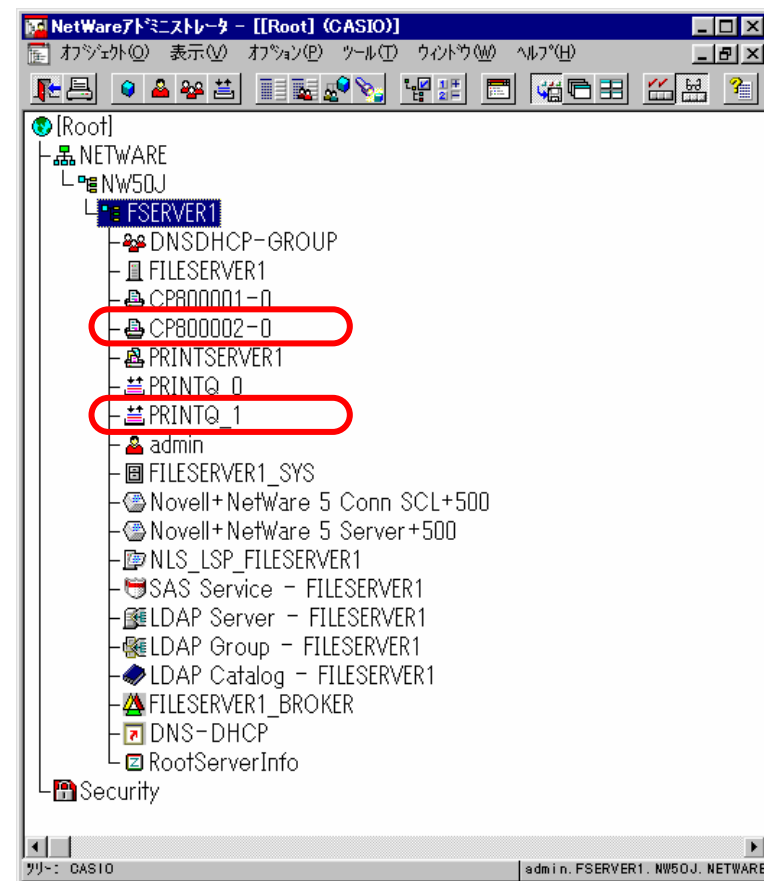
6) 「**プリントキュー**」の「**名前**」を入力します。

※プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規のプリントキュー名を作成します。

7) 必要に応じて「**プリントキュー**」の「**ボリューム**」の設定を変更します。

その他の設定は、変更しないでください。 各設定内容を確認後［作成］ボタンをクリックして設定を保存することにより、クイックセットアップを終了します。

8) 「**NetWare**アドミニストレータ」画面へ戻ります。

作成したプリンターオブジェクト、プリントキューオブジェクトが、ツリー上の正しい位置に表示されていることを確認してください。

9) 以上で、クイックセットアップによるプリンターの設定は終了です。

※リモートプリンターモードで運用を行うネットワークプリンター（プリンター）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順 3) ～ 8) を繰り返して行ってください。

10)追加したプリンターを有効にします。

PSERVERの**RELOAD**を行います。

《注意》このオペレーションは、リモートプリンターモードで運用される場合においてのみ必要となるものです。 またこのオペレーションでは、一時的にではありますが、現在運用中のリモートプリンターが使用不能に陥る場合があります。オペレーションの実施に際しては事前にシステム管理者の了承を得てください。

前述「**④PSERVERのRELOAD**」の手順に従い、ファイルサーバーのコンソール画面で、PSERVERをリロード（RELOAD）します。

リロード後、追加を行ったプリンターが「プリンタリスト」に追加表示されていることで、プリンターの追加が正しく行えたことを確認します。

以上の手順で**NetWare**サーバーへの設定は終了です。 引き続きプリンターのネットワーク設定を行ってください。 プリンターのネットワーク設定にて『「NetWareモード」（設定変数**nw_mode**）へ「**rprinter**」を設定、「プリントサーバー名」（設定変数**pserver**）へ**これまで設定を行ったNetWareプリントサーバー名を設定**』した後、**プリンターの電源を再投入**します。 プリンター本体の電源を「切」→「入」してください。 しばらく待った後「プリンタリスト」で追加を行ったプリンター（本プリンターのマシン名（設定変数machine_nameに設定されている文字列）に「-0」を付加した名前）を選択し［Enter］キーを押下して表示されるプリンタ動作状態表示の「カレントステータス」欄が「プリンタ未接続」から「プリントジョブ待機中」へ表示が変わることで確認できます。

3.3. プリントサーバーモードの設定

プリンターの諸設定は、NetWare環境で使用するものとしては基本的にリモートプリンターモードをデフォルトとしてあります。 ログインスロットを余分に消費しない点、未暗号化パスワードの使用許可設定を行う点、バインダリエミュレーションモードでのサポート（NetWare 4.1J以降）などの諸点を考慮すると、弊社としてはリモートプリンターモードを推奨します。

（注）NetWare 4.1J 以降では、バインダリエミュレーションモードでのサポートとなります。

3.3.1. 未暗号化パスワード使用許可の設定

ファイルサーバーのコンソール画面で、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

《注意》ファイルサーバーを次回起動時にも設定する必要がありますので、**autoexec.ncf**ファイルにも設定してください。

① 動作中のファイルサーバーに、未暗号化パスワード使用許可の設定を行います。

1) ファイルサーバーの「**SYSTEM**コンソール」にて、
「**set allow unencrypted passwords = ON**」
とコマンド入力します。

ファイルサーバー SYSTEMコンソール

```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   12:20:23 JST

OEM識別: 999
ライセンス接続の最大数: 100
インストール済みライセンス
シリアル番号    接続数    ライセンスタイプ    バージョン  有効期限
12345678       100       WEB/CONN          4.11      NONE

FILESERVER1: set allow unencrypted passwords = on
```

コマンド入力後［Enter］キーを押下

2)「**Allow Unencrypted Passwords を ON** に設定しました」と表示され、**set**コマンドは正常に実行されました。

ファイルサーバー SYSTEMコンソール

```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   12:20:23 JST

OEM識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ
ｼﾘｱﾙ番号      接続数       ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ      ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ  有効期限
12345678      100          WEB/CONN       4.11     NONE

FILESERVER1: set allow unencrypted passwords = on
Allow Unencrypted Passwords をONに設定しました
FILESERVER1:
```

② **autoexec.ncf**ファイルへ「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

1) ファイルサーバーの「**SYSTEM**コンソール」にて、「**INSTALL**」ユーティリティを起動します。

NetWare 5.0J 以降では「**NWCONFIG**」ユーティリティを起動します。

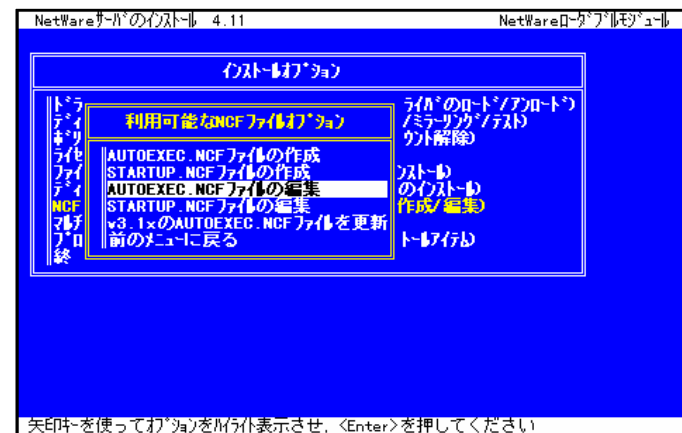
ファイルサーバー SYSTEMコンソール

```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   12:20:23 JST

OEM識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ
ｼﾘｱﾙ番号      接続数       ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ      ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ  有効期限
12345678      100          WEB/CONN       4.11     NONE

FILESERVER1: load install
```

コマンド入力後［Enter］キーを押下

2) 「インストールオプション」メニューから、「**NCFファイルオプション**」を選択します。

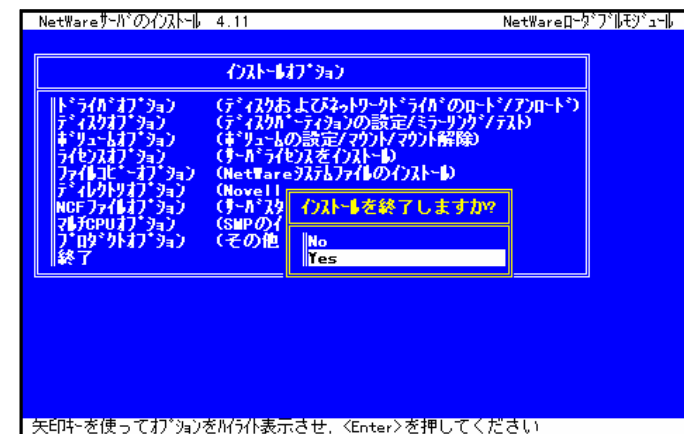
「**NCFファイルオプション**」を選択し、［Enter］キーを押下

3) 「利用可能な**NCFファイルオプション**」メニューから「**AUTOEXEC.NCFファイルの編集**」を選択します。

「**AUTOEXEC.NCFファイルの編集**」を選択し、［Enter］キーを押下

4) 未暗号化パスワード使用許可設定のためのコマンドを追加します。

※**AUTOEXEC.NCF**の適切な位置に
「**set allow unencrypted passwords = ON**」
と１行追加します。

「**set allow unencrypted passwords = ON**」行を追加後、［F10］キーを押下し**AUTOEXEC.NCF**ファイルを保存します。保存終了後、［Escape］キーを２回押下します。

5) 「インストール」ユーティリティを終了します。

「Yes」を選択後［Enter］キーを押下し、「インストール」を終了します。

3.3.2. NetWare 4.xJ のプリントサーバーモードの設定

① PCONSOLEを実行します。

1) PCONSOLEを起動後、［F4］キーを押下し「バインダリモードへ切替え」を行います。

※NetWare 4.x では、プリントサーバーモードはバインダリエミュレーションモードでのサポートとなります。

［F4］キーを押下し「バインダリモードへ切替え」を行います。

② クイックセットアップによる設定。

1) 「利用可能な項目」メニューから「クックセットアップ」を選択します。

「Enter」キーを押下

2) 「プリントサーバ」欄へカーソルを移動します。

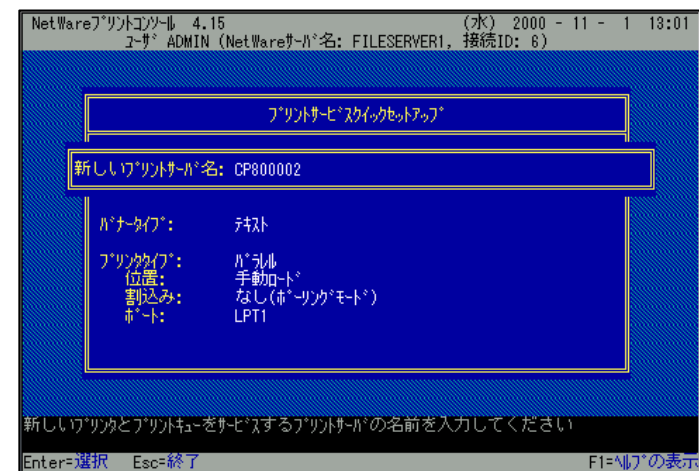
プリントサーバー名の入力開始

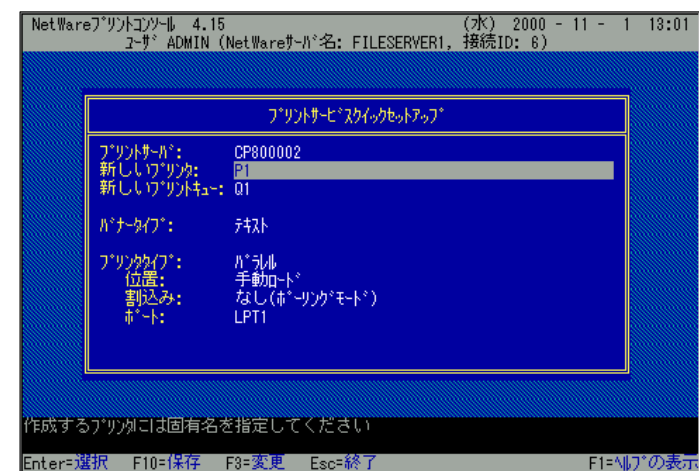
3) 「新しいプリントサーバ名」の入力を開始します。

入力ボックスはプリントサーバー名の入力を開始すると自動的に表示されます。

入力終了後、［Enter］キーを押下して確定します。

※プリントサーバー名は本プリンターのマシン名（設定変数machine_nameに設定されている文字列）を入力してください。 本プリンターのマシン名は工場出荷時の状態では**Ethernetアドレス**の下６桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

（例）プリンターのEthernetアドレスが「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態（デフォルト）のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、「**新しいプリントサーバ名**」には図のように「**CP800002**」と入力してください。

プリントサーバー名入力後、［Enter］キーを押下

4) 「新しいプリンタ」欄へカーソルを移動します。

プリンター名の入力開始

5) 「新しいプリンタ名」の入力を開始します。

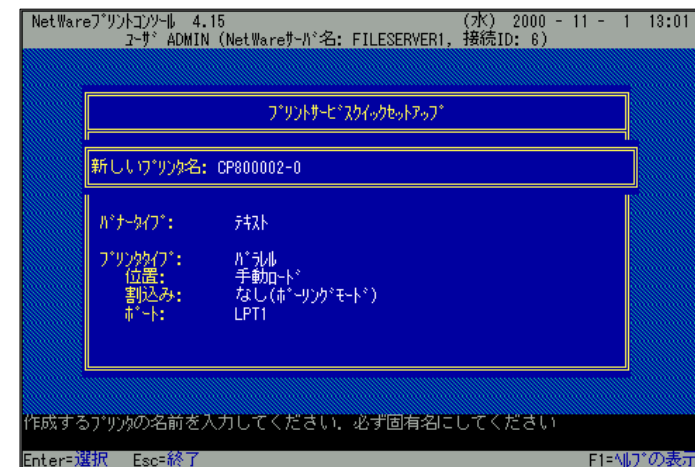
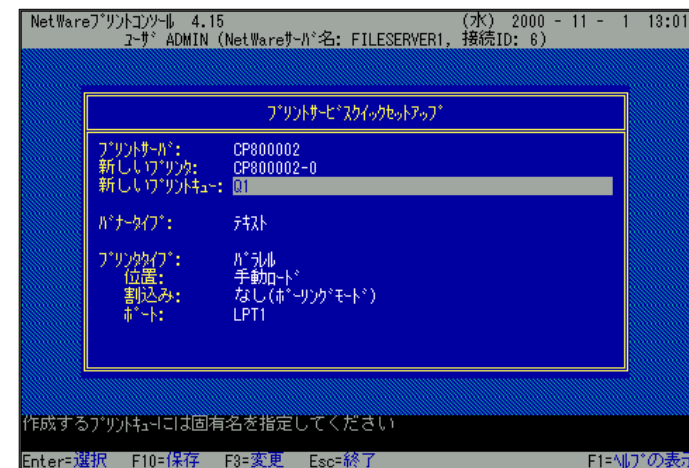
入力ボックスはプリンター名の入力を開始すると自動的に表示されます。

入力終了後、Enterキーを押下して確定します。

※プリンター名は本プリンターのマシン名（設定変数machine_nameに設定されている文字列）に「**-0**」を付加した文字列を入力してください。 本プリンターのマシン名は工場出荷時の状態（または、各種設定用メモリーの初期化時の状態）は**Ethernetアドレス**の下６桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

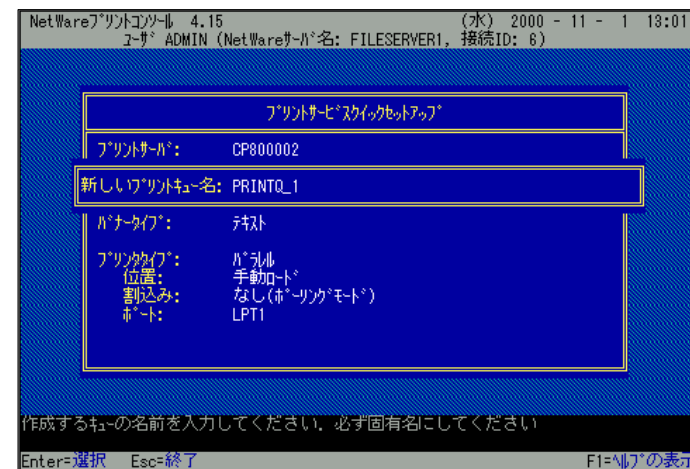
（例）プリンターの**Ethernet**アドレスが「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態（デフォルト）の**マシン名**は「**CP800002**」となっていますので、「**新しいプリンタ名**」には図のように「**CP800002-0**」と入力してください。

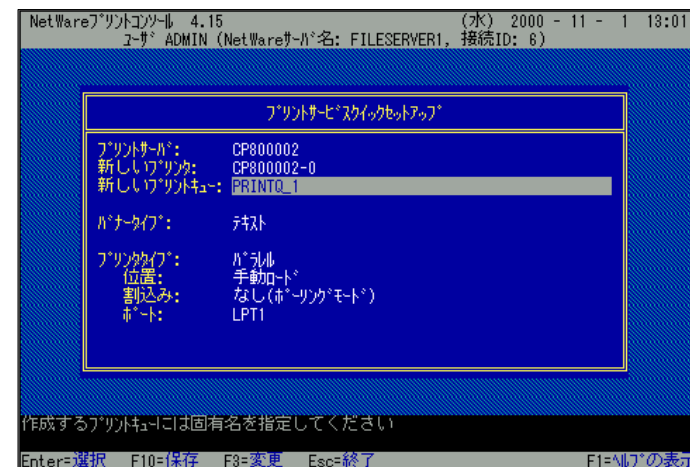
プリンター名入力後、［Enter］キーを押下

6) 「新しいプリントキュー」欄へカーソルを移動します。

プリントキュー名の入力開始

7) 続けて「**新しいプリントキュー名**」を入力します。

入力ボックスはプリントキュー名の入力を開始すると自動的に表示されます。

※プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規のプリントキュー名を作成します。

プリントキュー名入力後、［Enter］キーを押下

8) 各設定内容を確認後、［F10］キーを押下して設定を保存することにより、クイックセットアップを終了します。

［F10］キーを押下

9) 以上で、クイックセットアップによるプリンターの設定は終了です。

10) プリントサーバー（プリントサーバーモードで運用を行うプリンター）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順 1)～8) を繰り返して行ってください。

※複数のファイルサーバーで１台のプリントサーバー（プリントサーバーモードで運用を行うプリンター）を使用する場合、「利用可能な項目」メニューにて「NetWareサーバーの変更」を選択し、「カレントサーバ」メニューから該当のNetWareサーバーを選択した後、これまでの手順 1)～9) を行ってください。

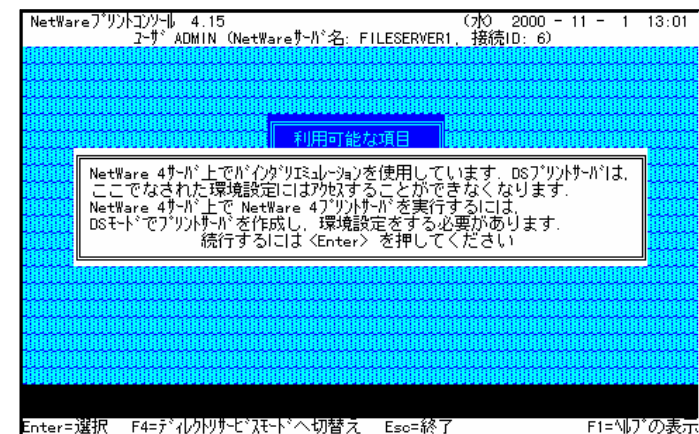
（注）以上の手順でNetWareサーバーへの設定は終了です。 引き続きプリンターのネットワーク設定を行ってください。 プリンターのネットワーク設定にて『「NetWareモード」（設定変数**nw_mode**）へ「**pserver**」を設定、「ファイルサーバー名」（設定変数**fserver1～fserver4**のいずれか）へこれまで設定を行ったNetWareファイルサーバー名を設定』した後、プリンターの電源を再投入します。 プリンター本体の電源を「切」→「入」してください。 しばらく待ちますと、本プリンターのマシン名（設定変数machine_nameに設定されている文字列）がプリントサーバーとしてファイルサーバーへログインされます。 ファイルサーバーの「コンソールモニタ」の「接続情報」、またはクライアントパソコンから「**NLIST USER /A /B**」「**NLIST USER={プリンターマシン名} /A /B**」コマンド等を実行すると、本プリンターのマシン名がプリントサーバーとしてしてログインしていることを確認できます。

③ クイックセットアップを使用しない場合の設定方法。

1) プリントサーバー情報を設定します。

i) 「利用可能な項目」メニューから「プリントサーバ」を選択します。

「プリントサーバ」を選択し［Enter］キーを押下

※NetWare 4 サーバー上でバインダリエミュレーションを使用する際の注意メッセージが表示されますが、［Enter］キーを押下してプリントサーバー情報の設定を続行します。

［Enter］キーを押下

ii)　ここでのプリントサーバーはこれからインストールを行うプリンターそのものを意味しますので、新規に作成を行います。

※［Insert］キーを押下し「**挿入**」を行います。

［Insert］キーを押下

iii)　「新しいプリントサーバ名」の入力を行います。

プリントサーバー名は本プリンターのマシン名（設定変数machine_nameに設定されている文字列）を入力してください。
プリンターのマシン名は工場出荷時の状態ではEthernetアドレスの下６桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

（例）プリンターのEthernetアドレスが「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態（デフォルト）のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、「新しいプリントサーバ名」には図のように「**CP800002**」と入力してください。

「新しいプリントサーバ名」入力後
［Enter］キーを押下

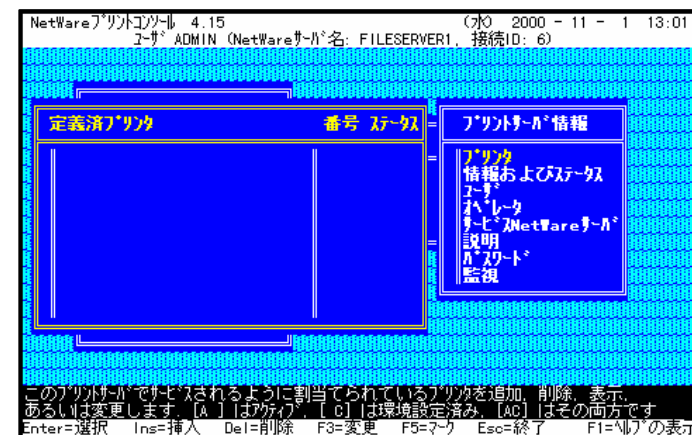
iv) 「プリントサーバ」メニューから iii) で作成したプリントサーバーを選択して［Enter］キーを押下します。

「プリントサーバ」を選択し［Enter］キーを押下

v) 「プリントサーバ情報」メニューから「プリンタ」を選択します。

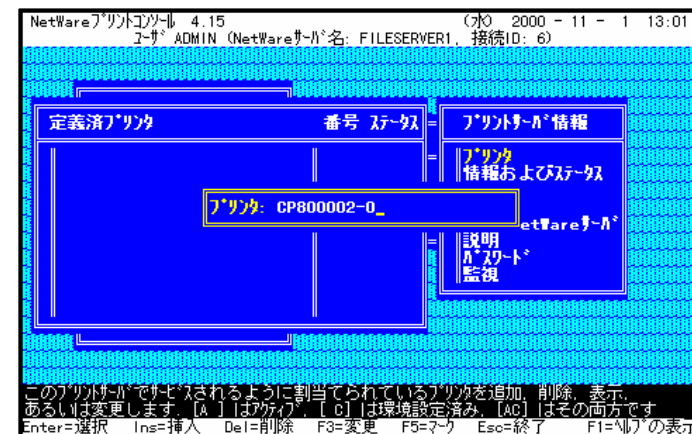
「プリンタ」を選択し［Enter］キーを押下

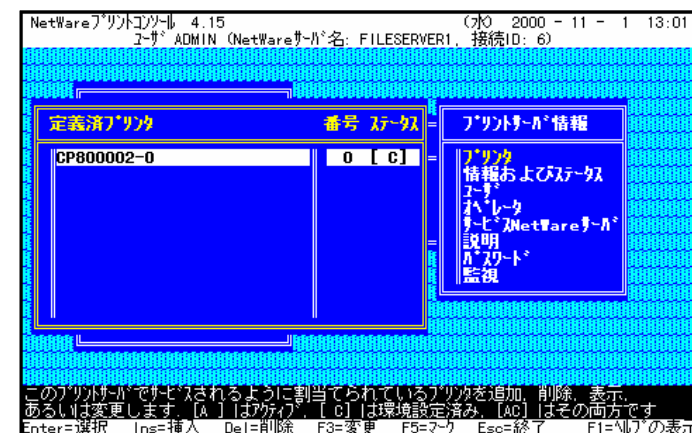
vi) 「**定義済プリンタ**」へプリンターの追加を行います。

［Insert］キーを押下して、挿入を選択します。

［Insert］キーを押下

vii) 「**プリンタ**」名の入力を行います。

プリンター名には図のように、本プリンターのマシン名（設定変数 machine_nameに設定されている文字列）に「**-0**」を付加したものを入力してください。
プリンターのマシン名は工場出荷時の状態では**Ethernetアドレス**の下６桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

（例）プリンターの**Ethernet**アドレスが「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態（デフォルト）のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、「プリンタ」には図のように「**CP800002-0**」と入力してください。

［Enter］キーを押下して入力確定

viii)「定義済プリンタ」メニューから vii) で追加したプリンターを選択し、プリンターの環境設定を行います。

追加したプリンターを選択し、［Enter］キーを押下

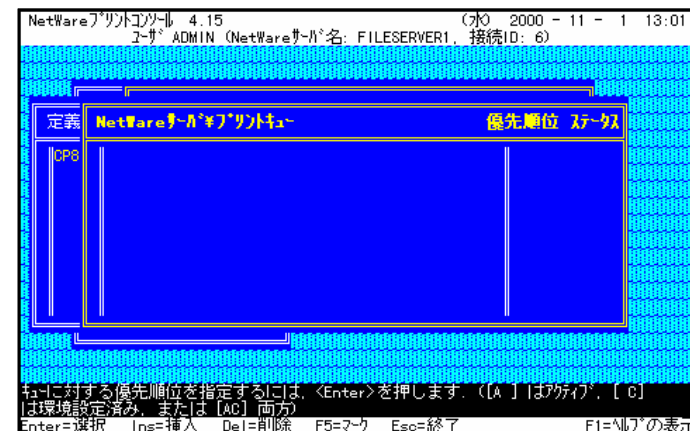
ix) ここではプリントキュー割り当てのみ行います。

「プリントキュー割り当て」を選択します。

※「プリンタタイプ」は「パラレル」に設定してください。「環境設定」を選択して設定する「パラレルプリンタ指定」は「ポート」を「LPT1」に、「位置」を「手動ロード」に、それぞれ設定してください。 その他は必要に応じて設定してください。

「プリントキュー割り当て」を選択し、［Enter］キーを押下

x) 割り当てるプリントキューの追加を行います。

［Insert］キーを押下して、挿入を選択します。

［Insert］キーを押下

xi) プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規にプリントキューを作成します。

「利用可能なプリントキュー」メニューから［Insert］キーを押下し、プリントキューの追加を選択します。

［Insert］キーを押下

xii) 「新しいプリントキュー名」を入力します。

「Enter」キーを押下して入力確定

xiii) xii) で追加したプリントキューを選択して［Enter］キーを押下します。

※プリントキューを複数割り当てることもできます。

NetWareﾌﾟﾘﾝﾄｺﾝｿｰﾙ 4.15
(水) 2000 - 11 - 1 13:01
ﾕｰｻﾞ ADMIN (NetWareｻｰﾊﾞ名: FILESERVER1, 接続ID: 6)
定義
NetWareｻｰﾊﾞ¥ﾌﾟﾘﾝ
利用可能なﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
優先順位 ｽﾃｰﾀｽ
CP8
PRINTQ_0
PRINTQ_1
このﾌﾟﾘﾝﾀのﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰﾘｽﾄに追加するﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰを選択します. 新しいｷｭｰを作成するには
<Insert>を押してください
Enter=選択 F10=選択 F5=ﾏｰｸ Ins=挿入 Esc=終了
F1=ﾍﾙﾌﾟの表示

プリントキュー選択後、［Enter］キーを押下

xiv)必要に応じてプリントキューの優先順位を変更します。

［Escape］キーを複数回押下します。

［Escape］キーを複数回押下

xv) プリントサーバー情報の設定は終了しました。

［Escape］キーを複数回押下して**PCONSOLE**を終了します。

［Escape］キーを複数回押下し、
PCONSOLE.EXEを終了

プリントサーバー（プリントサーバーモードで運用を行うプリンター）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順 ii)～xiv) を繰り返して行ってください。

※複数のファイルサーバーで１台のプリントサーバー（プリントサーバーモードで運用を行うプリンター）を使用する場合、「利用可能な項目」メニューにて「NetWareサーバの変更」を選択し、「カレントサーバ」メニューから該当のNetWareサーバーを選択した後、これまでの手順 **i)**～**xiv)** を行ってください。

（注）以上の手順でNetWareサーバーへの設定は終了です。 引き続きプリンターのネットワーク設定を行ってください。 プリンターのネットワーク設定にて『「**NetWareモード**」（設定変数**nw_mode**）へ「**pserver**」を設定、「ファイルサーバー名」（設定変数**fserver1～fserver4**のいずれか）へこれまで設定を行ったNetWareファイルサーバー名を設定』した後、プリンターの電源を再投入します。 プリンター本体の電源を「切」→「入」してください。 しばらく待ちますと、本プリンターのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)がプリントサーバーとしてファイルサーバーへログインされます。 ファイルサーバーの「コンソールモニタ」の「接続情報」、またはクライアントパソコンから「**NLIST USER /A /B**」「**NLIST USER={プリンターマシン名} /A /B**」コマンド等を実行すると、本プリンターのマシン名がプリントサーバーとしてしてログインしていることを確認できます。

④ 注意事項。

1) プリンターの印刷動作をより詳細に設定するために、NetWareには **PRINTDEF**、 **PRINTCON**、**CAPTURE** 等のコマンドが用意されています。 内容については、NetWareのマニュアルをご参考ください。

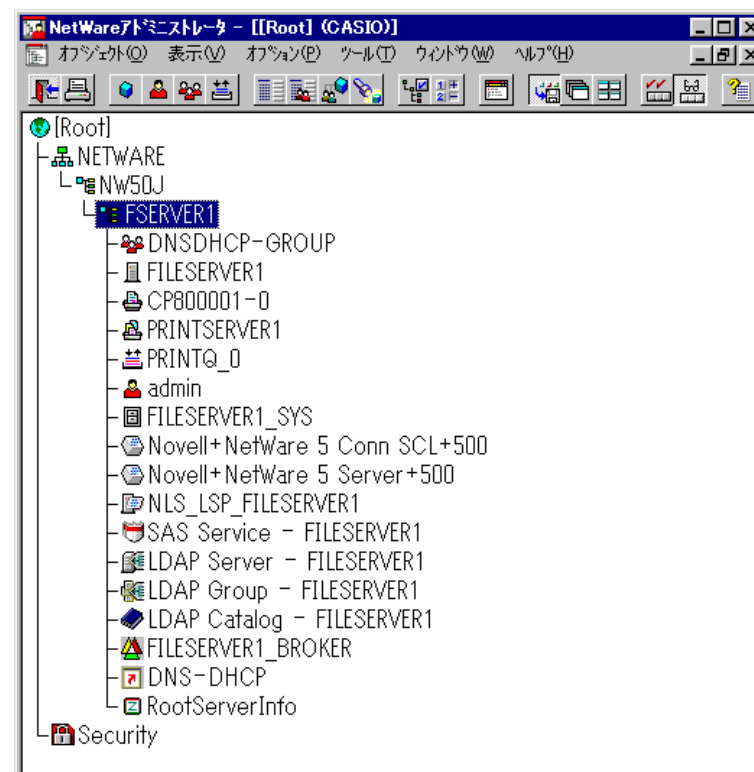
2) これまでの操作例は「**NetWare 4.11J**」の画面表示を元に説明しています。「**NetWare 4.xJ**」は、ほとんど同じ操作でお使いいただけます。「**NetWare 5.xJ**」では使用するNetWareユーティリティが異なり、設定の手順も変更になっていますが、基本的な考え方は概ね同様です。「**NetWare 5.xJ**」のバージョンについては次ページ以降を参照してください。

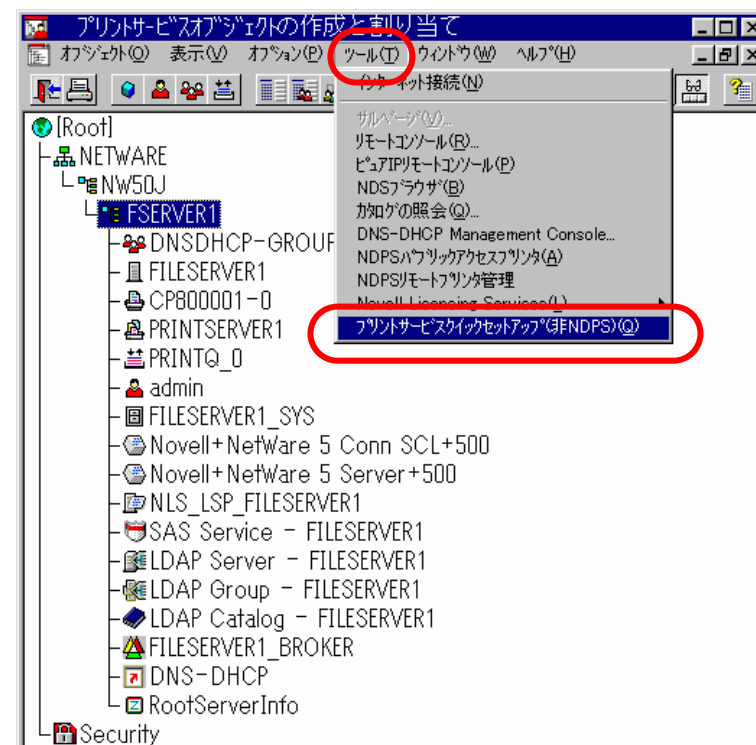
3) 詳しくはシステム管理者にお尋ねください。

３.３.３. NetWare 5.xJ のプリントサーバーモード設定

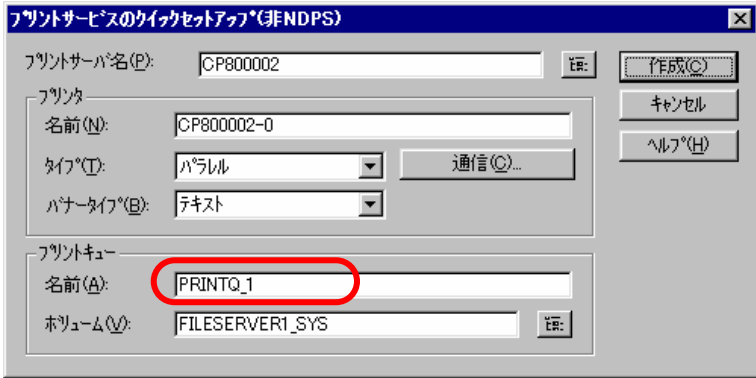
⑤「NetWareアドミニストレータ」を実行します。

1) 「**SYS:¥PUBLIC¥WIN32¥NWADMIN32.EXE**」を実行します。

2) コンテナオブジェクトを展開し、ファイルサーバー／プリントサーバーのコンテキストを表示させせます。

⑥ クイックセットアップによる設定。

1) プリントキューを作成する**コンテナオブジェクト**を選択（シングルクリック）し、「**ツール**」メニューから「**プリントサービスクイックセットアップ（非NDPS）**」を選択してクイックセットアップを起動します。

2) 「プリントサーバ名」を入力します。

※プリントサーバー名は本プリンターのマシン名（設定変数machine_nameに設定されている文字列）を入力してください。本プリンターのマシン名は工場出荷時の状態（または、各種設定用メモリーの初期化時の状態）では**Ethernetアドレス**の下６桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

（例）プリンターのEthernetアドレスが「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態（デフォルト）のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、「プリントサーバ名」は図のように「**CP800002**」と入力してください。

3) 「プリンタ」の「名前」を入力します。

※プリンター名は本プリンターのマシン名（設定変数machine_nameに設定されている文字列）に「**-0**」を付加した文字列を入力してください。 本プリンターのマシン名は工場出荷時の状態（または、各種設定用メモリーの初期化時の状態）では**Ethernetアドレス**の下６桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

（例）プリンターのEthernetアドレス「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態（デフォルト）のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、「プリンタ」の「名前」には図のように「**CP800002-0**」と入力してください。

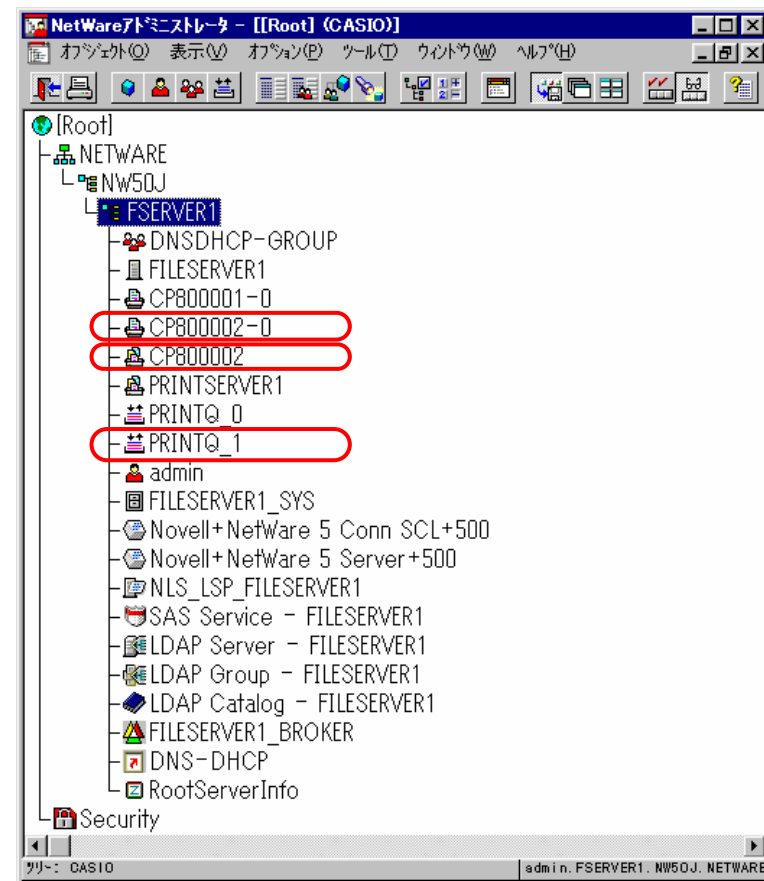
4) 「プリントキュー」の「名前」を入力します。

※プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規のプリントキュー名を作成します。

5) 必要に応じて「プリントキュー」の「ボリューム」の設定を変更します。

その他の設定は、変更しないでください。 各設定内容を確認後［作成］ボタンをクリックして設定を保存することにより、クイックセットアップを終了します。

6) 「**NetWare**アドミニストレータ」画面へ戻ります。

作成したプリントサーバーオブジェクト、プリンターオブジェクト、プリントキューオブジェクトが、ツリー上の正しい位置に表示されていることを確認してください。

7) 以上で、クイックセットアップによるプリンターの設定は終了です。

※プリントサーバーモードで運用を行うネットワークプリンター（プリンター）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順 1) ～5) を繰り返して行ってください。

（注）以上の手順でNetWareサーバーへの設定は終了です。 引き続きプリンターのネットワーク設定を行ってください。 プリンターのネットワークの設定にて『「**NetWareモード**」（設定変数**nw_mode**）へ「**pserver**」を設定、「ファイルサーバー名」（設定変数**fserver1～fserver4**のいずれか）へこれまで設定を行ったNetWareファイルサーバー名を設定』した後、プリンターの電源を再投入します。 プリンター本体の電源を「切」→「入」してください。 しばらく待ちますと、本プリンターのマシン名（設定変数machine_nameに設定されている文字列）がプリントサーバーとしてファイルサーバーへログインされます。 ファイルサーバーの「コンソールモニタ」の「接続情報」、または クライアントパソコンから「**NLIST USER /A /B**」「**NLIST USER={プリンターマシン名} /A /B**」コマンド等を実行すると、本プリンターのマシン名がプリントサーバーとしてしてログインしていることを確認できます。

⑦ 注意事項。

1) プリンターの印刷動作をより詳細に設定するために、NetWareには **PRINTDEF**、**PRINTCON**、**CAPTURE** 等のコマンドが用意されています。内容については、NetWareのマニュアルをご参考ください。

2) 詳しくはシステム管理者にお尋ねください。

3.4. IPX版ネットワーク設定ユーティリティによる設定

IPX版ネットワーク設定ユーティリティを使用しますと、NetWare環境において本プリンターの設定変数設定を行うことができます。 設定可能項目はNetWare環境にて使用する項目に限定されているわけではありません。 IP環境にて使用する設定項目に関してもIPX版ネットワーク設定ユーティリティを用いて設定することが可能です。 各設定は管理者でなければ出来ません。

IPX版ネットワーク設定ユーティリティの詳細については、「4.2. NetWare環境での設定」を参照してください。

また、設定可能項目については、「5.2. ネットワーク設定一覧」も参照してください。

変数グループ	設定項目	設定内容または推奨値など	デフォルト
common	**machine_name**	本プリンターのマシン名（SNMP、NetWare、WINSにて使用）。 デフォルト値での使用を推奨。	**CPxxxxxx**
	contact	本プリンターのシステム管理者の連絡先を表すメモを設定したください。	未設定
	location	本プリンターのプリンターの設置場所を表すメモ設定してください。	未設定
	comment	コメント	未設定
	link_mode	通信速度決定方法の設定。「**auto**」「**100m/full**」「**100m/half**」「**10m/full**」「**10m/half** 」より選択 ※1 ・IPX版ネットワーク設定ユーティリティで正常に通信が行えていますので、このままお使いになることを推奨します。	**auto**
tcpip	**ip_config**	IPアドレス決定方法。「**memory**」「**rarp**」「**bootp**」「**dhcp**」より選択 ※1	**dhcp**
	ip_address	IPアドレス設定値。（**ip_config**が「**memory**」の時に有効） ※1	0.0.0.0
	netmask	サブネットマスク ※1 ※2 ※3	0.0.0.0
	gateway	ゲートウェイアドレス ※1 ※2	0.0.0.0
	ftp_passwd	passwordを要求するFTPクライアントの場合に設定	**off**
	tcp_keep_alive	TCP・キープ・アライブ・パケットの送信間隔。（0～79秒）	30
	tcp_idle_time	TCPにおける無操作(無処理)タイムアウト時間。（1～20分）	5
	wins_server1	**WINS**（Windows Internet Name System）サーバーのアドレスを設定。 DHCPサーバーより通知される場合は設定不要。	0.0.0.0
	wins_server2		0.0.0.0
	dns_server1	**DNS**（Domain Name System）サーバーのアドレスを設定。 DHCPサーバーより通知される場合は設定不要。	0.0.0.0
	dns_server2		0.0.0.0
	dns_server3		0.0.0.0
	dns_domain	お使いのプリンターの接続のDNSサフィックス	未設定

変数グループ	設定項目	設定内容または推奨値など	デフォルト
	ntp_mode	**NTP**（Network Time Protocol）の動作モードの設定。 （**enable**:使用する、**disable**:使用しない）	**enable**
	ntp_server1	NTPサーバーのアドレスを設定。 DHCPサーバーより通知される場合は設定不要。	未設定
	ntp_server2		未設定
	permit_ip1	TCP/IP印刷を許可するIPアドレスの範囲を設定。 ・どれか１つでも設定されると、指定された範囲内のIPアドレスが設定されているホストコンピューターからの印刷しか受け付けません。 ・すべての設定がデフォルトの場合、通信が可能なすべてのホストコンピューターからの印刷を受け付けます。 ・xxx.xxx.xxx.xxx－xxx.xxx.xxx.xxx（IPアドレス（form）－IPアドレス（to）、かつ from ≦ to）となるように設定してください。 指定IPアドレスの有効性や 実在する／しない は問いません。	**0.0.0.0 -0.0.0.0**
	permit_ip2		**0.0.0.0 -0.0.0.0**
	permit_ip3		**0.0.0.0 -0.0.0.0**
	permit_ip4		**0.0.0.0 -0.0.0.0**
snmp	**snmp_mode**	SNMPの動作モードを設定。（**enable**:使用する、**disable**:使用しない）	**enable**
	snmp_name	SNMPのコミュニティ名を設定	**public**
	snmp_host	Trap/パケットを送信するホストのIPアドレスを設定。	**0.0.0.0**
nw_param	**nw_mode**	リモートプリンターモードでは「**rprinter**」、プリントサーバーモードでは「**pserver**」、未使用は「**disable**」を設定。	**rprinter**
	nw_packet	AUTO、IEEE802.2、IEEE802.3、ETHERNETⅡ のどれかを選択 入力はそれぞれ「**auto**」「**ieee802_2**」「**ieee802_3**」「**ethernet_ii**」としてください。	**auto**
	nw_spx_abort	SPX監視停止タイムアウト時間。（**30** ～ **300** 秒）	**30**
	nw_spx_listen	SPX監視検査タイムアウト時間。（**1** ～ **180** 秒）	**6**
	nw_spx_verify	SPX確認待機タイムアウト時間。（**1** ～ **15** 秒）	**3**
	pserver	リモートプリンターモードでは、必ずプリントサーバー名を入力。	未設定
	timeout	リモートプリンターモードで印刷終了後、他プロトコルによる印刷を開始するまでのタイムアウト時間。（この間にリモートプリンターモードの印刷が投入されると優先して印刷します。）（**1**～ **255** 秒）	**10**
	fserver1	プリントサーバーモードではファイルサーバーは最大4台まで設定が可能です。 （**fserver1**～**fserver4** のうち必ず1つ以上にファイルサーバー名を入力してください）。 なお、同じファイルサーバー名を入力しないでください。	未設定
	fserver2		未設定
	fserver3		未設定
	fserver4		未設定
	polltime	プリントサーバーモードにて、印刷キューへ印刷データの有無を問い合わせる間隔。（**1**～ **255** 秒）	**15**

変数グループ	設定項目	設定内容または推奨値など	デフォルト
	nw_passwd	プリントサーバーモードで、本プリンターがプリントサーバーとしてファイルサーバーへログインする際に使用するパスワード。	未設定
	nw_ncp_timeout	NCPタイムアウト監視時間。（**1 ～ 255** 秒）	**3**
	nw_ncp_retry	NCPパケット再送信回数。（**1 ～ 255** 回）	**20**

※1）操作パネルでも設定可能です。後から設定した値が保存されます。

※2）ip_configが「dhcp」の場合、DHCPサーバーより通知される設定を使用します。

※3）本設定が「0.0.0.0」の場合、決定したIPアドレスから自動生成したサブネットマスク値を使用します。

4．プリンターのネットワーク設定

本プリンターのネットワーク設定はIP環境およびNetWare（IPX）環境それぞれにて行うことができます。 設定可能項目は各環境にて使用する項目に限定されているわけではありません。 他の環境にて使用する設定項目に関しても各環境にて設定することが可能です。

IP環境では、お使いのオペレーティングシステムにインストールされているソフトウェアのTELNET（「4.1.1. TELNETによる設定」を参照）またはWebブラウザー（「4.1.2. Webブラウザーによる設定」を参照）を使用してプリンターのネットワーク設定変数設定を行うことができます。

NetWare環境では、付属CD-ROMに収納されておりますIPX版ネットワーク設定ユーティリティ（「4.2. NetWare環境での設定」を参照）を使用してプリンターのネットワーク設定変数設定を行うことができます。

なお、各設定は管理者でなければ出来ません。

また、設定可能項目については、「5.2. ネットワーク設定一覧」も参照してください。

4.1. IP環境での設定

IP環境においては、TCP/IPを使用する以下のプロトコルにて本プリンターの設定を行うことができます。

プロトコル名	機　能　概　要
TELNET	プリンターの内部設定の参照・変更に使用します。 これによりプリンターのネットワーク設定変数の設定が行えます。 また、プリンターの動作状態を表示することもできます。 TELNETはRFC854、RFC855に準拠します。 実装はBSD系に準拠します。
HTTP	プリンターの内部設定の参照・変更に使用します。 これによりプリンターのほとんどすべての設定が行えます。 また、プリンターの動作状態の表示や簡単な操作を行うこともできます。 Webブラウザーが必要です。

4.1.1. TELNETによる設定

TELNETを使用することにより、プリンターの内部設定の参照・変更を行うことができます。 また、プリンターの動作状態を簡易表示することもできます。

なお、TELNETは、お使いのオペレーティングシステムにインストールされているソフトウェアを使用されることを前提としており、プリンターの付属ユーティリティとして提供するものではありません。

TELNETは、お使いのオペレーティングシステムやソフトウェアによって異なります。 ここでは通常オペレーティングシステムに付属しているTELNETクライアントソフトウェアを例に説明します。

4.1.1.1. 起動および接続方法

TELNETクライアントソフトウェアを起動してプリンターへ接続し、ユーザー名／パスワードを入力してログインを完了します。 ログインが完了すると、入力したユーザー名を元にしたプロンプトが表示されます。

```
C:¥>telnet 130.10.90.196
CASIO GE5000 Ver.xxxxxxxxxx / xx
USER: guest
Password:

guest>
```

※*斜体部分を入力します。*

- 「USER:」と表示されるのでユーザー名を入力します。
- ユーザー名は管理者以外は特に定められてはいません。 初期状態（工場出荷デフォルト値）状態の管理者ユーザー名は「guest」です。初期状態のユーザー名「guest」を指定すると、パスワードは要求されますが「未入力」または「任意の文字列」を入力するとログインが完了します。
- 管理者登録、および「guestユーザーによる設定変更の禁止」設定を行うことをお勧めします。 詳しくは『**ユーザーズマニュアル（Web設定編）**』を参照してください。
- 登録した管理者はパスワードを要求されますので設定されているパスワードを入力してください。
- 管理者以外は以下のコマンドが使えません。
  - *set*

管理者のパスワードが不一致の場合、「Login incorrect」と表示されますので、再度ユーザー名入力からやり直してください。

```
C:¥>telnet 130.10.90.196
CASIO GE5000 Ver.xxxxxxxxxx / xx
USER: casio      ←「casio」は管理者ユーザー登録してあることとします。
Password:
Login incorrect

USER:
```

既に他の管理者がプリンターへ接続している場合、「Login incorrect. Already used by another administrator.」と表示されますので、管理者以外のユーザー名を再度入力してください。

```
C:¥>telnet 130.10.90.196
CASIO GE5000 Ver.xxxxxxxxxx / xx
USER: casio      ←「casio」は管理者ユーザー登録してあることとします。
Password:
Login incorrect. Already used by another administrator.

USER:
```

プリンターへ接続した状態で約5分間（初期状態（工場出荷デフォルト値）の場合。ネットワーク設定変数 tcp_idle_timeの設定を変更すると約1～20分間へ変更できます。）無操作状態が続きますと、プリンターはTELNET接続を強制切断します。 強制切断後は接続操作を始めからやり直してください。

```
C:¥>telnet 130.10.90.196
CASIO GE5000 Ver.xxxxxxxxxx / xx
USER: casio      ←「casio」は管理者ユーザー登録してあることとします。
Password:

casio>
casio>
Idle time limit reached.

ホストとの接続が切断されました。

C:¥>
```

4.1.1.2. 使用可能コマンド

TELNETにて使用可能なコマンドを説明します。 コマンドはプロンプト表示状態（「入力したユーザー名」+”>”）で入力してください。

```
casio>help
```

① help コマンド

TELNETにて使用可能なコマンド一覧、各コマンドの入力ガイダンス、および各設定変数へ設定する値のガイダンスを表示します。

・コマンド一覧表示の例。

```
casio>help
set <parameter=value>          set parameter
show [parameter/section/all]   show parameter
stat                           display status
quit                           quit without saving
exit                           save and exit
help [command]                 display help

casio>
```

※ここで表示されたコマンドによって、プリンターのネットワーク設定内容を得、またその設定を変更することができます。 製品では初期値が設定されておりますが、ip_address、netmask、gateway などはご使用になるIP環境にあわせて変更してください。

・各コマンドの入力ガイダンスの例

```
casio>help show
Display parameter
usage:show [parameter/section/all]
---------------------------------------------------------
Command             display what
show [network]      Basic parameters
show all            All parameters
show tcpip          TCP/IP communication parameters
show common         Common parameters
show snmp           SNMP parameters
show nw_param       NetWare communication parameters
show port           Printing parameters

casio>
```

・各設定変数へ設定する値のガイダンスの例

```
casio>help ip_config
ip_config = memory/dhcp/bootp/rarp

casio>help link_mode
link_mode = auto / 100M/Full / 100M/Half / 10M/Full / 10M/Half

casio>
```

② show コマンド

指定した変数名、グループ名、または設定可能な変数すべての設定状態を表示します。

・変数名指定の例。

```
casio>show ip_address
ip_address              : 0.0.0.0

casio>
```

・グループ名指定の例。　※「***show***」のみを入力した場合、「***show network***」と入力した場合と同じ表示となります

```
casio>show network
machine_name            : CP800001
comment                 :
link_mode               : auto
ip_config               : dhcp
ip_address              : 0.0.0.0
netmask                 : 0.0.0.0
gateway                 : 0.0.0.0
wins_server1            : 0.0.0.0
wins_server2            : 0.0.0.0
dns_server1             : 0.0.0.0
dns_server2             : 0.0.0.0
dns_server3             : 0.0.0.0
dns_domain              :
ntp_mode                : enable
ntp_server1             :
ntp_server2             :
permit_ip1              : 0.0.0.0-0.0.0.0
permit_ip2              : 0.0.0.0-0.0.0.0
permit_ip3              : 0.0.0.0-0.0.0.0
permit_ip4              : 0.0.0.0-0.0.0.0
nw_mode                 : rprinter

casio>
```

・TELNETで可能な変数すべて「*all*」指定の例。

```
casio>show all
machine_name            : CP800001
contact                 :
location                :
comment                 :
link_mode               : auto
ip_config               : dhcp
ip_address              : 0.0.0.0
netmask                 : 0.0.0.0
gateway                 : 0.0.0.0
ftp_passwd              : off
tcp_keep_alive          : 30
tcp_idle_time           : 5
wins_server1            : 0.0.0.0
wins_server2            : 0.0.0.0
dns_server1             : 0.0.0.0
dns_server2             : 0.0.0.0
dns_server3             : 0.0.0.0
dns_domain              :
ntp_mode                : enable
ntp_server1             :
ntp_server2             :
permit_ip1              : 0.0.0.0-0.0.0.0
permit_ip2              : 0.0.0.0-0.0.0.0
permit_ip3              : 0.0.0.0-0.0.0.0
permit_ip4              : 0.0.0.0-0.0.0.0
snmp_mode               : enable
snmp_name               : public
snmp_host               : 0.0.0.0
```

```
nw_mode                 : rprinter
nw_packet               : auto
pserver                 :
timeout                 : 10
nw_spx_abort            : 30
nw_spx_listen           : 6
nw_spx_verify           : 3
fserver1                :
fserver2                :
fserver3                :
fserver4                :
polltime                : 15
nw_passwd               :
nw_ncp_timeout          : 3
nw_ncp_retry            : 20
banner0                 : off
bojstring0              :
eojstring0              :
banner1                 : off
bojstring1              :
eojstring1              :
tabsize1                : 8
banner2                 : off
bojstring2              :
eojstring2              :
tabsize2                : 8

casio>
```

③ set コマンド

指定した変数名に数値または文字列を設定します。

※setコマンドは管理者専用コマンドです。

```
casio>set comment=CASIO-Color-PagePrinter_2nd-floor_north-east-coner
comment                 : comment= CASIO-SPEEDIA-Printer_2nd-floor_north-east-coner
```

```
casio>set link_mode=100m/full
link_mode               : 100M/Full
```

```
casio>set ip_address=130.10.90.186
ip_address              : 130.10.90.186

casio>
```

※設定した数値または文字列は、後述「exitコマンド」にて設定値の保存を行った後、プリンター本体の電源を「切」→「入」して次回プリンターが正常に起動した後に有効になります。
また、設定値の保存を行わない場合は、後述「quitコマンド」にてTELNET接続を終了してください。

④ stat コマンド

プリンターのネットワーク状態を表示します。

・基本情報表示の例。

```
casio>stat
CASIO GE5000 Ver.xxxxxxxxxx / xx
Ethernet address  :  08:00:74:80:00:01
Link status       :  100Base/Full Duplex (Auto)
TCP/IP status     :  IP address       : 130.10.90.186
                     IP config        : Dhcp
                     Netmask          : 255.255.0.0
                     gateway          : 130.10.1.1
IPX packet type   :  IEEE802.2(Auto)
NetWare status    :  Mode             : rprinter
                     print server     : PRINTSERVER1
Printer status    :  Port status      : Printer ready
                     Model name       : GE5000
                     Version No.      : xxxxxxxxxx / xx
                     Paper feeder     : MPF1:A4
                                        CPF1:A4
                                        CPF2:B4
                                        CPF3:A3
                                        CPF4:A4R
                                        Duplex-unit


casio>
```

・印刷ジョブ情報表示の例。

```
casio>stat queue
Rank       Job     Owner                  User-ID
1st        100     130.10.90.100          PowerUser
2nd        101     130.10.90.101          Administrator
3rd        102     130.10.91.52           guest
4th        103     130.10.92.143          casiotaro
5th        104     130.10.90.104                    ※2
                   PRINTSERVER1    ※1               ※2

casio>
```

※1：NetWareによる印刷の場合、送信元のプリントサーバー名またはファイルサーバー名が表示されます。
※2：Raw Protocol（Port 9100）およびNetWareによる印刷の場合、User-IDは表示されません。

・接続中ホスト情報表示の例。

```
casio>stat host
130.10.90.100     :  ftp
130.10.90.101     :  http    ※1
130.10.92.143     :  telnet
130.10.90.104     :  ftp
                     NetWare console    ※2

casio>
```

※1：「http」はWebブラウザーにて設定変更を行っている場合に表示されます。
※2：「NetWare console」はIPX版ネットワーク設定ユーティリティにて接続中に表示されます。

⑤ quit コマンド

TELNETを終了し接続を切断します。 setコマンドにて変数へ数値または文字列を設定した場合は、設定値の保存は行わずに破棄した後にTELNETを終了します。

```
casio>quit


ホストとの接続が切断されました。

C:¥>
```

⑥ exit コマンド

TELNETを終了し接続を切断します。 setコマンドにて変数へ数値または文字列を設定した場合は、設定値の保存を行った後にTELNETを終了し、接続を切断します。

※保存した設定値は、次回プリンターが正常に起動に起動した後に有効になります。 プリンター本体の電源を「切」→「入」してください。

```
casio>exit


ホストとの接続が切断されました。

C:¥>
```

※設定値の保存を行わない場合は、前述「quitコマンド」にてTELNET接続を終了してください。

4.1.2. Webブラウザーによる設定

Webブラウザーを使用することにより、HTTPにより本プリンターとの通信を行い、プリンターの内部設定の参照・変更を行うことができます。また、プリンターの動作状態を表示することもできます。

なお、Webブラウザーは、お使いのオペレーティングシステムにインストールされているソフトウェアを使用されることを前提としており、プリンターの付属ユーティリティとして提供するものではありません。

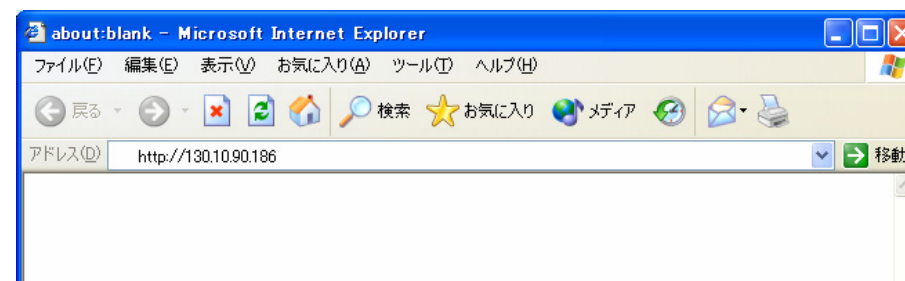
Webブラウザーは、お使いのオペレーティングシステムやソフトウェアによって異なりますが、本プリンターでは Windows版の以下に記載したソフトウェアのみのサポートとなります。（表記あるいはそれ以上のバージョンをお使いください。）

- Internet Explorer 6 Service Pack 1
- Mozilla Firefox 1.5

ここでは Windows XP にインストールした Internet Explorer Version 6 を例に説明します。

4.1.2.1. 接続方法

Webブラウザーソフトウェアを起動してアドレス欄へURLとして本プリンターのIPアドレスを入力します。

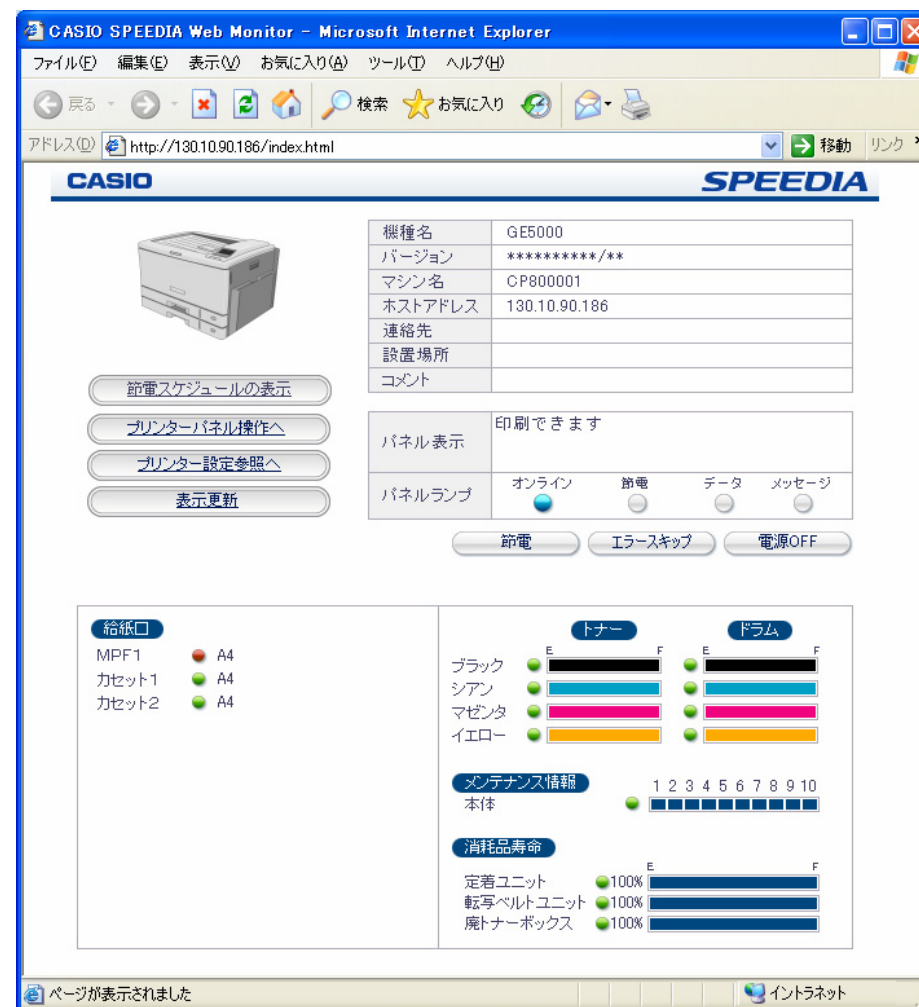
URLは「http://xxx.xxx.xxx.xxx」（xxx.xxx.xxx.xxx は本プリンターのIPアドレス）と入力します。

本プリンターがWINSで運用するネットワーク環境で使用可能な場合、URLは「http://xxxxxxxx」（xxxxxxxxは本プリンターのマシン名：ネットワーク設定変数machine_nameの設定文字列）を入力します。

※本プリンターのマシン名は工場出荷時の状態（または、各種設定用メモリーの初期化時の状態）ではEthernetアドレスの下6桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

（例）プリンターのEthernetアドレスが「**080074800001**」の場合、工場出荷時状態（デフォルト）のマシン名は「**CP800001**」となっていますので、URLには図のように「http://**CP800001**」と入力してください。

本プリンターへ正しく接続されると、プリンターの動作状態を表すWebページが始めに表示されます。

※プリンターの動作状態は自動更新されません。必要に応じて［表示更新］ボタンをクリックしてください。

Webブラウザーによる操作／表示の説明は、『ユーザーズマニュアル（Web設定編）』を参照してください。

4.2. NetWare環境での設定

NetWare環境においては、IPXを使用する以下のユーティリティにて本プリンターのネットワーク設定を行うことができます。

ユーティリティ名	機　能　概　要
IPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）	プリンターのネットワーク設定の参照・変更に使用します。 これによりプリンターの設定変数の設定が行えます。 また、本プリンターの動作状態を表示することもできます。 **Windows 2000、Windows XP の各オペレーティングシステム（OS）へIPX/SPX互換プロトコルを組み込んだ環境で動作します。** **※MS-DOS へ Novell Client を組み込んだ環境では動作しません。** 詳しくはシステム管理者へお尋ねください。

本プリンター付属のCD-ROMに収納されております『IPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）』は、CP-NW200Tへ付属しておりますユーティティーと共通のプログラムです。

CP-NW200T での設定可能項目は、CP-NW200T の CD-ROM へ収納されている取扱説明書をお読みください。

また、 CP-NW100 Series の各製品（CP-NW100、CP-NW100L、CP-NW100SP、CP-NW110）へ付属しております「MS-DOS用ユーティリティ（CP1CONF.EXE）」の代わりとしてお使いいただけます。（但し、MS-DOS環境では動作しないなど、動作するOS環境は異なります。）

CP-NW100 Series での設定可能項目は、 CP-NW100 Series の各製品（CP-NW100、CP-NW100L、CP-NW100SP、CP-NW110）のCD-ROMに収納されております取扱説明書をお読みください。

4.2.1. IPX版ネットワーク設定ユーティリティのインストール

ここではIPX版ネットワーク設定ユーティリティのインストール方法を順に説明します。

なお、IPX版ネットワーク設定ユーティリティはインストールを行わずにCD-ROMから直接起動することができます。 直接起動の方法は次項で説明します。

i) 「IPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）」をインストールするには、本プリンター付属のCD-ROMから行います。
コンピューターにCD-ROMをセットすると、自動的に「スタートアップメニュー」が表示されます。（しばらく待っても自動的に「スタートアップメニュー」が表示されないときは、エクスプローラなどからCD-ROMドライブのルートフォルダーを表示してください。）

ii) ［CD-ROM参照］ボタンをクリックします。

iii) エクスプローラの画面が起動され、CD-ROMドライブのルートフォルダーのファイル／フォルダーを表示しますので、「Utility」フォルダー→「LAN」フォルダーの順にクリックします。

iv) 表示されているファイルの中から「setup.exe」をクリックして起動します。

v) 「セットアップ」画面が表示されます。
［次へ］ボタンをクリックします。

vi) 「使用許諾契約」画面が表示されます。
よくお読みいただき、使用許諾契約に同意される場合は［はい］ボタンをクリックしてください。
インストールを中止する場合は［いいえ］ボタンをクリックしてください。

vii) 「インストール先の選択」画面が表示されます。
インストール先ディレクトリーを確認後、［次へ］ボタンをクリックします。

viii)「プログラムフォルダーの選択」画面が表示されます。
プログラムフォルダーを確認後、［次へ］ボタンをクリックします。

ix) プログラムのインストールが開始されます。

x) 以上で「IPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）」のインストールは終了しました。

4.2.2. IPX版ネットワーク設定ユーティリティの起動方法

① 「スタートメニュー」から起動する場合。

「スタート」メニュー →「プログラム」
→「CASIO SPEEDIA」に登録された
「IPX版ネットワーク設定（コマンド）」ユーティリティ
をクリックします。

② 「ファイル名を指定して実行」から起動する場合。

「スタート」メニュー →「ファイル名を指定して実行」にて開くダイアログの「名前」欄に
「C:¥Program Files¥CASIO¥SPEEDIA¥LANCONF¥LANCONF.EXE」（インストール先を“C:¥Program Files¥CASIO¥SPEEDIA¥LANCONF”に指定した場合）と入力し、［OK］ボタンをクリックします。

※設定を行うプリンターのマシン名があらかじめ判っている場合は、引数として指定することにより該当のプリンターとの通信を開始します。

（例）プリンターのマシン名（ネットワーク設定変数machine_name設定文字列）が「**CP800001**」の場合、「名前」欄に
「C:¥Program Files¥CASIO¥SPEEDIA¥LANCONF¥LANCONF.EXE　CP800001」と入力します。

※プリンターへ付属のCD-ROMから直接起動する場合は、CD-ROM内のユーティリティプログラムを直接指定します。

（例）CD-ROMドライブが「F:」の場合、「名前」欄に「F:¥Utility¥LAN¥LANCONF.EXE」と入力します。

4.2.3. IPX版ネットワーク設定ユーティリティの説明

IPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）を使用することにより、プリンターの内部設定の参照・変更を行うことができます。また、プリンターの動作状態を表示することもできます。

4.2.3.1. プリンターへの接続方法

IPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）を起動すると、お使いのNetWare環境で動作しているプリンターの検索を行います。 検索には少々時間が掛かりますのでしばらくお待ちください。 検索が終了すると現在接続可能なプリンターの一覧を表示します。

「999」を入力すると、再度プリンターの検索を行い、一覧表示を更新します。

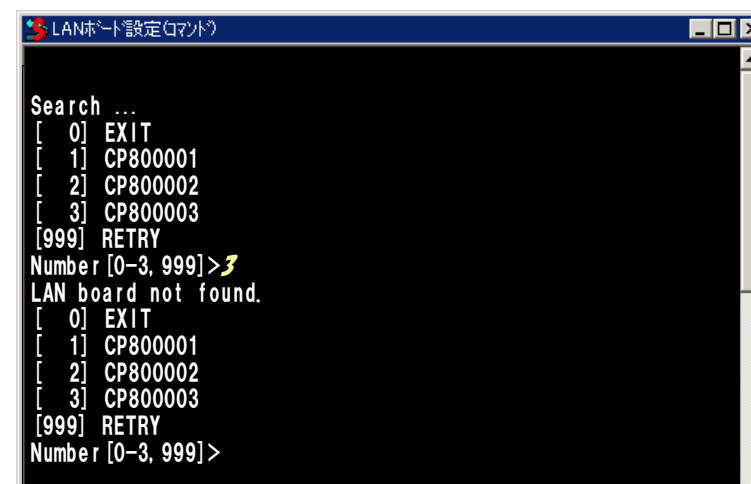
※一覧へは、CP-NW200T、CP-NW100 Series の各LANボードを装着したプリンターも表示されます。

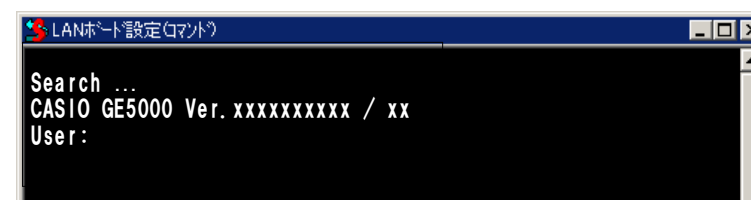
```
LANﾎﾞｰﾄﾞ設定(ｺﾏﾝﾄﾞ)
Search ...
[  0] EXIT
[  1] CP800001
[  2] CP800002
[  3] CP800003
[999] RETRY
Number[0-3,999]>999

Search ...
[  0] EXIT
[  1] CP800001
[  2] CP800002
[  3] CP800003
[999] RETRY
Number[0-3,999]>
```

表示された一覧より接続したいプリンターの［Number］を入力して［Enter］キーを押下してください。 指定されたプリンターへの接続処理を開始します。

```
LANﾎﾞｰﾄﾞ設定(ｺﾏﾝﾄﾞ)
Search ...
[  0] EXIT
[  1] CP800001
[  2] CP800002
[  3] CP800003
[999] RETRY
Number[0-3,999]>1
CASIO GE5000 Ver.xxxxxxxxxx / xx
User:
```

選択したプリンターと接続できなかった場合、エラーメッセージを表示後、再度一覧表示を行います。

```
LANﾎﾞｰﾄﾞ設定(ｺﾏﾝﾄﾞ)

Search ...
[   0] EXIT
[   1] CP800001
[   2] CP800002
[   3] CP800003
[999] RETRY
Number[0-3,999]>3
LAN board not found.
[   0] EXIT
[   1] CP800001
[   2] CP800002
[   3] CP800003
[999] RETRY
Number[0-3,999]>
```

IPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）を起動する際、引数としてプリンターのマシン名を指定した場合は現在接続可能なプリンターの一覧表示は行わずに、指定されたプリンターへの接続処理を開始します。

```
LANﾎﾞｰﾄﾞ設定(ｺﾏﾝﾄﾞ)

Search ...
CASIO GE5000 Ver.xxxxxxxxxx / xx
User:
```

指定したプリンターと接続できなかった場合、プリンターの検索を行った後、一覧表示を行います。

```
LANﾎﾞｰﾄﾞ設定(ｺﾏﾝﾄﾞ)

Search ...
[   0] EXIT
[   1] CP800001
[   2] CP800002
[   3] CP800003
[999] RETRY
Number[0-3,999]>
```

プリンターへ接続し、ユーザー名／パスワードを入力してログインを完了します。 ログインが完了すると、入力したユーザー名を元にしたプロンプトが表示されます。

```
CASIO GE5000 Ver.xxxxxxxxxx / xx
USER: guest
Password:

guest>
```

※*斜体部分を入力します。*

・「USER:」と表示されるのでユーザー名を入力します。

・ユーザー名は管理者以外は特に定められてはいません。 初期状態（工場出荷デフォルト値）状態の管理者ユーザー名は「guest」です。初期状態のユーザー名「guest」を指定すると、パスワードは要求されますが「未入力」または「任意の文字列」を入力するとログインが完了します。

・管理者登録、および「guestユーザーによる設定変更の禁止」設定を行うことをお勧めします。 詳しくは『**ユーザーズマニュアル（Web設定編）**』を参照してください。

・登録した管理者はパスワードを要求されますので設定されているパスワードを入力してください。

・管理者以外は以下のコマンドが使えません。

・***set***

管理者のパスワードが不一致の場合、「Login incorrect」と表示されますので、再度ユーザー名入力からやり直してください。

```
CASIO GE5000 Ver.xxxxxxxxxx / xx
USER: casio        ←「casio」は管理者ユーザー登録してあることとします。
Password:
Login incorrect

USER:
```

既に他の管理者がプリンターへ接続している場合、「Login incorrect. Already used by another administrator.」と表示されますので、管理者以外のユーザー名を再度入力してください。

```
CASIO GE5000 Ver.xxxxxxxxxx / xx
USER: casio      ←「casio」は管理者ユーザー登録してあることとします。
Password:
Login incorrect. Already used by another administrator.

USER:
```

プリンターへ接続した状態で約5分間（初期状態（工場出荷デフォルト値）の場合。 ネットワーク設定変数 tcp_idle_timeの設定を変更すると約１～２０分間へ変更できます。）無操作状態が続きますと、プリンターはIPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）との接続を強制切断します。 IPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）は強制切断を検出すると終了しますので、操作を始めからやり直してください。

```
CASIO GE5000 Ver.xxxxxxxxxx / xx
USER: casio      ←「casio」は管理者ユーザー登録してあることとします。
Password:

casio>
casio>
Idle time limit reached.

--- Hit any key to exit. ---
```

4.2.3.2. 使用可能コマンド

IPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）にて使用可能なコマンドは、接続したプリンターの「TELNET」にて使用可能なコマンドと同じです。 接続先プリンターが CP-NW200Tを装着したプリンターの場合はCP-NW200Tのマニュアルを、CP-NW100 Series（CP-NW100、CP-NW100L、CP-NW100SP、CP-NW110）を装着したプリンターの場合はCP-NW100 Series のマニュアルを参照してください。ここでは GE5000 プリンター へ接続した場合の説明をします。

コマンドはプロンプト表示状態（「入力したユーザー名」+”>”）で入力してください。

```
casio>help
```

① help コマンド

IPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）にて使用可能なコマンド一覧、各コマンドの入力ガイダンス、および各設定変数へ設定する値のガイダンスを表示します。

・コマンド一覧表示の例。

```
casio>help
set <parameter=value>          set parameter
show [parameter/section/all]   show parameter
stat                           display status
quit                           quit without saving
exit                           save and exit
help [command]                 display help

casio>
```

※ここで表示されたコマンドによって、プリンターの設定内容を得、またその設定を変更することができます。 製品では初期値が設定されておりますが、nw_mode、pserver、fserver1～fserver4 などはご使用になるNetWare環境にあわせて変更してください。

・各コマンドの入力ガイダンスの例

```
casio>help show
Display parameter
usage:show [parameter/section/all]
---------------------------------------------------------
Command              display what
show [network]       Basic parameters
show all             All parameters
show tcpip           TCP/IP communication parameters
show common          Common parameters
show snmp            SNMP parameters
show nw_param        NetWare communication parameters
show port            Printing parameters

casio>
```

・各設定変数へ設定する値のガイダンスの例

```
casio>help nw_mode
nw_mode = disable/rprinter/pserver

casio>help link_mode
link_mode = auto / 100M/Full / 100M/Half / 10M/Full / 10M/Half

casio>
```

② show コマンド

指定した変数名、グループ名、または設定可能な変数すべての設定状態を表示します。

・変数名指定の例。

```
casio>show nw_mode
nw_mode                 : rprinter

casio>
```

・グループ名指定の例。　※「**show**」のみを入力した場合、「**show network**」と入力した場合と同じ表示となります

```
casio>show network
machine_name            : CP800001
comment                 :
link_mode               : auto
ip_config               : dhcp
ip_address              : 0.0.0.0
netmask                 : 0.0.0.0
gateway                 : 0.0.0.0
wins_server1            : 0.0.0.0
wins_server2            : 0.0.0.0
dns_server1             : 0.0.0.0
dns_server2             : 0.0.0.0
dns_server3             : 0.0.0.0
dns_domain              :
ntp_mode                : enable
ntp_server1             :
ntp_server2             :
permit_ip1              : 0.0.0.0-0.0.0.0
permit_ip2              : 0.0.0.0-0.0.0.0
permit_ip3              : 0.0.0.0-0.0.0.0
permit_ip4              : 0.0.0.0-0.0.0.0
nw_mode                 : rprinter

casio>
```

・設定可能な変数すべて「**all**」指定の例。

```
casio>show all
machine_name            : CP800001
contact                 :
location                :
comment                 :
link_mode               : auto
ip_config               : dhcp
ip_address              : 0.0.0.0
netmask                 : 0.0.0.0
gateway                 : 0.0.0.0
ftp_passwd              : off
tcp_keep_alive          : 30
tcp_idle_time           : 5
wins_server1            : 0.0.0.0
wins_server2            : 0.0.0.0
dns_server1             : 0.0.0.0
dns_server2             : 0.0.0.0
dns_server3             : 0.0.0.0
dns_domain              :
ntp_mode                : enable
ntp_server1             :
ntp_server2             :
permit_ip1              : 0.0.0.0-0.0.0.0
permit_ip2              : 0.0.0.0-0.0.0.0
permit_ip3              : 0.0.0.0-0.0.0.0
permit_ip4              : 0.0.0.0-0.0.0.0
snmp_mode               : enable
snmp_name               : public
snmp_host               : 0.0.0.0
```

```
nw_mode                 : rprinter
nw_packet               : auto
pserver                 :
timeout                 : 10
nw_spx_abort            : 30
nw_spx_listen           : 6
nw_spx_verify           : 3
fserver1                :
fserver2                :
fserver3                :
fserver4                :
polltime                : 15
nw_passwd               :
nw_ncp_timeout          : 3
nw_ncp_retry            : 20
banner0                 : off
bojstring0              :
eojstring0              :
banner1                 : off
bojstring1              :
eojstring1              :
tabsize1                : 8
banner2                 : off
bojstring2              :
eojstring2              :
tabsize2                : 8

casio>
```

③ set コマンド

指定した変数名に数値または文字列を設定します。

※setコマンドは管理者専用コマンドです。

```
casio>set comment=CASIO-Color-PagePrinter_2nd-floor_north-east-coner
comment                    : comment=CASIO-Color-PagePrinter_2nd-floor_north-east-coner

casio>set link_mode=100m/full
link_mode                  : 100M/Full

casio>set pserver=printserver1
pserver                    : PRINTSERVER1

casio>
```

※設定した数値または文字列は、後述「exitコマンド」にて設定値の保存を行った後、プリンターの電源を「切」→「入」して次回プリンターが正常に起動した後に有効になります。
また、設定値の保存を行わない場合は、後述「quitコマンド」にてIPX版ネットワーク設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)接続を終了してください。

④ stat コマンド

プリンターの状態を表示します。

・基本情報表示の例。

```
casio>stat
CASIO GE5000 Ver.xxxxxxxxxx / xx
Ethernet address  :  08:00:74:80:00:01
Link status       :  100Base/Full Duplex (Auto)
TCP/IP status     :  IP address       : 130.10.90.186
                     IP config        : Dhcp
                     Netmask          : 255.255.0.0
                     gateway          : 130.10.1.1
IPX packet type   :  IEEE802.2(Auto)
NetWare status    :  Mode             : rprinter
                     print server     : PRINTSERVER1
Printer status    :  Port status      : Printer ready
                     Model name       : GE5000
                     Version No.      : xxxxxxxxxx / xx
                     Paper feeder     : MPF1:A4
                                        CPF1:A4
                                        CPF2:B4
                                        CPF3:A3
                                        CPF4:A4R
                                        Duplex-unit


casio>
```

・印刷ジョブ情報表示の例。

```
casio>stat queue
Rank       Job     Owner                  User-ID
1st        100     130.10.90.100          PowerUser
2nd        101     130.10.90.101          Administrator
3rd        102     130.10.91.52           guest
4th        103     130.10.92.143          casiotaro
5th        104     130.10.90.104                    ※2
                   PRINTSERVER1    ※1               ※2

casio>
```

※1：NetWareによる印刷の場合、送信元のプリントサーバー名またはファイルサーバー名が表示されます。
※2：Raw Protocol（Port 9100）およびNetWareによる印刷の場合、User-IDは表示されません。

・接続中ホスト情報表示の例。

```
casio>stat host
130.10.90.100     :  ftp
130.10.90.101     :  http   ※1
130.10.92.143     :  telnet
130.10.90.104     :  ftp
                  :  NetWare console   ※2

casio>
```

※1：「http」はWebブラウザーにて設定変更を行っている場合に表示されます。
※2：「NetWare console」はIPX版ネットワーク設定ユーティリティにて接続中に表示されます。

⑤ quit コマンド

IPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）を終了し接続を切断します。 setコマンドにて変数へ数値または文字列を設定した場合は、設定値の保存は行わずに破棄した後にIPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）を終了します。

```
casio>quit

※ユーティリティが終了し、ウィンドウが閉じます。
```

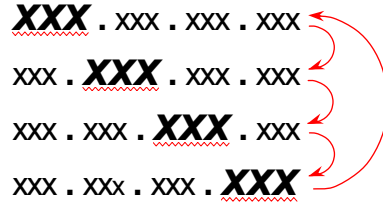
⑥ exit コマンド

IPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）を終了し接続を切断します。 setコマンドにて変数へ数値または文字列を設定した場合は、設定値の保存を行った後にIPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）を終了し、接続を切断します。

※保存した設定値は、次回プリンターが正常に起動に起動した後に有効になります。 プリンターの電源を「切」→「入」してください。

```
casio>exit

※ユーティリティが終了し、ウィンドウが閉じます。
```

※設定値の保存を行わない場合は、前述「quitコマンド」にてIPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）接続を終了してください。

5. ネットワーク設定一覧

5.1. プリンターの操作パネルで設定可能なネットワーク設定一覧

プリンターの操作パネルで設定可能な変数は以下の5項目です。

※設定した内容は、操作パネルにて［オンライン］ボタンを押下して、オンライン状態へ移行する際に保存されます。 設定変更後は必ずオンライン状態にしてください。 また、保存した設定内容は次回本プリンターが正常に起動した後に有効になります。 プリンターの電源を「切」→「入」してください。

★プリンター本体操作パネルの操作手順・操作例は、次ページ以降に記載してありますので参照してください。

【表　5.1．－1．プリンター操作パネルにて設定可能なネットワーク設定項目一覧】

設定項目名称	プリンター操作パネル表示名称	プリンター操作パネルに表示される設定候補		ネットワーク設定変数名
通信速度	通信速度	自動設定 100M全二重 100M半二重 10M全二重 10M半二重	①設定候補選択キー［Λ］［V］で選択 ②決定キー［◎］で確定	link_mode
IPアドレス 決定方法	通信方法	メモリー RARP BOOTP DHCP		ip_config
IPアドレス	IP （IPアドレス）	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	①設定候補選択キー［Λ］［V］で数値を変更（0～255） ②［>］キーで桁移動　**XXX**．xxx．xxx．xxx xxx．**XXX**．xxx．xxx xxx．xxx．**XXX**．xxx xxx．xxx．xxx．**XXX**	ip_address
	NM （サブネットマスク）	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255		netmask
	GW （ゲートウェイ）	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	③決定キー［◎］で全桁確定	gateway

※各設定項目の説明は『5.2．ネットワーク設定一覧』を参照してください。

【図　5.1.－1. プリンター操作パネルの操作例】　（※詳しくはユーザーズマニュアル（設定メニュー編）を参照してください。）

＜ボタンの操作＞　＜パネルの表示例＞

i)　［オンライン］ボタンを押下してオフラインの状態にします。
（オンラインのランプが消えます。）

ii)　［V］ボタンを2回押下して「インターフェース設定」を選択します。

iii)　［>］ボタンを1回押下し、インターフェース設定メニューを表示します。

iv)　［V］ボタンを1回押下し、「通信方法」を選択します。

v)　［>］ボタンを１回押下し、通信方法メニューを表示します。
（「＊」は現在設定されている内容です。）

［V］［Λ］ボタンを押下して、お使いのネットワーク環境にあった設定を選びます。

例では「メモリー（固定IPアドレスを使用）」を選び［◎］ボタンを押下して設定します。
（「＊」が表示されることにより、設定されたことを表します。）

vi) ［<］ボタンを１回押下し、インターフェース設定メニューへ戻ります。

vii) ［V］ボタンを１回押下し、「ＩＰアドレス」を選択します。

※ v) にて「DHCP」「BOOTP」「RARP」を設定した場合、IPアドレスは自動取得を行いますので設定値を使用しません。 従ってインターフェース設定メニューの「ＩＰアドレス」は表示されません。

viii) ［>］ボタンを１回押下し、IPアドレスメニューを表示します。

ix) ［>］ボタンを１回押下し、「ＩＰ： 0. 0. 0. 0」（IPアドレス）の設定にします。

x) ［∨］［∧］ボタンを押下して、数値を変更します。

＜ＩＰアドレス＞
ＩＰ： 192. 0. 0. 0
NM： 0. 0. 0. 0
GW： 0. 0. 0. 0

また、［＞］ボタンで桁が変わります。

＜ＩＰアドレス＞
ＩＰ： 192. 0. 0. 0
NM： 0. 0. 0. 0
GW： 0. 0. 0. 0

xi) 最後の桁まで入力したら、［◎］ボタンを押下してください。全桁の値が設定されます。
「＊」が表示され、設定値が確定したことを表します。

＜ＩＰアドレス＞
＊ＩＰ： 192. 168. 1. 1
NM： 0. 0. 0. 0
GW： 0. 0. 0. 0

xii) ［＜］ボタンを１回押下し、IPアドレスの設定を終了します。

xiii)［V］ボタンを押下して、「NM：　0.　0.　0.　0」（サブネットマスク）の設定に進み、
以降 ix) ～ xii) の操作を行います。

xiv)［V］ボタンを押下して、「GW：　0.　0.　0.　0」（デフォルトゲートウェイ）も同様に ix) ～ xii) の操作で設定します。

xv)［オンライン］ボタンを押下して通常表示（オンラインのランプが点灯します）に戻し、
少し待ちます。

xvi)最後にプリンター本体の電源を「切」→「入」してください。

※設定した内容は、操作パネルにて［オンライン］ボタンを押下して、オンライン状態へ移行する際に保存されます。 設定変更後は必ずオンライン状態にしてください。 また、保存した設定内容は次回プリンターが正常に起動した後に有効になります。 プリンター本体の電源を「切」→「入」してください。

5.2. ネットワーク設定一覧

TELNETおよびIPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）にて設定した内容は、「exitコマンド」「reset コマンド」にて「設定値の保存」を行った際に保存されます。 Webブラウザーにて設定した内容は、「変更内容の送信」操作を行った際に保存されます。 これらの設定変更は同時に行えませんが、プリンター本体の操作パネルによる設定変更は同時に行えます。操作パネルで設定可能な5項目の変数は［オンライン］ボタンを押下してオンライン状態へ移行する際に保存され、最終的には後から保存を行った設定内容が有効となりますので、ご注意ください。なお、保存した設定内容は、次回プリンターが正常に起動した後に有効になります。 プリンターの電源を「切」→「入」してください。

変数グループ	変数名称／変数名	解　説	デフォルト
common	マシン名 machine_name	プリンターのマシン名を指定します。 デフォルト値での使用を推奨します。 最大15Byteまで設定が可能です。 英小文字で入力した場合、英大文字へ変換して設定します。 マシン名は、SNMPの標準MIBに定義している「システム管理名」、WINSで使用する「NetBIOS名」、NetWareで使用する「マシン名（ファイルサーバへ設定するプリントサーバー名、プリントサーバーへ設定するプリンター名）」などに使用します。	CPxxxxxx
	連絡先 contact	プリンターの管理者の名前や連絡先に関するコメントを指定します。 通常、管理者名／管理部門名／内線番号などを指定してください。 最大127Byteまで指定が可能です。 SNMPの標準MIBに定義している「連絡先」、Webブラウザーで表示する「連絡先」などに使用します。	未設定
	設置場所 location	プリンターの設置場所に関するコメントを指定します。 通常、建物名（棟名）／フロア名／設置室名などを指定してください。 最大127Byteまで指定が可能です。 SNMPの標準MIBに定義している「設置場所」、Webブラウザーで表示する「設置場所」などに使用します。 ※プリンタードライバーのセットアップウィザードを使用してプリンターの追加を行いますと、プリンタープロパティの「場所」欄へ設定内容が反映されます。	未設定
	コメント comment	プリンターのコメントを指定します。 最大48Byteまで指定が可能です。 Webブラウザーで表示する「コメント」などに使用します。 ※プリンタードライバーのセットアップウィザードを使用してプリンターの追加を行いますと、プリンタープロパティの「コメント」欄へ設定内容が反映されます。	未設定
	通信速度決定方法 link_mode	通信速度の決定方法を指定します。 プリンターは 10Base-T と 100Base-TX の通信速度、および全二重と半二重の通信モードで使用することができます。 ご使用になるシステム環境で定められている通信速度／通信モードを指定してください。	auto

変数グループ	変数名称／変数名	解　説	デフォルト
		・auto指定時　Auto Negotiation 機能を使用して 通信速度／通信モード を自動決定します。 ・100M/Full 指定時　：100Mbpsの通信速度、全二重の通信モードで通信を行います。 ・100M/Half 指定時　：100Mbpsの通信速度、半二重の通信モードで通信を行います。 ・10M/Full 指定時　：10Mbpsの通信速度、全二重の通信モードで通信を行います。 ・10M/Half 指定時　：10Mbpsの通信速度、半二重の通信モードで通信を行います。 ※デフォルトでは「auto」 になっています。通常は「auto」でお使いください。 「auto」でコンセントレーター(Hub)とのLinkが確立しない場合に、他の設定をお試しください。 ★「auto」以外に設定した場合、『ネットワーク設定情報の印刷』『TELNET』『Webブラウザー』『IPX版ネットワーク設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)』などで表示される通信速度（Link_status）は、実際に決定された通信速度と異なる表示となります。 特に「全二重（Full）」に設定した場合、実際の通信速度は「半二重（Half）」であることがほとんどです。また、「10Mbps（10Base-T）」に設定してLANケーブルの接続先が100Mbps（100Base-Tx）の「Fast Ethernet Hub」（スィッチングHubではありません）場合、表示上は通信速度が決定して「通信可能」となっていますが、実際には通信速度が決定しておらず（Linkが確立していない）、通信が行えない状態となっています。	
tcpip	通信方法 （Pアドレス決定方法） ip_config	IPアドレス決定方法を指定します。 IPアドレスの設定方法を設定値に応じて決定します。 ・memory指定時　：ip_address の設定値をIPアドレスとして設定します。 ・bootp指定時　：BOOTPを使用してIPアドレスを設定します。 ・dhcp指定時　：DHCPを使用してIPアドレスを設定します。 ・rarp指定時　：RARPを使用してIPアドレスを設定します。	dhcp
	IPアドレス ip_address	IP環境で使用するIPアドレスの値を指定します。（ip_configがmemoryの時に有効となります） 指定は「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で行います。 IPを使用する機器に与えられる番号です。 IPの環境ではこのような番号をアドレスと呼びます。 IPアドレスはお客様がお使いになっている環境によって違います。 また、ホストコンピュータを含む他の機器と同じ番号をつけてはいけません。 すなわち、他の機器が使用している番号をご存知の方（一般的にはネットワーク管理者）から新しいIPアドレスを取得してください。 ※「0.0.0.0」「255.255.255.255」「127.0.0.1」などの「特別な意味を持つIPアドレス」を設定しますと、正常な通信が行えません。	0.0.0.0

変数グループ	変数名称／変数名	解　　説	デフォルト
		★ip_address を設定したにもかかわらず正常に通信が行えない場合『ネットワーク設定情報の印刷』を行い、ip_config、netmask、gateway の設定とあわせて確認してください。 IP address 欄に「0.0.0.0」と表示される場合は設定値の誤り、ip_configが「memory」以外の設定で、サーバー上で設定していない場合や該当のサーバーからの応答が無いなどが考えられます。 また、設定値と異なる値が表示される場合は、ip_configが「memory」以外の設定となっています。	
	ネットマスク netmask	IP環境で使用するサブネットマスクの値を指定します。 指定は「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で行います。 受信したIPアドレス（印刷した方のアドレス）が外部のネットワークから送られたものか、内部のHUB等で接続された機器から送られたものかを判断する場合に使用します。 「0.0.0.0」が設定されている場合は、決定したIPアドレスを元に自動設定します。 サブネットマスクはネットワーク管理者の方が管理されていますので、お問い合わせください。 DHCPを使用して、DHCPサーバーより取得したサブネットマスク値を使用する場合は、「0.0.0.0」を指定してください。 ※サブネットマスク値は、マスクのためのbit指定が上位bitより連続して「on」でなければならず、異なる設定行った場合はエラーとなり決定したIPアドレスを元に自動設定されます。 例：netmask=255.255.160.0 の場合エラー。 （11111111b,11111111b,10100000b,00000000bの為。） ★netmask を設定したにもかかわらず外部ネットワーク環境との通信が正常に行えない場合、『ネットワーク設定情報の印刷』を行い ip_config、ip_address、gateway の設定とあわせて確認してください。	0.0.0.0
	ゲートウェイ gateway	IP環境で使用するゲートウェイのIPアドレスの値を指定します。 指定は「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で行います。 IPは外部のネットワーク環境にアクセスができるように設計されています。 インターネットはこの機能の有効な活用方法です。外部のネットワークに繋ぐ場合は接続に使用する機器が必要になります（ルーター等）。 この機器のIPアドレスを設定します。 このアドレスを指定することで外部のネットワークと接続が可能になります。 ゲートウェイはネットワーク管理者の方が管理されていますので、お問い合わせください。 DHCPを使用して、DHCPサーバーより取得したゲートウェイアドレスを使用する場合は、「0.0.0.0」を指定してください。	0.0.0.0

変数グループ	変数名称／変数名	解　　説	デフォルト
		※「0.0.0.0」「255.255.255.255」「127.0.0.1」などの「特別な意味を持つIPアドレス」を設定しますと、外部ネットワーク環境との正常な通信が行えません。 ※決定したIPアドレスとゲートウェイアドレス値が異なるサブネットワークとなった場合、ゲートウェイアドレスは無効となり外部ネットワーク環境との正常な通信が行えません。 例：ip_address=130.10.90.186、netmask=255.255.255.0、gateway=130.10.1.1 の場合、ゲートウェイアドレスが異なるサブネットワークとなるため無効となります。 ★gateway を設定したにもかかわらず外部ネットワーク環境との通信が正常に行えない場合『ネットワーク設定情報の印刷』を行い、ip_config、ip_address、netmask の設定とあわせて確認してください。 Gateway 欄に「0.0.0.0」と表示される場合は設定値の誤り、ip_configが「memory」以外の設定で、サーバー上で設定していない場合や該当のサーバーからの応答が無いなどが考えられます。また、設定値と異なる値が表示される場合は、ip_configが「memory」以外の設定となっています。	
	FTPパスワード ftp_passwd	FTPにてプリンターへ接続した際の、パスワードの入力要求を指定します。 パスワードの入力要求が必要なFTPクライアントを使用する場合に設定してください。 ・on指定時　：FTP接続時にパスワードを要求します。 ・off指定時　：FTP接続時にパスワードを要求しません。 ※FTP接続時に指定したユーザー名がプリンター設定管理者用に登録したユーザー名の場合は、常にパスワードの入力要求を行い、入力されたパスワードの一致チェックを行います。設定権限者ユーザー登録時に設定した字列を正しく入力してください。 不一致の場合はログインできません。 ※FTP接続時に指定したユーザー名がプリンター設定管理者用以外の場合は、入力されたパスワードの一致チェックを行いません。 入力された文字列にかかわらずログインできます。	off
	Keep-Alive時間 tcp_keep_alive	TCP・キープ・アライブ・パケットの送信間隔を指定します。（0～79秒） TCP通信でホストコンピューターとの通信が接続されているか切れているかを確認する為のパケットを、キープ・アライブ・パケットと呼びます。 このパケットを通信が途切れてからどの間隔で送信するかを指定します。 tcp_keep_alive を設定すると、ホストコンピューターの異常を検出しプリンター側からTCP接続を切断します。 なお、印刷JOBの受信途中にこの状態が発生した場合、未完成のページは破棄され新たな印刷JOBは先頭より正しく印刷されます。 「**0**」を設定すると、キープ･アライブ･パケットは送信されなくなります。 但し、プリンターはホストコンピューターの異常を検出できなくなりTCP接続をプリンター側から切断できませんので、ホストコンピューターとの通信に異常が発生した場合は処理が止まったままとなります。	30

変数グループ	変数名称／変数名	解　　説	デフォルト
	アイドル時間 tcp_idle_time	TCP接続における無操作タイムアウト時間を指定します。（1～20分） TCPで接続するコンソール機能を持つ各プロトコル（FTP、TELNET）にて、ホストコンピューターが正常に動作している場合は前項Keep-Alive時間で接続は保持されますが、管理者などがプリンターへログインした状態で無操作まま放置した状態を検出でず、他の管理者が代わりに操作を行うことができません。 そこで、tcp_idle_time時間 接続したユーザーの有効な操作による通信を検出できなかった場合、プリンター側からTCP接続を強制切断します。 同様に、Webブラウザーで設定変更操作を行っている際、管理者がそのまま放置した場合に他の管理者が代わりに操作を行うことができません。Webブラウザーが使用するHTTPではコンソールウィンドウ表示を定義しているHtml等のファイル送信の間だけTCP接続を行い、送信がすべて終了するとTCP接続は切断されてしまいます。 従って、TCP・キープ・アライブ・パケットの送受信ではホストコンピューターの異常を検出することができません。 そこで、管理者ユーザーが設定変更操作を行う際に送受信を行うHtmlページデータ／Htmlフォームデータの時間監視を行うことにより、無操作タイムアウトの検出を行います。tcp_idle_time時間経過時点で管理者権限の占有状態を解放し、以降にホストコンピューターから送信される設定変更ページの表示要求／フォームデータの処理を拒否します。 また、LPR/ Raw Protocol（Port 9100）による印刷において、ホストコンピューター上のオペレーティングシステムは正常に動作しているが、印刷データの送信を行うアプリケーションに異常が発生した場合、前項Keep-Alive時間で接続は保持されていますのでプリンター側からはTCP接続を強制切断する条件に当てはまりません。 この時、プリンターは当該印刷JOBが終了していないためこの印刷JOBに占有されたままになってしまい、他の印刷が行えなくなってしまいます。 そこで、プリンター側が新たな印刷データの受信が可能な状態で、tcp_idle_time時間 ホストコンピューターから新たな印刷データが送信されない場合、ホストコンピューターの異常と判断してTCP接続の強制切断を行い、新たな印刷JOBのデータ受信を開始します。なお、この時未完成のページは破棄され、新たな印刷JOBは先頭より正しく印刷されます。	5

変数グループ	変数名称／変数名	解　説	デフォルト
	WINSサーバーアドレス wins_server1 wins_server2	WINSサーバーのIPアドレスを指定します。 最大2箇所指定できます。 wins_server1へのNetBIOS名登録が異常終了した場合、wins_server2へのNetBIOS名登録を試みます。 DHCPを使用している環境でDHCPサーバーへWINSサーバーのアドレスが設定されている場合は、DHCPサーバーより自動取得することが可能となりますので、指定する必要はありません。 本プリンターを使用する環境のMicrosoft Network（Windowsのネットワーク環境）にて「WINS」を使用している場合は、WINSサーバーのNetBIOSネームサービスによりプリンターの名前解決（本プリンターの名前（ネットワーク設定変数machine_name設定文字列）から本プリンターのIPアドレス（固定IPアドレスの場合は IP_Address設定値、DHCP / BOOTP / RARP の場合はそれぞれのサーバーから割り当てられた（リースされる）IPアドレスへのマッピング登録と解決）を行うことができます。	0.0.0.0
	DNSサーバーアドレス dns_server1 dns_server2 dns_server3	DNSサーバーのIPアドレスを指定します。最大3箇所指定できます。 dns_server1による名前アドレス解決が失敗した場合、dns_server2、dns_server3による名前アドレス解決を試みます。 本プリンターを使用するネットワーク環境にて「DNS」を使用している場合は、DNSサーバーによりホストコンピューターの名前解決を行うことができます。 DHCPを使用している環境でDHCPサーバーへDNSサーバーのアドレスが設定されている場合は、DHCPサーバーより自動取得することが可能となりますので、指定する必要はありません。 DNSは以下の場合に使用されます。 ・NTPにより時刻同期を行う際、NTPサーバーへの接続を行うために名前アドレス解決を行う場合。 ・「ネットdeサポート」機能により、プリンターの情報をネットマネジメントセンターへ送信するために名前アドレス解決を行う場合。 ※プリンターを使用するネットワーク環境で、DNSサーバーが利用できない場合や、DNSサーバーを使用しない場合は、指定する必要がありません。	0.0.0.0
	DNSドメイン名 dns_domain	プリンターが所属するドメイン名を指定します。 最大127Byteまで指定が可能です。	未設定

変数グループ	変数名称／変数名	解　説	デフォルト
	NTP時刻同期機能の使用 ntp_mode	NTPの動作モードを指定します。 本プリンターを使用するネットワーク環境にて「NTP（Network Time Protocol）」使用して時刻同期を行っている場合、NTPサーバーとの通信により時刻同期を行うことができます。 時刻同期は、プリンターの電源投入時のみ行います。 ・enable指定時　:NTPを使用します。 ・disable指定時　:NTPを使用しません。	enable
	NTPサーバーアドレス ntp_server1 ntp_server2	NTPサーバーのアドレスを指定します。最大2箇所指定できます。 NTPサーバーのアドレスは、IPアドレスによる指定、またはドメイン名による指定が可能です。 ドメイン名による指定の場合、最大127Byteまで指定が可能です。 ドメイン名による指定を行った場合、DNSに関する設定が正しく行われていて、NTPサーバーの名前アドレス解決が正しく行われるように指定する必要があります。	未設定
	印刷可能IPアドレス範囲 permit_ip1 permit_ip2 permit_ip3 permit_ip4	印刷を行うホストコンピューターのIPアドレスの範囲を指定します。 permit_ip1～permit_ip4のどれか1つでもデフォルト値と異なる設定が行われている場合、指定された範囲以外のIPアドレスを持つホストコンピューターからの印刷接続は制限され、印刷データの受信開始時に強制切断します。 印刷以外の処理は制限されません。 印刷制限は概ね以下の方法にて行います。 ・LPRの場合、データレコード受信開始時に強制切断します。 LPQによる問い合わせは正しく処理して応答します。 ・Raw Protocol（Port 9100）の場合、データの受信開始時に強制切断します。 但し、データ量が少なくプリンターのネットワークバッファ（受信バッファとは異なります）にデータが入りきってしまう場合などには、ホストコンピューター上は正常に送信終了になっている場合があります。 ・FTPの場合、印刷データ受信用サブディレクトリー（lp0 / lp1 / lp2 など）へのカレントディレクトリーの変更が行えません。 ※サーバー経由で印刷を行うクライアント／サーバー形式の印刷システムで印刷制限を行いたい場合、サーバーのIPアドレスを必ず指定範囲に含めてください。（含めないと、サーバー経由の印刷ができなくなります。） なお、サーバーのIPアドレスのみを指定すると、クライアントコンピューターから直接プリンターへ印刷できないようにすることができます。 permit_ip1～permit_ip4のすべてがデフォルト値の場合、IPアドレスによる印刷制限を行いません。 すべてのホストコンピューターからの印刷接続を受け付けます。	0.0.0.0 -0.0.0.0

変数グループ	変数名称／変数名	解　　説	デフォルト
		指定は、xxx.xxx.xxx.xxx – xxx.xxx.xxx.xxx（アドレス1 – アドレス2）の形式で行い、必ずアドレス1≦アドレス2でなければなりません。（アドレス1=アドレス2の指定を許可します） permit_ip1～permit_ip4間の指定したアドレス範囲の重複はチェックしませんので可能です。 また、実在しないIPアドレスやネットワーク機器に指定できないIPアドレス等のチェック、サブネットワークの内外などのチェックも行いませんので、このような指定も有効です。	
snmp	SNMPモード snmp_mode	SNMPの動作モードを指定します。 プリンターは、IP環境においてSNMPを使用してプリンターの状態監視を行うことができます。 ・enable指定時　：SNMPを使用します。 ・disable指定時　：SNMPを使用しません。 「CASIO SPEEDIAマネージャー」をご使用になる場合、必ず「enable」を指定してください。	enable
	コミュニティ名 snmp_name	SNMPのコミュニティ名を指定します。 最大16Byteまで指定可能です。	public
	Trapホスト snmp_host	SNMPの Cold Start Trapパケットを送信するホストのIPアドレスを指定します。 指定は「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で行います。 プリンターはSNMPのポーリング（Get/Set Request PDU）へ正常応答した場合、応答先ホストコンピューターのIPアドレスを一定時間記憶し、プリンターの状態が変化した場合に記憶したホストコンピューターへ Trap パケットを送信します。Trapホストに設定されたホストコンピューターは、その1番目として記憶します。	0.0.0.0
nw_param	NetWareモード nw_mode	NetWareでプリンターを使用する場合の動作モードを設定します。 rprinter　リモートプリンターモードで動作します。 リモートプリンターモードは、ファイルサーバー機もしくは専用のプリントサーバー機上で動作するPSERVERを介して運用されるモードです。 ※弊社としてはリモートプリンターモードでのご使用を推奨します。 pserver　プリントサーバーモードで動作します。 プリントサーバーモードは、プリンター上でPSERVERを動作させて運用するモードです。 ※NetWare 4.1J 以降では、バインダリエミュレーションモードでのサポートとなります。	rprinter

変数グループ	変数名称／変数名	解　説	デフォルト
		disable　使用しない。 IP環境のみでご使用の場合で、NetWareを使用しない設定にします。	
	パケットタイプ nw_packet	NetWareで使用するEthernetのパケットタイプを設定します。 auto　自動を選択します。 フレームタイプ（パケットタイプ）を起動時に、自動的に選択します。 フレームタイプを以下のように順次変更して、NetWareファイルサーバーの検索を行い、最初に発見したフレームタイプを以降のNetWareサーバーとの通信にて使用します。 ・検索順序　IEEE802.2 → IEEE802.3 → Ethernet Ⅱ NetWareファイルサーバーが発見できなかった場合、NetWareは使用できません。 IPX版ネットワーク設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）による設定変更も行えません。 ieee802_2　IEEE802.2（LLC RAW ヘッダ付きの IEEE802.3）を選択します。 ieee802_3　IEEE802.3 を選択します。 ethernet_ii　Ethernet Ⅱ を選択します。	auto
	プリントサーバー名 pserver	接続するプリントサーバー名を設定します。 最大47Byteまで設定が可能です。 英小文字で入力した場合、英大文字へ変換して設定します。 リモートプリンターモードを使用する場合は必ず設定してください。 未設定の場合、リモートプリンターモードでは使用できません。	未設定
	タイムアウト時間 timeout	リモートプリンターモードでのタイムアウト時間を設定します。（1～255秒） リモートプリンターモードの印刷では、NetWareプリントサーバーから送信される印刷データが一定時間内に送信された場合、連続した印刷データとして扱い、他のプロトコルによる印刷より優先されます。 印刷を行うアプリケーションによっては一連の印刷データが複数の印刷JOB（印刷キューデータ）に分割される場合がありますが、これらを連続して印刷したい場合に値を大きくします。	10
	SPXタイムアウトアボート nw_spx_abort	NetWareで使用するSPX監視停止タイムアウト時間を設定します。（30～300秒） リモートプリンターモードで応答が受け取れないとき、セッションを終了する前にSPXプロトコルが待機する時間です。 ネットワークが非常に遅い場合に値を大きくします。	30

変数グループ	変数名称／変数名	解　説	デフォルト
	SPXタイムアウト リッスン nw_spx_listen	NetWareで使用するSPX監視検査タイムアウト時間を設定します。（1～180秒） リモートプリンターモードでパケットが受信できないとき、接続が有効かどうか確認するパケットを送信するまでSPXプロトコルが待機する時間です。 ネットワークが非常に遅い場合に値を大きくします。	6
	SPXタイムアウト ベリファイ nw_spx_verify	NetWareで使用するＳＰＸ確認待機タイムアウト時間を設定します。（1～15秒） リモートプリンターモードでSPXプロトコル接続が有効であることを示すパケットを送信する間隔です。 値を小さくすると通信異常の検知が早くなりますが，ネットワークのトラフィックは多くなります。	3
	ファイルサーバー名 fserver1 fserver2 fserver3 fserver4	ログイン（接続）するファイルサーバーの名前を設定します。 それぞれ最大47Byteまで設定が可能です。 英小文字で入力した場合、英大文字へ変換して設定します。 プリントサーバーモードでは最大４台のファイルサーバーへログイン（接続）することができます。 プリントサーバーモードを使用する場合は、必ず１つ以上ファイルサーバー名を指定してください。 指定が無い場合プリントサーバーモードでは使用できません。 同じファイルサーバー名を複数指定しないでください。	未設定
	ポーリング間隔 polltime	プリントサーバーモードでのポーリング間隔を設定します。（1～255秒） この値を短くすると、ファイルサーバーに転送された印刷データが、プリンターへ転送開始されるまでの時間が短くなりますが、頻繁にプリントキュー中の印刷データ（プリントジョブ）の有無を調べるため、ファイルサーバーの動作に影響を与えるか、もしくはネットワークに負荷を与える可能性があります。	15
	パスワード(NetWare) nw_passwd	NetWareで使用するパスワードを設定します。 最大15Byteまで設定が可能です。 英小文字で入力した場合、英大文字へ変換して設定します。 プリントサーバーモードの場合、プリンターがプリントサーバーとなりファイルサーバーへログインするかたちとなりますが、この際に使用するパスワードを設定します。 PCONSOLE上の「プリントサーバー情報」にて「パスワード」を設定した場合、同じ文字列を設定してください。	未設定
	NCPオプション タイムアウト nw_ncp_timeout	NetWareで使用するNCPタイムアウト時間を設定します。（1～255秒） プリントサーバーモードでのポーリングパケットの応答が受信できないとき、再送信を行うまでNCPが待機する時間です。 ネットワークが非常に遅い場合に大きくします。	3

変数グループ	変数名称／変数名	解　説	デフォルト
	NCPオプション リトライカウント nw_ncp_retry	NetWareで使用するNCPパケット再送信回数を設定します。（1～255回） ネットワーク上で多くのパケットが失われる場合は、この値を増やす必要があります。 この値を増やすとマシン名の登録など、一部のネットワーク機能の実施に要する時間が長くなります。	20
port	バナー印刷 banner0 banner1 banner2 ※1	FTP/LPR/Raw Protocol（Port 9100）による印刷時のバナー印刷の指定を行います。 ・on指定時　：FTP/LPR/Raw Protocol（Port 9100）による印刷時、バナーの印刷を行います。 ・off指定時　：FTP/LPR/Raw Protocol（Port 9100）による印刷時、バナーの印刷を行いません。 ※Raw Protocol（Port 9100）は Throughポートのみ印刷可能ですので、banner0の指定のみ有効となります。	off
	ジョブ開始文字列 bojstring0 bojstring1 bojstring2 ※1	FTP/LPR/Raw Protocol（Port 9100）による印刷時、印刷開始時に出力されるデータ列を指定します。 文字列を最大 32Byte 分、指定できます。 特殊文字を指定する時は以下のように指定してください。 ・CR　（0dH）　：　¥r ・LF　（0aH）　：　¥n ・TAB　（09H）　：　¥t ・FF　（0cH）　：　¥f ・¥　（5cH）　：　¥¥ ・8 進数指定　：　¥nnn　例：￥116　（ASCIIｷｬﾗｸﾀ「N」を指定） ・16進数指定　：　¥xnn　例：￥x4E　（ASCIIｷｬﾗｸﾀ「N」を指定） ※Raw Protocol（Port 9100）は Throughポートのみ印刷可能ですので、bojstring0の指定のみ有効となります。	未設定
	ジョブ終了文字列 eojstring0 eojstring1 eojstring2	FTP/LPR/Raw Protocol（Port 9100）による印刷時、印刷終了時に出力されるデータ列を指定します。 文字列を最大 32Byte 分、指定できます。 特殊文字を指定する時は以下のように指定してください。	未設定

変数グループ	変数名称／変数名	解　説	デフォルト
	※1	・CR　（0dH）　：¥r ・LF　（0aH）　：¥n ・TAB （09H）　：¥t ・FF　（0cH）　：¥f ・¥　　（5cH）　：¥¥ ・8 進数指定　：¥nnn　例：¥116 （ASCIIｷｬﾗｸﾀ「N」を指定） ・16進数指定　：¥xnn　例：¥x4E （ASCIIｷｬﾗｸﾀ「N」を指定） ※Raw Protocol（Port 9100）は Throughポートのみ印刷可能ですので、eojstring0の指定のみ有効となります。	
	タブサイズ tabsize1 tabsize2 ※1	FTP/LPRによる印刷時、受信した印刷データ中の水平タブコードをスペースコードへ変換して出力する際のタブストップ目標桁位置間隔を設定します。（0～132桁） 「**0**」を指定すると水平タブコードはスペースコードへ変換されず、そのまま印刷を行います。 ※Raw Protocol（Port 9100）は Throughポートのみ印刷可能ですので、tabsize1/tabsize2の指定は無効となります。	8

※1：各変数の末尾の数字は印刷用のプリンターポートを示しています。

末尾の数字	機能名称	機能	印刷用プリンターポートの名称	
0	Throughポート	印刷データの変換機能（漢字フィルター機能）を使用せずに受信した印刷データをそのまま出力します。	lp0	通常はこちらをお使いください。
			presto0	*弊社旧製品との互換用です。* *将来機能制限が発生する場合があります。*
1	SJISポート	印刷データの変換機能（漢字フィルター機能）を使用して、受信した印刷データ中のシフトJIS漢字コードをプリンター操作パネル設定「エミュレーション設定」グループの「エミュレーション」へ設定されているプリンターエミュレーションのJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコードへ変換して出力します。	lp1	
			presto1	*弊社旧製品との互換用です。* *将来機能制限が発生する場合があります。*
2	EUCポート	印刷データの変換機能（漢字フィルター機能）を使用して、受信した印刷データ中のEUC-JIS漢字コードをプリンター操作パネル設定「エミュレーション設定」グループの「エミュレーション」へ設定されているプリンターエミュレーションのJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコードへ変換して出力します。	lp2	
			presto2	*弊社旧製品との互換用です。* *将来機能制限が発生する場合があります。*

お問い合わせ窓口

製品の修理・メンテナンスに関するお問い合わせ

修理の内容・方法・期間・費用など詳しくは下記までお問い合わせください。

0570-033066　携帯電話・PHS 等をご利用の場合　048-233-7243

製品の機能設定方法・ソフト障害に関するお問い合わせ

0570-066044　携帯電話・PHS 等をご利用の場合　048-233-7232

カシオテクノ株式会社　カスタマーコンタクトセンター

<受付時間>月曜日～土曜日　AM9:00～PM5:30（日･祝日･年末年始･夏期休暇等を除く）

消耗品やオプションのご購入に関するお問い合わせ

お買上の販売店および弊社営業所までお問い合わせください。

お客様サポートホームページ　http://casio.jp/support/ppr/

SPEEDIA GE5000シリーズ

ユーザーズマニュアル　ネットワーク編

2010年3月15日　第1版発行

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

カシオ電子工業株式会社

© CASIO COMPUTER CO., LTD.

© CASIO ELECTRONICS MANUFACTURING CO., LTD.